

令和6年度  
(2024年度)

予算概要説明書  
(記者会見用)

2024年2月  
町田市



# \*\*\*\*\* 目 次 \*\*\*\*\*

## I 2024年度予算の概要

### 1 令和6年度（2024年度）予算のポイント

（1）予算編成方針	8
（2）2024年度予算フレームの概要	9

### 2 歳入歳出予算の状況

#### （1）予算規模

・一般会計予算規模	12
・特別会計予算規模	12
・一般会計予算規模 伸び率	12
・会計別予算構成	13
・会計別予算構成表	13

#### （2）歳入予算

・主な歳入予算	14
・一般会計歳入予算内訳表	14
・市税の状況	15
・（参考）市税の推移	15

#### （3）歳出予算

・主な歳出予算	16
・一般会計歳出予算目的別内訳表	16
・一般会計歳出予算性質別内訳表	17
・性質別予算のトピックス	17

#### （4）積立金（基金）・市債

・積立金（基金）の状況	18
・基金の年度末現在高の推移	18
・市債の状況	19
・市債（一般会計）の年度末現在高等の推移	19
・参考 地方消費税交付金（社会保障財源分）	19

3 町田市5ヵ年計画 22-26における財政見通し（一般財源ベース）	22
------------------------------------	----

4 町田市5ヵ年計画 22-26の2024年度重点事業（事業費ベース）	24
-------------------------------------	----

5 2024年度予算において重点的に取り組む事業	26
--------------------------	----

#### 参考資料

・一般会計予算（歳入・歳出）の内訳表	90
--------------------	----



# I 2024 年度予算の概要



# 1 令和6年度（2024年度）予算のポイント

---

## (1) 予算編成方針

### ◇ 2024年度の予算編成にあたっては

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の実行計画である「町田市5ヵ年計画22-26」を前提とする予算と位置付け、次の点を基本に編成しました。

**基本方針1** 「町田市5ヵ年計画22-26」の3年目にあたり、計画を着実に推進するため、施策立案や行政経営の基本的な考え方を示した「2024年度市政運営の基本的な考え方」を念頭に予算編成を行う。

**基本方針2** 2024年度の予算編成において重点的に取り組む事業は、町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」のまちづくり基本目標に定めた9つの政策の実現を目指すため、「町田市5ヵ年計画22-26」の重点事業プランに位置付けられる事業とする。

**基本方針3** 町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の経営基本方針の改革項目のうち、予算編成においては「行政サービスのデジタル化」や、「持続可能な財政基盤づくり」、「市有財産の利活用」を特に推進する。

**基本方針4** 現時点における2022年度から2026年度までの「財政見通し」では、5年間で74億円の収支不足が見込まれ、大変厳しい財政状況となっている。このような状況の中、「町田市5ヵ年計画22-26」を着実に実施するため、経常事業費等の縮減及び歳入増へ向けた取り組みなどにより、収支不足の解消を図る。

## 《まちだ未来づくりビジョン2040》

「まちだ未来づくりビジョン2040」は、基本構想部分を担う「2040になりたい未来」と基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」で構成されます。また、ビジョンの実現に向けて、具体的な事業と取り組みを示す実行計画（5ヵ年計画）を策定します。

基本構想部分を担う「2040になりたい未来」は、2022年度から2039年度までの18年間、基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」は、2022年度から2031年度までの10年間と、2032年度から2039年度までの8年間とします。

### ① 2040になりたい未来

まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を「なりたいまちの姿」（都市像）、「行政経営の姿」（経営像）として掲げます。

### ② まちづくり基本目標

「2040になりたい未来」で掲げた、なりたいまちの姿を実現するための目標を政策・施策として体系的に示します。

### ③ 経営基本方針

「2040になりたい未来」で掲げた、行政経営の姿を実現するための方針を体系的に示し、「まちづくり基本目標」を支えます。





## (2) 2024年度予算フレームの概要

○ 全会計歳出総額 **3,128億3,518万円** (+124億1,903万円)

一般会計と特別会計とを合わせた総予算額は、3,128億3,518万円で、対前年度比較で124億1,903万円(4.1%)の増加となりました。

○ 一般会計歳出総額 **1,792億8,243万円** (+108億5,595万円)

一般会計予算規模は、1,792億8,243万円で、対前年度比較で108億5,595万円(6.4%)の増加となりました。

○ 2024年度の特徴

2024年度当初予算は、コロナ禍から経済活動が回復している一方で、世界的な物価高騰や円安、人手不足や賃上げを背景とした労務費の上昇などが物件費や工事費に影響を及ぼす中での予算編成となりました。

2024年度は、「まちだ未来づくりビジョン2040」、その実行計画である「町田市5ヵ年計画22-26」の3年目にあたります。厳しい財政状況下においても、町田市が選ばれるまちであり続けるため、経済状況の変化を確実に捉え、目標達成に向けた取り組みを着実に推進する予算としました。

市税においては、個人市民税が堅調に推移しているものの、令和6年度税制改正の定額減税を反映した結果、前年度予算を下回ると見込みました。また、歳出においては、街づくりや教育環境の整備を進めるとともに、デジタル化の推進や国や都の制度改正等を踏まえた子ども関連施策の充実に取り組みました。あわせて、資材高騰の影響を受けた工事請負費の増加や、社会保障費などの扶助費の増加にも対応しました。

○ 税収 **690億8,920万円** (△16億2,244万円)

・個人市民税 **△13.6億円**

➤ 給与所得や納税義務者の増加に伴う増 **5.6億円**

➤ 令和6年度税制改正に伴う定額減税実施による減 **△19.2億円**

・固定資産税 **△2.6億円**

➤ 評価替に伴う家屋評価額の減少などによる減 **△2.6億円**

○ 事務事業見直し **△1億9,712万円**

行政関与の必要性、緊急性、費用対効果の視点に基づき、各部における事務事業の見直しを行い、民間活力の導入や行政のデジタル化を進め、事業費を削減し、総業務時間を減少させ、人件費の削減を行いました。

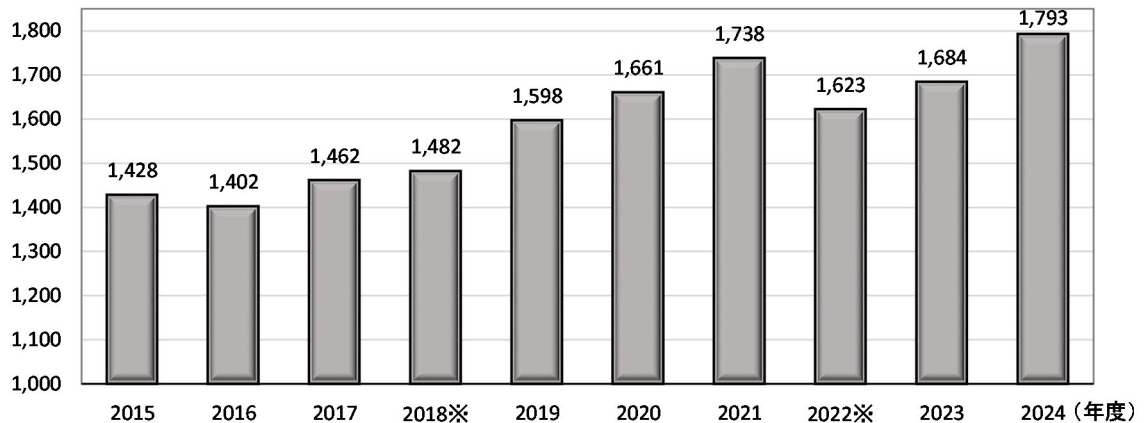


## 2 歳 入 歳 出 予 算 の 状 況

(1) 予算規模

<p>一般会計予算規模 1,792億8,243万円（前年度比 +108億5,595万円、+6.4%）</p> <p>○ 一般会計の予算規模は、前年度に比べて6.4%増の1,792億8,243万円となりました。</p> <p>&lt;歳入&gt;</p> <p>○市税は、前年度に比べて16億2,244万円減の690億8,920万円となり、分担金及び負担金なども減額となる一方で、地方交付税、市債などがそれぞれ増額となりました。</p> <p>&lt;歳出&gt;</p> <p>○中学校給食センター整備事業や、鶴川駅周辺の街づくり事業などの投資的経費、児童手当支給事業、民間保育所運営事業、障がい者サービス給付事業などの扶助費が増額となりました。</p>
<p>特別会計予算規模 1,335億5,275万円（前年度比 +15億6,308万円、+1.2%）</p> <p>○ 特別会計の予算規模は、前年度に比べて1.2%増の1,335億5,275万円となりました。</p> <p>○ 主な増減内容</p> <p>〔国民健康保険事業会計〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者医療制度への移行による被保険者の減などにより14億2千万円の減</li> <li>※1人あたりの医療費が増加している一方で、被保険者及び保険税収入が減少しているため。</li> </ul> <p>〔介護保険事業会計〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者人口の増加に伴い要支援・要介護認定者数の増などにより10億円の増</li> </ul> <p>〔後期高齢者医療事業会計〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険や被用者保険からの移行による被保険者数や医療費の増などにより7億2千万円の増</li> </ul> <p>〔鶴川駅南土地区画整理事業会計〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物移転、整備工事などの土地区画整理事業委託料の増などにより2億5千万円の増</li> </ul> <p>〔下水道事業会計〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見川クリーンセンター改良事業費の増などにより12億1千万円の増</li> </ul> <p>〔病院事業会計〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院運営に係る光熱水費の減などにより2億円の減</li> </ul>

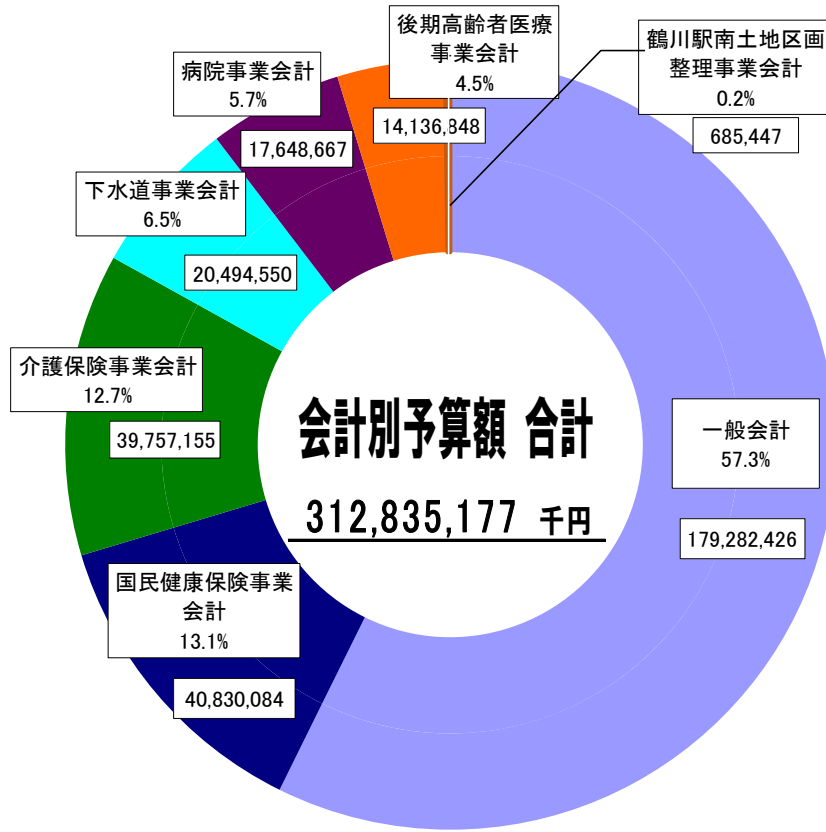
○ 一般会計予算規模 伸び率



年度	2015	2016	2017	2018※	2019	2020	2021	2022※	2023	2024
伸び率 (%)	2.1%	△ 1.8%	4.2%	1.4%	7.8%	4.0%	4.7%	△ 6.7%	3.8%	6.4%

※2018年度及び2022年度は、当初予算が骨格的予算のため、6月補正後の予算額です。

■2024年度 会計別予算構成 (単位：千円)



2024年度 会計別予算構成表

(単位：千円・%)

区 分	2024年度		2023年度		比 較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
一 般 会 計	179,282,426	57.3	168,426,481	56.1	10,855,945	6.4	
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	40,830,084	13.1	42,246,889	14.0	△ 1,416,805	△ 3.4
	介護保険事業会計	39,757,155	12.7	38,756,050	12.9	1,001,105	2.6
	後期高齢者医療事業会計	14,136,848	4.5	13,418,061	4.5	718,787	5.4
	鶴川駅南土地地区画整理事業会計	685,447	0.2	434,064	0.1	251,383	57.9
	下水道事業会計	20,494,550	6.5	19,284,474	6.4	1,210,076	6.3
	収益的	12,099,008	3.8	12,084,916	4.0	14,092	0.1
	資本的	8,395,542	2.7	7,199,558	2.4	1,195,984	16.6
	病院事業会計	17,648,667	5.7	17,850,132	6.0	△ 201,465	△ 1.1
	収益的	15,812,233	5.1	16,174,706	5.4	△ 362,473	△ 2.2
	資本的	1,836,434	0.6	1,675,426	0.6	161,008	9.6
小 計	133,552,751	42.7	131,989,670	43.9	1,563,081	1.2	
合 計	312,835,177	100.0	300,416,151	100.0	12,419,026	4.1	

(2) 歳入予算

主な歳入予算	
○市税では令和 6 年度税制改正に伴う定額減税の実施などを見込み、16 億 2 千万円の減収を見込んでいます。	
<p>&lt;市民税&gt;</p> <p>2024 年度は個人市民税が経済活動の回復により給与所得者が増加したことから増額したものの、定額減税に伴う個人市民税の減少や法人の課税実績が減少したことにより、個人・法人合わせて 15 億 6 千万円 (△4.5%) の減額となりました。</p>	
<p>&lt;固定資産税&gt;</p> <p>評価替に伴う家屋評価額の減少などにより、2 億 6 千万円 (△1.0%) の減額となりました。</p>	
○地方特例交付金では、定額減税に伴う市税の減収補填分の増加などにより、19 億 2 千万円の増額を見込んでいます。	
○国庫支出金では、児童手当の制度改正に伴う 10 億 1 千万円の増加や生活保護世帯数の増加に伴う生活保護費負担金の 3 億 8 千万円の増加などにより、21 億 7 千万円の増額を見込んでいます。	
○都支出金では、とうきょうママパパ応援事業費補助金の 2 億 4 千万円の増額や東京都多子世帯負担軽減事業費補助金の 2 億 3 千万円の増額などにより、9 億円の増額を見込んでいます。	
○市債では中学校給食センターの整備等に伴う学校施設整備事業債の 30 億円の増額などにより、20 億 5 千万円の増額を見込んでいます。	

2024年度 一般会計歳入予算内訳表

(単位：千円・%)

款	2024 年度		2023 年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 市 税	69,089,198	38.5	70,711,640	42.3	△ 1,622,442	△ 2.3
2. 地 方 特 例 交 付 金	2,402,274	1.3	487,000	0.3	1,915,274	393.3
3. 国 庫 支 出 金	35,040,988	19.5	32,870,185	19.6	2,170,803	6.6
4. 都 支 出 金	26,042,422	14.5	25,141,463	14.9	900,959	3.6
5. 市 債	9,219,000	5.2	7,174,000	4.3	2,045,000	28.5
6. そ の 他	37,488,544	21.0	32,042,193	18.6	5,446,351	17.0
歳 入 合 計	179,282,426	100.0	168,426,481	100.0	10,855,945	6.4

〔市税の状況〕

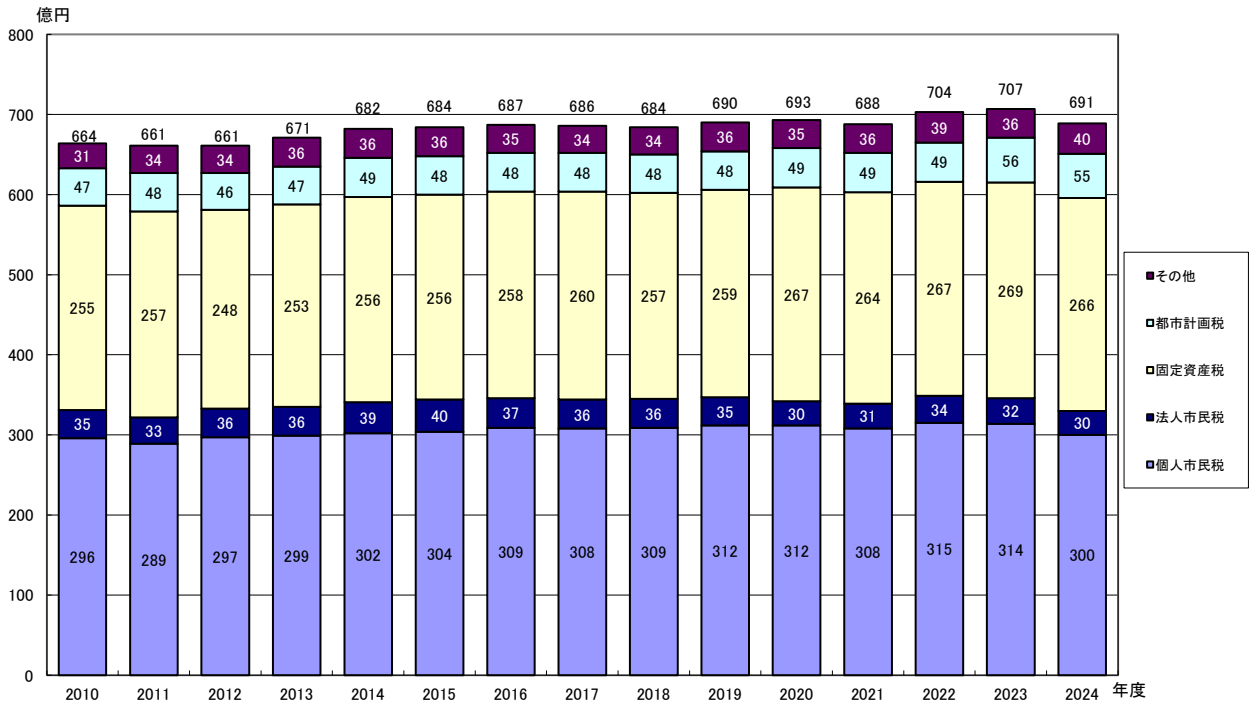
- ・ 令和6年度税制改正に伴う定額減税実施などによる個人市民税の減（うち 令和6年度税制改正に伴う定額減税影響額） △13.6億円  
△19.2億円
- ・ 評価替に伴う家屋評価額の減少などによる固定資産税の減 △2.6億円

■市税予算の内訳

（単位：千円・％）

区 分	2024年度	2023年度	比 較	
			増減額	増減率
市民税	33,040,270	34,595,520	△ 1,555,250	△ 4.5
個人	30,022,885	31,384,350	△ 1,361,465	△ 4.3
法人	3,017,385	3,211,170	△ 193,785	△ 6.0
固定資産税	26,617,462	26,874,293	△ 256,831	△ 1.0
土地（現年課税）	11,675,652	11,597,271	78,381	0.7
家屋（現年課税）	11,479,082	11,653,288	△ 174,206	△ 1.5
償却資産（現年課税）	2,955,886	3,087,792	△ 131,906	△ 4.3
その他	506,842	535,942	△ 29,100	△ 5.4
軽自動車税	568,551	543,246	25,305	4.7
市たばこ税	2,450,070	2,300,775	149,295	6.5
事業所税	857,271	832,918	24,353	2.9
都市計画税	5,549,464	5,559,957	△ 10,493	△ 0.2
その他	6,110	4,931	1,179	23.9
合 計	69,089,198	70,711,640	△ 1,622,442	△ 2.3

（参考）市税の推移



※2010～2022年度は決算額、2023、2024年度は予算額。

### (3) 歳出予算

主な歳出予算	
○	2024年度は、まちだ未来づくりビジョン2040、町田市5ヵ年計画22-26の3年目にあたり、目標達成に向けた取り組みを着実に推進するため、真に必要な事業の予算を計上しています。
○	子どもにやさしいまち条例に基づき、“子どもにやさしいまち”の具現化を目指します。また、未来の子どもたちにより良い教育環境を整備するための新たな学校づくりの推進や、全員給食を目指す中学校給食センターの整備など、町田の将来を担う子どもたちにやさしい、「ここでの成長がカタチになるまち」の実現を目指します。
○	多摩都市モノレール延伸を見据えた町田駅周辺を中心市街地開発の推進や、鶴川駅周辺の街づくり、新しい体験型の公園を目指す芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム整備など、「わたしの“ココチよさ”がかなうまち」の実現に向けた投資を積極的に行うほか、さらなる市民サービスの向上と市役所の生産性向上を目指し、行政のデジタル化を引き続き推進します。
○	児童手当費や障がい者サービス給付事業費、生活援護費などの扶助費について、受給者数の増加を適切に見込んだ予算を計上します。

### 2024年度 一般会計歳出予算目的別内訳表

(単位:千円・%)

款	2024年度 予算額 (構成比)	2023年度 予算額 (構成比)	増減額 (増減率)	2024年度予算額の財源内訳				
				特定財源				一般財源 (構成比)
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1. 民生費	92,880,475 (51.8%)	89,047,736 (52.9%)	3,832,739 (4.3%)	32,575,098	18,985,768	108,000	2,112,367	39,099,242 (40.5%)
2. 教育費	18,746,597 (10.4%)	15,223,936 (9.0%)	3,522,661 (23.1%)	632,263	1,088,713	3,575,000	2,370,561	11,080,060 (11.5%)
3. 土木費	17,425,845 (9.7%)	15,722,196 (9.3%)	1,703,649 (10.8%)	713,496	1,696,394	3,279,000	3,020,530	8,716,425 (9.1%)
歳出合計	179,282,426 (100.0%)	168,426,481 (100.0%)	10,855,945 (6.4%)	35,040,988	26,042,422	9,035,000	12,724,816	96,439,200 (100.0%)

#### ○ 目的別予算のトピックス

- ・民生費は、対前年度比38億3千万円、4.3%の増となりました。これは、児童手当支給事業費が9億4千万円増加したことなどによるものです。
- ・教育費は、対前年度比35億2千万円、23.1%の増となりました。これは、中学校給食センター整備事業費が19億7千万円増加したことなどによるものです。
- ・土木費は、対前年度比17億円、10.8%の増となりました。これは、鶴川駅周辺街づくり関連事業費が12億5千万円増加したことなどによるものです。



## 2024年度 一般会計歳出予算性質別内訳表

(単位:千円・%)

区 分	2024年度		2023年度		比 較		
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率	
義 務 的 経 費	人 件 費	24,316,425	13.5	22,650,987	13.5	1,665,438	7.4
	職 員 給 与 費	23,513,345	13.1	21,750,625	12.9	1,762,720	8.1
	特 別 職 給 与 費 等	803,080	0.4	900,362	0.6	△ 97,282	△ 10.8
	扶 助 費	60,889,703	34.0	57,779,036	34.3	3,110,667	5.4
	公 債 費	8,210,804	4.6	7,766,882	4.6	443,922	5.7
	計	93,416,932	52.1	88,196,905	52.4	5,220,027	5.9
投 資 的 経 費	16,962,801	9.5	12,769,962	7.6	4,192,839	32.8	
そ の 他 経 費	物 件 費	31,753,088	17.7	30,689,599	18.2	1,063,489	3.5
	維 持 補 修 費	993,118	0.5	1,080,204	0.6	△ 87,086	△ 8.1
	補 助 費 等	13,411,815	7.5	13,203,877	7.8	207,938	1.6
	繰 出 金	21,178,275	11.8	20,784,961	12.3	393,314	1.9
	出 資 金 ・ 貸 付 金	1	0.0	101	0.0	△ 100	△ 99.0
	積 立 金	1,466,396	0.8	1,600,872	1.0	△ 134,476	△ 8.4
	予 備 費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
計	68,902,693	38.4	67,459,614	40.0	1,443,079	2.1	
歳 出 合 計	179,282,426	100.0	168,426,481	100.0	10,855,945	6.4	

### ○ 性質別予算のトピックス

#### 義務的経費

##### ・ 人件費

人事院勧告に基づく職員給与の改定及び会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始に伴い、対前年度比 16 億 7 千万円、7.4%の増となりました。

##### ・ 扶助費

児童手当支給事業の制度改正や、障がい者サービス給付事業及び生活保護事業の受給者数の増加などに伴い、対前年度比 31 億 1 千万円、5.4%の増となりました。

##### ・ 公債費

循環型施設整備事業などの元金償還の増加に伴い、対前年度比 4 億 4 千万円、5.7%の増となりました。

#### 投資的経費

中学校給食センター整備事業、中学校校舎等改修事業やみちづくり・まちづくりパートナー事業などの事業費が増加したことに伴い、対前年度比 41 億 9 千万円、32.8%の増となりました。

#### その他経費

##### ・ 物件費

国が進めている税などの基幹業務システムの標準化に伴う業務システム整備運用事業や、中学校給食開始に伴う中学校給食センターの事業費が増加したことに伴い、対前年度比 10 億 6 千万円、3.5%の増となりました。

##### ・ 積立金

多摩都市モノレール基金積立金などが減少したことに伴い、対前年度比 1 億 3 千万円、8.4%の減となりました。

#### (4) 積立金（基金）・市債

##### ①積立金（基金）の状況

財政調整基金現在高は、2023 年度末時点で 103 億 826 万円です。2024 年度当初予算では 61 億 9,283 万円を取り崩し、当初予算時点での 2024 年度末現在高見込額は 41 億 3,338 万円となります。

##### 基金現在高

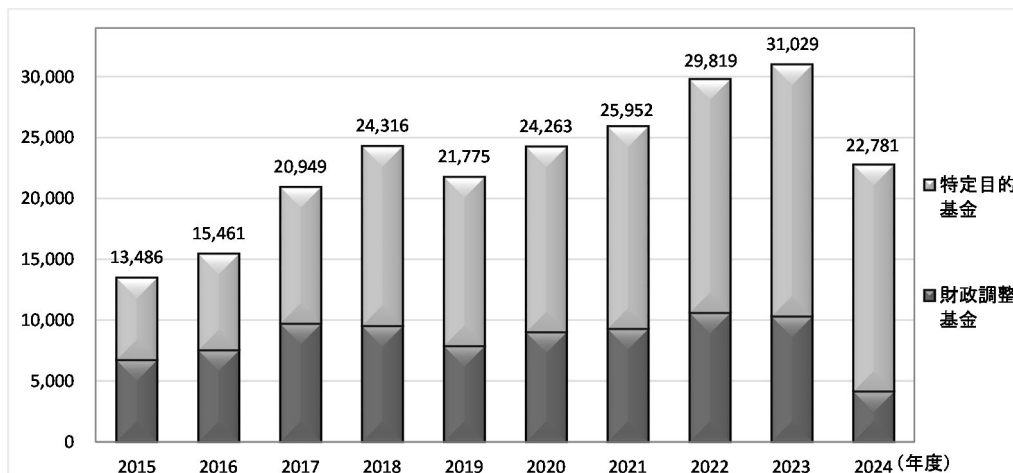
区 分	2022年度末 現在高	2023年度末 現在高見込額	2024年度中増減見込み		2024年度末 現在高見込額 (当初予算時点)
			当該年度中 積立額	当該年度中 取崩・繰戻 見込額	
	千円	千円	千円	千円	千円
財政調整基金	10,592,388	10,308,259	17,954	6,192,831	4,133,382
公共施設整備基金	8,420,777	9,645,044	539,417	2,000,000	8,184,461
緑地保全基金	1,239,668	1,088,267	2,116	93,477	996,906
福祉基金	101,640	136,778	40,155	1,386	175,547
職員退職手当基金	2,895,522	3,362,000	—	—	3,362,000
介護保険給付費 準備基金	3,087,923	3,084,257	5,263	500,000	2,589,520
廃棄物減量再資源化等推 進整備基金	2,026,773	1,507,205	615,273	907,999	1,214,479
まちだ未来づくり基金	450,787	640,150	195,778	17,549	818,379
多摩都市モノレール基金	1,001,292	1,252,817	51,703	—	1,304,520
まち・ひと・しごと創生基金	2,643	4,643	4,000	6,619	2,024
合 計	29,819,413	31,029,420	1,471,659	9,719,861	22,781,218

※2022年度末現在高は、出納閉鎖時(2023年5月31日現在)の現在高です。

※2023年度末現在高は、3月補正後時点の現在高です。

- ・財政調整基金は、2024年度内の補正予算で行う前年度決算剰余金等の積立てにより、年度末残高 80 億円の目標額を確保します。
- ・公共施設整備基金では、新たな学校づくり推進事業の整備費用がピークを迎える 2027 年度から 2029 年度までの一般財源想定額約 60 億円に備え、財政負担の平準化を図るため、その 2 分の 1 にあたる 30 億円を目標額とし、毎年当初予算において 5 億円の積立てを行います。

##### ■基金の年度末現在高の推移（単位：百万円）



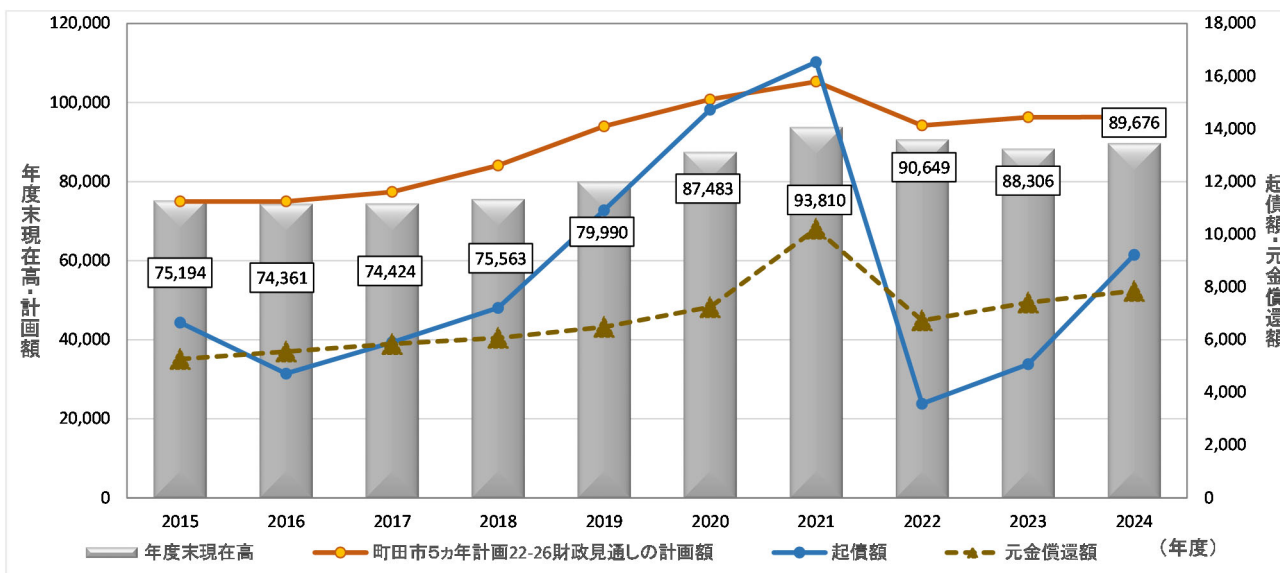
## ②市債の状況

一般会計の2024年度起債見込額は92億1,900万円となり、2024年度末の市債元金現在高見込額は896億7,558万円になります。

区 分	2022年度末 現在高	2023年度末 現在高見込額	2024年度中増減見込み		2024年度末 現在高見込額
			当該年度中 起債見込額	当該年度中 元金償還見込額	
一 般 会 計	千円 90,648,825	千円 88,305,649	千円 9,219,000	千円 7,849,073	千円 89,675,576
鶴川駅南土地 区画整理事業会計	—	30,000	293,000	0	323,000
下水道事業会計	41,709,531	43,346,883	3,981,900	3,069,056	44,259,727
病院事業会計	10,173,134	9,073,139	297,100	1,193,836	8,176,403
合 計	142,531,490	140,755,671	13,791,000	12,111,965	142,434,706

※2023年度末現在高は、3月補正後時点の現在高です。

■市債（一般会計）の年度末現在高等の推移（単位：百万円）



<参考>

### 【地方消費税交付金（社会保障財源分）】

2014年4月および2019年10月の地方消費税率の引上げに伴う交付金の増分は、以下の社会保障施策に要する経費の財源としています。

(単位：億円)

	2024年度 予算額	うち一般財源	
		地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	
社会福祉	709.3	203.6	31.7
社会保険	181.9	157.7	24.6
保健衛生	42.1	32.7	5.1
合計	933.3	394.0	61.4

※地方消費税交付金（社会保障財源分）は、各経費に要する一般財源の比率に応じて活用しています。



### 3 町田市5ヵ年計画 22-26 における財政見通し（一般財源ベース）

---

## 町田市5ヵ年計画22-26における財政見通し（一般財源ベース）

町田市5ヵ年計画22-26 財政見通しの2024年度（令和6年度）計画額と、予算額の比較及び計画の進捗状況は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	A	B	C	C - B	D	D/A
	2022～2026年度 までの計画事業費	2024年度 (令和6年度) 計画額	2024年度 (令和6年度) 予算額	比較	計画の進捗状況 (2024年度まで：予算ベース)	
					予算額合計	進捗率
歳入（一般財源）	475,680	96,402	102,059	▲ 5,657	293,582	61.7%
市税	346,620	69,514	69,089	▲ 425	208,273	60.1%
譲与税・交付金等	70,572	13,627	19,640	▲ 6,013	50,206	71.1%
基金繰入金	18,115	4,500	8,193	▲ 3,693	16,487	91.0%
その他	40,373	8,761	5,137	▲ 3,624	18,616	46.1%
歳出（一般財源）	483,158	98,334	102,059	▲ 3,725	293,582	60.8%
義務的経費	202,412	40,604	42,885	▲ 2,281	123,080	60.8%
人件費	97,149	19,732	20,877	▲ 1,145	60,253	62.0%
正規職員	81,152	16,568	16,906	▲ 338	49,771	61.3%
うち退職手当	4,544	1,318	1,267	▲ 51	3,235	71.2%
会計年度任用職員	15,997	3,164	3,971	▲ 807	10,482	65.5%
扶助費	64,863	12,975	13,797	▲ 822	39,631	61.1%
公債費	40,400	7,897	8,211	▲ 314	23,196	57.4%
その他の経費	280,746	57,730	59,174	▲ 1,444	170,502	60.7%
繰出金等	90,539	18,124	18,784	▲ 660	55,305	61.1%
事業費	190,207	39,606	40,390	▲ 784	115,197	60.6%
経常事業費等	156,364	31,489	34,292	▲ 2,803	99,610	63.7%
政策的事業費	33,843	8,117	6,098	▲ 2,019	15,587	46.1%
歳入－歳出 (= ▲収支不足額)	▲ 7,478	▲ 1,932	0		0	

### <歳入>

◇歳入については、計画額よりも56億6千万円の増となりました。

市税では、定額減税に伴う個人市民税の減少などにより、4億3千万円の減となりました。

譲与税・交付金等では、国の2024年度地方財政計画における見通しに基づき、地方交付税が16億4千万円の増額となる一方で、その他の収入では、臨時財政対策債が35億7千万円の減額となりました。また、基金繰入金において、財政調整基金繰入金が31億9千万円の増となりました。

### <歳出>

◇歳出については、計画額よりも37億3千万円の増となりました。

政策的事業では20億2千万円の減額となる一方で、経常事業費等では、物価高騰の影響に伴い28億円の増となりました。

また、給与改定及び会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始に伴い人件費が11億5千万円増となったほか、扶助費、公債費も計画額を上回りました。

#### 4 町田市5ヵ年計画 22-26 の 2024 年度重点事業（事業費ベース）

---

## 町田市5ヵ年計画 22-26 の 2024 年度重点事業（事業費ベース）



**○政策 1：赤ちゃんに選ばれるまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・9 億 3,081 万円**

地域における子育て支援の充実／送迎保育による多様な保育サービスの推進／病児・病後児保育の充実／保育の質の向上／教育・保育施設の整備

**○政策 2：未来を生きる力を育み合うまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・41 億 6,878 万円**

子どもの参画の推進／子どもクラブの整備／学童保育クラブの整備／えいごのまちだの推進／ICT教育の充実／新たな学校づくりの推進／中学校給食センターの整備／小学校施設の整備／中学校施設の整備

**○政策 3：自分らしい場所・時間を持てるまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 億 3,014 万円**

働きやすいまちづくりの推進／シティプロモーションの推進／シティセールスの推進／町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進／里山環境の活用と保全

**○政策 4：いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる・・・・・・・・・・6 億 5,048 万円**

ワタシが主役の図書館づくりの推進／新たな図書館様式の推進／地域スポーツ環境の充実／野津田公園スポーツの森の整備／忠生スポーツ公園の整備／スポーツをする場の環境整備

**○政策 5：人生の豊かさを実感できるまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 億 5,827 万円**

地域介護予防活動支援／認知症の人やその家族の居場所づくり／介護人材の確保・育成・定着

**○政策 6：つながりを力にするまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・21 億 4,758 万円**

地域活動団体支援／町田市地域ホッとプランの推進／地球温暖化対策の推進／循環型施設の整備／プラスチックごみの減量の推進

**○政策 7：ありのまま自分を表現できるまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・7,320 万円**

性の多様性への理解／障がい者差別解消推進／成年後見制度の利用支援

**○政策 8：思わず出歩きたくなるまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・84 億 4,505 万円**

鶴川駅周辺のまちづくりの推進／相原駅周辺のまちづくりの推進／忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進／木曾山崎地区のまちづくりの推進／町田駅周辺地区のまちづくりの推進／中心市街地の賑わい空間の創出／（仮称）蓮田公園の整備／芹ヶ谷公園芸術の杜・（仮称）国際工芸美術館の整備

**○政策 9：みんなが安心できる強いまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 億 5,358 万円**

自主防災リーダーの育成／避難行動要支援者の避難支援体制整備／地震対策（雨水管・下水道処理施設）／無電柱化の推進／交通安全ミーティングの推進／道路安全設備の緊急更新



## 5 2024年度予算において重点的に取り組む事業

---

## 2024 年度予算において重点的に取り組む事業

**新規** 全部もしくは一部が新たに実施する事業 **拡充** 事業の内容を拡充し行う事業  
町田市 5 カ年計画 22-26 における主な取り組み（重点事業）

### まちだの子どもたちのために ～ここでの成長がカタチになるまち～

**拡充** **子どもにやさしいまちづくり事業** **1,027 万円** （30 ページ）

5 月 5 日施行の「町田市子どもにやさしいまち条例」を踏まえ、町田市全体による「子どもにやさしいまち」を実践します。

**（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業** **2,503 万円** （32 ページ）

「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」に基づき、（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設の整備に向けた取組を進めます。

**拡充** **出産・子育て応援事業** **4 億 6,639 万円** （34 ページ）

妊娠から出産、子育てに臨む家庭に寄り添った相談支援と経済的支援をパッケージで実施し、より安心して出産・子育てができる環境を整備します。

**拡充** **子どもクラブ整備事業** **1 億 6,780 万円** （35 ページ）

（仮称）成瀬地区子どもクラブは、整備工事に着手します。（仮称）金井・薬師地区子どもクラブは、基本計画の策定を行います。

**中学校給食センター整備事業** **20 億 607 万円** （36 ページ）

町田忠生小山エリア及び鶴川エリアの給食センター整備を完了します。南エリアの給食センター整備を進めます。鶴川及び堺エリアで中学校全員給食を開始します。

**拡充** **新たな学校づくり推進事業** **6 億 1,145 万円** （38 ページ）

本町田・南成瀬地区では PFI 事業の契約を締結します。また、推進計画策定以降の環境変化を踏まえ、学校統合や通学区域変更の時期を点検します。

**中学校エレベーター設置事業** **6 億 1,220 万円** （42 ページ）

中学校 4 校でエレベーター設置工事を完了します。また、新たに中学校 4 校のエレベーター設置工事に着手します。

**拡充** **民間保育所保育体制強化事業** **3 億 8,262 万円** （43 ページ）

4・5 歳児を受け持つ保育士の配置を 30 対 1 から 25 対 1 に改善した民間保育所に対して、給付費の加算を行い、更なる保育の質の向上を推進します。

**新規** **未就園児預かり推進事業** **1,259 万円** （43 ページ）

東京都の事業を活用し、在宅子育て家庭の孤立防止や育児不安軽減等、子育て支援の充実を図ることを目的に、幼稚園等においてモデル事業を実施します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

**拡充** 学校給食における物価高騰対策及び多子世帯給食費無償化事業 12億8,011万円 (44ページ)

給食費改定に伴う増額分について保護者の負担軽減を図ります。また、子育て支援の一環として多子世帯の給食費を無償化します。

**拡充** 児童手当支給事業・児童扶養手当支給事業 81億9,823万円 (46ページ)

子育て世帯を経済的に支援するため、児童手当及び児童扶養手当の拡充を行います。

## まちだでちょうどいい暮らし ～わたしの“ココチよさ”がかなうまち～

**多摩都市モノレールまちづくり推進事業** 6,979万円 (47ページ)

2024年3月に策定するモノレール沿線まちづくり構想に基づき、沿線地域のまちづくりの事業化に向けた検討を行います。基金を計画的に積立てます。

**中心市街地開発推進事業** 1億383万円 (48ページ)

町田駅周辺の開発推進のため、まちづくり検討を進めます。特に森野住宅周辺地区の開発をリーディングゾーンとして、測量や交通基盤の検討を行います。

**中心市街地活性化推進事業** 8,758万円 (50ページ)

原町田大通りの歩道の拡幅及び滞留空間を整備し、新たな憩いの空間、賑わい空間づくりにより、駅周辺や商店街の賑わい向上につなげます。

**小田急多摩線延伸促進事業** 1,000万円 (51ページ)

延伸の早期実現を目指して、相模原市と共同に必要な調査検討等を実施します。

**相原駅周辺街づくり事業** 7億7,433万円 (52ページ)

東口駅前交通広場に接する地権者と駅前街区の再編整備に向け協議を進めます。また、駅前交通広場の設計等を行い東口へのアクセス路の整備を進めます。

**鶴川駅周辺街づくり事業** 30億726万円 (54ページ)

北口交通広場、南北自由通路、南口アクセス道路の整備工事等を行います。また、鶴川駅南土地区画整理事業では、建物等移転、整備工事を行います。

**(仮称) 町田木曽山崎パラアリーナ整備・運営事業** 2,649万円 (57ページ)

(仮称) 町田木曽山崎パラアリーナの整備に向け、PFI事業者を公募・選定するとともに、基本協定・本契約の締結を行います。

**拡充** 野津田公園スポーツの森整備事業 4億8,337万円 (58ページ)

引き続き町田GIONスタジアムの照明LED化工事を行います。南側アクセス改善のためのフットライト設置工事や、町田駅とのバス輸送等を行います。

**拡充** 忠生スポーツ公園(第二次)整備事業 2,563万円 (60ページ)

誰もがスポーツを楽しみながら体力づくりができる空間とするため、池の辺地区に続き、峠谷・旧埋立地地区の整備へ向けて準備を進めます。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

**芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業** 8億8,981万円 (62ページ)

「パークミュージアム」の実現に向け、(仮称)国際工芸美術館、国際版画美術館等と公園を一体的に整備します。

**町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上推進事業** 1億812万円 (64ページ)

このエリアに何度も訪れていただけるように各施設の整備・改修を進め、充実を図るため、リス園をリニューアルするための基本計画を策定します。

**香山緑地整備事業** 3億2,031万円 (65ページ)

鶴川地域の観光拠点の一つとするため、香山緑地にある既存建物の耐震・改修工事や庭園工事を行います。開園は2025年1月の予定です。

**小山田蓮田緑地整備事業** 1億3,782万円 (66ページ)

観光資源である大賀蓮の魅力を活かし、誰もが快適に過ごせる観光名所・地域資源となるよう、引き続き用地取得及び整備工事を行います。

**(仮称)大戸広場整備事業** 2億9,232万円 (67ページ)

既存の緑地を活かしながら、地域交流を深める憩いの場となるよう、用地取得及び整備に係る実施設計及び地質調査等を行います。

**忠生630号線・忠生579号線整備事業** 3億1,390万円 (68ページ)

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路の整備を進めます。

**都市計画道路築造事業** 29億8,814万円 (69ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

**まちだで人と人、人とまちがつながる ～誰もがホッとできるまち～**

**拡充 地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業** 8,974万円 (73ページ)

堺、鶴川地域に加えて、新たに2024年10月から忠生地域、南地域に地域福祉コーディネーターを配置するなど、福祉の相談支援体制を強化します。

**拡充 避難行動要支援者避難支援体制整備事業** 1,204万円 (74ページ)

鶴川地区をモデル地区として、ハザードの状況や対象者の心身の状況を基に設定した計画作成の優先度が高い方から、個別避難計画を作成します。

**地域介護予防活動支援事業** 1億1,751万円 (75ページ)

介護予防サポーターの養成など、住民主体の介護予防活動の育成・支援を行います。

**無電柱化推進事業** 3億2,327万円 (76ページ)

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、原町田中央通り、町田623号線、文学館通りの無電柱化を進めます。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

**新規 異業種・異分野連携による新たな価値創出事業** **2,500万円** (77 ページ)

異業種・異分野の連携で新たな価値の創出に取り組む事業者を支援し、町田市の地域経済循環を促進するため、初期投資費用の一部を補助します。

**循環型施設整備事業** **20億2,292万円** (78 ページ)

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、町田市バイオエネルギーセンターおよび資源ごみ処理施設の整備事業を推進します。

**拡充 障がい者差別解消推進事業** **179万円** (80 ページ)

町田市における障がい者差別解消条例の制定を機に、広く条例内容や制度周知を行い、障がい者差別解消に向けた関係機関との協働体制を整備します。

**共創プラットフォーム推進事業** **1,256万円** (81 ページ)

地域のやりたいことの実現、地域課題の解決、地域活動の創出や活動の支援を行う、デジタルを活用した「共創プラットフォーム」の構築を推進します。

**新規 男性HPVワクチン接種事業** **1,020万円** (82 ページ)

男性へのHPVワクチン任意予防接種にかかる費用の全部を助成します。

## まちづくりを支える行政経営 ～みんなの“なりたい”がかなうまち～

**新規 地域コミュニティに関する共同研究事業** **800万円** (83 ページ)

教育・研究機関と共同し、地域コミュニティに関する研究を行います。

**デジタル化推進事業** **6億2,943万円** (84 ページ)

「町田市デジタル化総合戦略 2023」に基づき、デジタル技術の徹底的活用による市民の利便性向上と市役所の生産性向上を目指します。

**公共施設等マネジメント事業** **4,191万円** (86 ページ)

「町田市公共施設再編計画」に基づき、町田駅周辺公共施設の再編プロジェクトや、その他公共施設の再編に向けた取り組みを推進します。

**公共施設等維持保全事業** **28億8,090万円** (88 ページ)

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件名		子どもにやさしいまちづくり事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,274			0	0	0	0

**【事業の背景・目的】**

2024年5月5日に施行する「町田市子どもにやさしいまち条例<sup>\*</sup>」を具体化し、世界的にも広がりを見せている「子どもにやさしいまちづくり」を町田市において実践するため、子どもたちやユニセフと連携し、まちづくりや業務改善を実行します。

※「町田市子どもにやさしいまち条例（愛称：まちだコドマチ条例）」は、町田市全体で「子どもにやさしいまち」の実現を目的としたものです。条例の前文では「子どもの参画」の次のステップである「子ども自身による実行」を示しており、実現できるように取り組んでいく必要があります。また、条例では子どもの個性の尊重、多様な生き方をみんなが支えることなどが求められています。

**【事業の内容】**

**① 町田市版 CFCI<sup>\*</sup>の推進**

「子どもにやさしいまち」の実現に向け、「子どもにやさしいまち」の基準となる町田市独自のチェックリストを用いて、子ども施策を自己評価したのち外部意見を聞いてまちづくりや業務改善に取り組みます。

※CFCI(Child Friendly Cities Initiative)は、「子どもの権利条約」を自治体レベルで具体化するための、ユニセフが主唱する世界的な活動です。町田市では、世界的な広がりを見せている「子どもにやさしいまちづくり」を推進するため、ユニセフと連携して様々な取り組みを実施しています。

**② 子どもにやさしいまちづくりの機運醸成につながるイベントの実施**

「町田市子どもにやさしいまち条例」施行を記念して、次の2つのPR事業の実施を予定しています。

(1) 子どもセンターの周年イベントに合わせた条例施行記念イベント及び動画配信の実施

イベントについては、子どもの意見を取り入れて子どもと共に進めます。

日時 事業名	2024年4月21日(日)	つるっこ あにばーさりい、ぱお ばーすでい 15
	2024年4月29日(月祝)	まあち8バースデー
	2024年5月5日(日)	子どもセンターばあん誕生祭(25周年)
	2024年5月5日(日)	ただON 子どもの日スペシャル

(2) 4月から5月までに開催する町田市主催・共催・協カイベントでのPRブース設置

町田市全体で「子どもにやさしいまち」を実現していくために、「子どもの権利」に関するクイズや「子どもの権利」PRキャラクターのオリジナル缶バッジ作成などの体験を通して、子どもが「子どもの権利」について考えるきっかけとします。また、子どもを通じて、一緒に訪れた大人にも体験の参加を促し、共に考えるきっかけとします。



**③ まちだ若者大作戦**

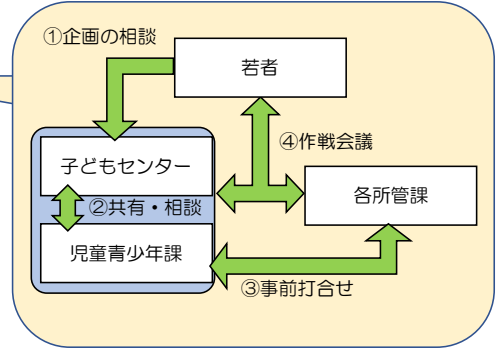
中学生から23歳までの若者が、自らの力で“やりたいこと”を実現できるように、市の職員が企画案の作成や仲間づくり、場づくりなどをサポートするほか、町田市の広報媒体を活用して一緒に活動をPRします。

また、若者で構成する実行委員会が次のいずれかのプランの実施を採択した場合、市はプランに応じた補助金を支給します。

○若者が中心となって実施する「やりたいこと実現プラン」1 プランにつき上限 10 万円を交付

○行政課題の解決につながるもので、あらかじめ事業担当部署から賛同を受けた「まちづくりプラン」1 プランにつき上限 50 万円を交付

- 1 企画内容相談シートの提出
- 2 審査申し込み書の提出
- 3 企画のプレゼン（審査）
- 4 補助金の申請・受け取り
- 5 準備・実現
- 6 実施報告・補助金精算



【スケジュール】

年度	2024											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①町田市版 CFCI の推進	2023 年度の改善策に基づく取組の実施										まとめ・報告	
	CFCI チェックリスト他自治体調査											
	CFCI 委員会での調整											
	研修	(新規採用職員研修)						庁内研修				
②啓発 イベント等の 実施	イベント 準備・実施											
	庁内各課のイベントでの PR の実施											
③まちだ若 者大作戦	エントリー・審査・実行 (※審査会の実施回数及び日程については、若者と相談の上、決定)											

【主な事業費】

①② CFC 日本型モデル検討支援業務委託料	3,000 千円
① 講師謝礼	108 千円
② 町田市子どもにやさしいまち条例 PR イベント実施委託料	2,000 千円
③ まちだ若者大作戦補助金	3,600 千円
③ 参画事業協力謝礼	735 千円
③ 広告料(デジタルサイネージ)	250 千円
③ 審査員謝礼	201 千円
③ 印刷製本費	145 千円

問合せ先	子ども生活部 子ども総務課長 大坪	電話	724-2876
	児童青少年課長 菊地		724-4097

件名	(仮称) 子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
25,030			0	0	0	0

**【事業の背景・目的】**

市では、「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」(2018年6月策定)に基づき、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指して、公共施設の再編を推進しています。その取り組みの1つとして、「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」(2022年3月策定)に基づき教育センターを建替えて、新たに(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設の整備に向けた取り組みを進めています。

**【事業の内容】**

新施設は、教育センターや子ども発達センターの機能に加え、子ども家庭支援センターと健康福祉会館で提供している母子保健等の機能を複合化した、「こども家庭センター」を設置することで、「子ども・子育てで支援を切れ目なく受けることができる施設」、「地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所」をコンセプトとした施設整備を進めます。

2024年度は、2029年度の新施設オープンに向けて、整備等事業者を公募・選定し、契約を締結します。

＜新施設のコンセプト＞

**子ども・子育て支援を切れ目なく受けることができる施設**

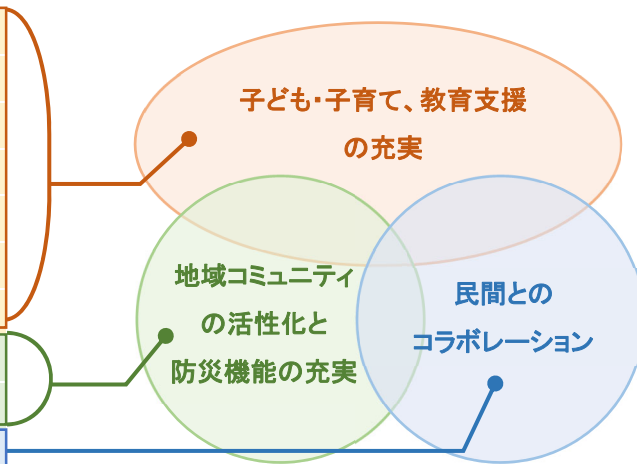
- ・母子保健機能と子ども・子育てに関する支援機能を複合化した、「こども家庭センター」を設置することで、子ども・子育てに関する様々な支援を切れ目なく受けることができる拠点を目指します。
- ・児童発達支援機能と教育支援機能を複合化することで、幼児期から学齢期まで切れ目のないサポートを受けることができるなど、子どもの発達や子育て・教育上の課題に対する総合的支援体制の一層の充実につなげます。
- ・子育て世帯の交流が自然と生まれる施設を目指します。

**地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所**

- ・子育て世帯など、目的があって施設を訪れる方だけではなく、地域にお住まいの高齢者など、様々な市民が気軽に立ち寄って時間を過ごせるような施設を目指します。
- ・境川や河川沿いの緑地帯、そして、境川団地や住宅などの、周辺環境と調和し、かつ、地域の象徴(シンボル)となる施設を目指します。
- ・広い敷地を活かし、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービスの誘致を図ります。

＜導入予定の主な機能＞

- ・子ども・子育てに関する相談
- ・発達相談、療育支援
- ・虐待相談、療育支援訪問
- ・妊産婦・乳幼児相談、乳幼児健診等の各種健診
- ・休日・準夜間小児緊急診療
- ・教育相談、就学相談、けやき教室・くすのき教室
- ・非行相談等の更生保護活動
- ・地域活動
- ・居場所機能
- ・地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる機能



※ 上記のほか、都立児童相談所も新施設へ複合化します。



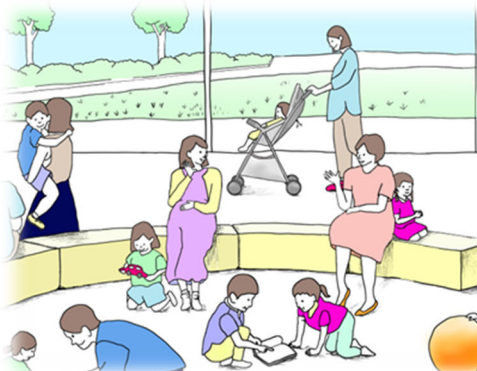
＜新施設の想定規模等＞

所在地	木曾東 3-1-3(教育センター現有地)	敷地面積	約 13,783 ㎡
用途地域	第二種住居地域	建蔽率/容積率	60%/200%
高度地区	31m第二種高度地区	防火地域	準防火地域
延床面積	約 14,600 ㎡(予定)	階数	5 階(予定)
事業方式	BTO 方式		

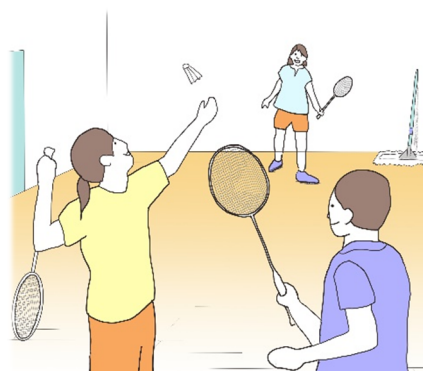
＜施設の利用イメージ＞



▲ 地域みんなで話し合える場所がある



▲ 親子で交流や相談ができる



▲ 活動を楽しむための場所が借りられる

【スケジュール】

2024 年度のスケジュール(月次工程)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業	●公募開始	民間事業者との対話等・提案書受付					事業者選定		●結果公表	●仮契約締結			●契約締結(議決)

2024 年度以降のスケジュール(年次工程)

年度	2024	2025	2026	2027	2028	2029
子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業	公募・契約	設計・建設工事				●供用開始
		仮施設設備上げ				

【事業費】

(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等公募支援業務委託料	24,849 千円
(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業事業者選定委員会委員謝礼	181 千円
(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業	0 千円
(2024～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 15,111,184 千円)	
教育センター仮施設設備上事業	0 千円
(2024～2029 年度債務負担行為事業 総事業費 1,291,609 千円)	

問合せ先

政策経営部 企画政策課公共施設再編担当課長 田中

電話

724-2103

件名		出産・子育て応援事業																														
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																										
466,386			175,963	290,423	0	0	0																									
<p><b>【事業の背景・目的】</b> 核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、出産・育児に対する不安や悩みを抱えた家庭への支援が求められています。市内すべての子育て家庭に、妊娠期から寄り添い、誰もが安心して出産を迎え、子育てができるよう、家庭の状況に応じた相談支援や経済支援を行います。</p> <p><b>【事業の内容】</b> 妊婦健診や乳幼児健診などの法定健診や保健指導に加え、4つの事業で育児支援を実施します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 出産・子育てしっかりサポート事業</td> <td>妊娠届出時のしっかりサポート面接や妊娠 8 か月時アンケートなど、伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠時と出産時に 5 万円相当の応援ギフトを送る経済的支援をパッケージで実施します。</td> </tr> <tr> <td>② 産後ケア事業</td> <td>育児不安、負担の軽減をするため、医療機関、助産院、または利用者宅において、母体ケア、乳児ケア、育児相談を実施します。 また、利用を希望する方が利用しやすいように、全ての方を対象とした自己負担額の減額を行います。</td> </tr> <tr> <td>③ 多胎児家庭支援事業（移動経費補助）</td> <td>0 歳、1 歳、2 歳の誕生日を迎える多胎児を養育する家庭に対し、保健師等が面接を行い、予防接種や乳幼児健診に行く際の移動の負担を軽減するため、タクシーに利用できる券を配布します。</td> </tr> <tr> <td>④ ファーストバースデーサポート事業</td> <td>1 歳の誕生日を目安にアンケートを実施し、子育て支援等の情報提供を行います。また、アンケート回答後にお渡しする育児パッケージをこれまでの第一子 1 万円、第二子 2 万円、第三子以降 3 万円から一律 6 万円に増額します。さらに利便性の向上のため、これまでの紙チケットからデジタルギフトへ変更し交付します。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【主な事業費】</b></p> <table> <tbody> <tr> <td>① 事業・業務委託料（出産・子育て応援ギフト）</td> <td>240,000 千円</td> </tr> <tr> <td>② 事業・業務委託料（産後ケア事業）</td> <td>30,733 千円</td> </tr> <tr> <td>③ 消耗品費（多胎児移動支援タクシーチケット）</td> <td>2,376 千円</td> </tr> <tr> <td>④ 消耗品費（ファーストバースデーサポート事業育児パッケージ）</td> <td>167,750 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【主な特定財源】</b></p> <table> <tbody> <tr> <td>① 出産・子育て応援交付金（国 2/3）</td> <td>160,000 千円</td> </tr> <tr> <td>① とうきょうママパパ応援事業費補助金（都 1/3）</td> <td>80,000 千円</td> </tr> <tr> <td>② 母子保健衛生費補助金（国 1/2）</td> <td>15,366 千円</td> </tr> <tr> <td>②③④ とうきょうママパパ応援事業費補助金（都 10/10 など）</td> <td>188,508 千円</td> </tr> </tbody> </table>							事業	内容	① 出産・子育てしっかりサポート事業	妊娠届出時のしっかりサポート面接や妊娠 8 か月時アンケートなど、伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠時と出産時に 5 万円相当の応援ギフトを送る経済的支援をパッケージで実施します。	② 産後ケア事業	育児不安、負担の軽減をするため、医療機関、助産院、または利用者宅において、母体ケア、乳児ケア、育児相談を実施します。 また、利用を希望する方が利用しやすいように、全ての方を対象とした自己負担額の減額を行います。	③ 多胎児家庭支援事業（移動経費補助）	0 歳、1 歳、2 歳の誕生日を迎える多胎児を養育する家庭に対し、保健師等が面接を行い、予防接種や乳幼児健診に行く際の移動の負担を軽減するため、タクシーに利用できる券を配布します。	④ ファーストバースデーサポート事業	1 歳の誕生日を目安にアンケートを実施し、子育て支援等の情報提供を行います。また、アンケート回答後にお渡しする育児パッケージをこれまでの第一子 1 万円、第二子 2 万円、第三子以降 3 万円から一律 6 万円に増額します。さらに利便性の向上のため、これまでの紙チケットからデジタルギフトへ変更し交付します。	① 事業・業務委託料（出産・子育て応援ギフト）	240,000 千円	② 事業・業務委託料（産後ケア事業）	30,733 千円	③ 消耗品費（多胎児移動支援タクシーチケット）	2,376 千円	④ 消耗品費（ファーストバースデーサポート事業育児パッケージ）	167,750 千円	① 出産・子育て応援交付金（国 2/3）	160,000 千円	① とうきょうママパパ応援事業費補助金（都 1/3）	80,000 千円	② 母子保健衛生費補助金（国 1/2）	15,366 千円	②③④ とうきょうママパパ応援事業費補助金（都 10/10 など）	188,508 千円
事業	内容																															
① 出産・子育てしっかりサポート事業	妊娠届出時のしっかりサポート面接や妊娠 8 か月時アンケートなど、伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠時と出産時に 5 万円相当の応援ギフトを送る経済的支援をパッケージで実施します。																															
② 産後ケア事業	育児不安、負担の軽減をするため、医療機関、助産院、または利用者宅において、母体ケア、乳児ケア、育児相談を実施します。 また、利用を希望する方が利用しやすいように、全ての方を対象とした自己負担額の減額を行います。																															
③ 多胎児家庭支援事業（移動経費補助）	0 歳、1 歳、2 歳の誕生日を迎える多胎児を養育する家庭に対し、保健師等が面接を行い、予防接種や乳幼児健診に行く際の移動の負担を軽減するため、タクシーに利用できる券を配布します。																															
④ ファーストバースデーサポート事業	1 歳の誕生日を目安にアンケートを実施し、子育て支援等の情報提供を行います。また、アンケート回答後にお渡しする育児パッケージをこれまでの第一子 1 万円、第二子 2 万円、第三子以降 3 万円から一律 6 万円に増額します。さらに利便性の向上のため、これまでの紙チケットからデジタルギフトへ変更し交付します。																															
① 事業・業務委託料（出産・子育て応援ギフト）	240,000 千円																															
② 事業・業務委託料（産後ケア事業）	30,733 千円																															
③ 消耗品費（多胎児移動支援タクシーチケット）	2,376 千円																															
④ 消耗品費（ファーストバースデーサポート事業育児パッケージ）	167,750 千円																															
① 出産・子育て応援交付金（国 2/3）	160,000 千円																															
① とうきょうママパパ応援事業費補助金（都 1/3）	80,000 千円																															
② 母子保健衛生費補助金（国 1/2）	15,366 千円																															
②③④ とうきょうママパパ応援事業費補助金（都 10/10 など）	188,508 千円																															
問合せ先	保健所 保健予防課保健対策担当課長 川瀬			電話	725-5471																											

件名	子どもクラブ整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
167,800		9,225	33,225	108,000	0	17,350

【事業の背景・目的】

子どもの居場所の更なる充実を図るため、「新・町田市子どもマスタープラン」の「子どもクラブ整備方針」に基づき、子どもセンターの補完施設として子どもセンターから距離がある地域に、小型の児童館である子どもクラブの整備を進めています。

【事業の内容】

①（仮称）成瀬地区子どもクラブ整備

2023年度に完了した基本・実施設計に基づき、2024年度は整備工事に着手します。開館は2025年秋頃を予定しています。

施設概要	所在地	西成瀬 2-49-1	主要施設	遊戯室、集会室、乳幼児室
	延床面積	約 550 m <sup>2</sup>	構造	混構造(1階:RC造、2階:木造)
	利用対象	0歳から18歳の子ども及びその保護者	開館時間	10時から18時
			運営手法	指定管理者制度(予定)

②（仮称）金井・薬師地区子どもクラブ整備

計画段階における子どもの意見反映及び傾斜地活用の技術的な検討等のため、基本・実施設計に先立ち、2024年度に基本計画の策定を行います。

整備地：町田市金井 2-6-2(金井遊歩公園隣接地の公共公益用地、約 1,200 m<sup>2</sup>)

【スケジュール】

①（仮称）成瀬地区子どもクラブ整備

年度	2023			2024												2025												
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業内容	設計			契約手続き			建設工事												開館									
						議決※																	●					

※建築工事費が1億7,000万円を超える見込みのため

②（仮称）金井・薬師地区子どもクラブ整備

年度	2024			2025			2026			2027			2028																
事業内容	基本計画策定			基本・実施設計			造成・整備工事			造成・整備工事			開館																

【事業費】

- ①整備工事費 162,800 千円  
(2024～2025年度債務負担行為事業  
総事業費 419,430 千円)
- ②基本計画策定業務委託料 5,000 千円

【特定財源】

- ①次世代育成支援対策施設整備交付金(国) 9,225 千円
- ①子ども家庭支援包括補助事業費補助金(都 1/2) 24,000 千円
- ①児童館整備費補助金(都) 9,225 千円
- ①児童福祉施設整備事業債 108,000 千円

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 菊地	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件名	中学校給食センター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,006,072		0	70,000	1,590,000	101,322	244,750

【事業の背景・目的】

2021年1月の町田市学校給食問題協議会答申に基づき、成長期の中学生全員に出来るだけ早期に温かい給食を提供するため、「給食センター方式」による中学校の全員給食を導入します。

2022年3月に策定した「まちだの中学校給食センター計画」に基づき2025年度までに町田忠生小山エリア、南エリア及び鶴川エリアにそれぞれ給食センターを整備し、全員給食を実施します。

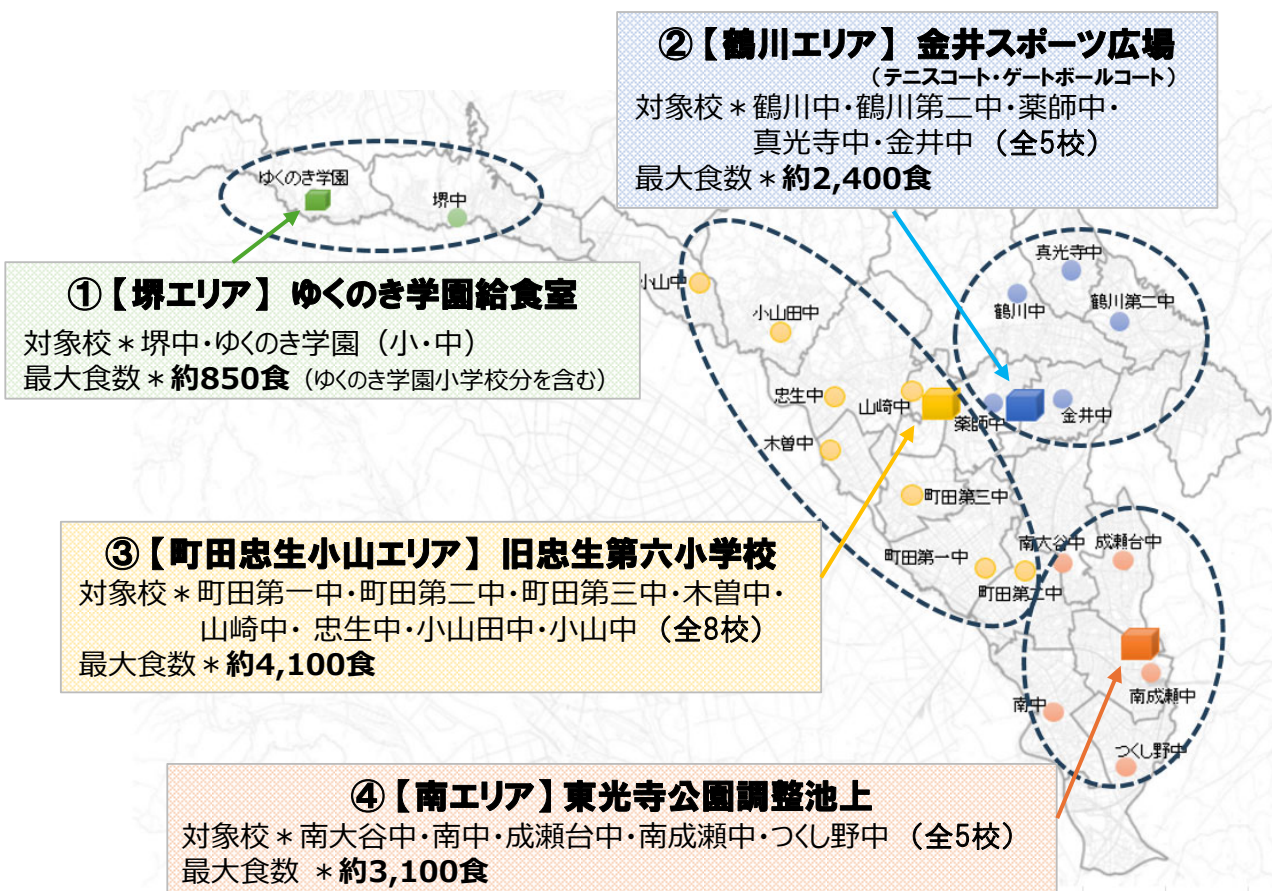
■まちだの中学校給食センターの目指す姿

中学生たちに美味しい給食を届けることはもちろんのこと、地域の幅広い世代が、食を通して健やかな暮らしを送ることに貢献できる、「食を通じた地域みんなの健康づくり拠点」となることを目指します。

めざす姿①：魅力的で美味しい給食を中学生たちに届けるセンター

めざす姿②：地域とつながりあい、新しい価値を生み出しつづけるセンター

■給食センターの配置と規模



**【事業の内容】**

3箇所の中学校給食センターの整備を、PFI手法及びリース方式にて進めます。2024年度は、PFI事業者及びリース事業者による施設整備を進め、堺エリア及び鶴川エリアでは全員給食を開始します。

- ①堺エリアは2024年9月から全員給食を開始します。
- ②鶴川エリアは2024年11月に工事を完了し、2025年1月に全員給食を開始します。
- ③町田忠生小山エリアは2025年1月に工事を完了し、4月の全員給食開始に向けて開業準備を行います。
- ④南エリアは2025年9月の全員給食開始に向けて建設工事を行います。
- ⑤各中学校での配送・配膳スペース確保に必要な改修工事を行います。

**【スケジュール】**

	2024年度	2025年度
① 堺	改修工事	2024年度2学期～全員給食開始
② 鶴川	建設工事	開業準備 2024年度3学期～全員給食開始
③ 町田忠生小山	建設工事	開業準備 2025年度1学期～全員給食開始
④ 南	建設工事	開業準備 2025年度2学期～全員給食開始
⑤ 各校	改修工事(7校)	

**【主な事業費】**

- ①堺エリア小・中学校給食運営等業務委託料 46,788 千円  
(2023～2026年度債務負担行為事業 総事業費 140,362 千円)
- ①厨房・調理機器購入費 22,534 千円
- ②鶴川エリア給食センター借上料 83,365 千円  
(2022～2035年度債務負担行為事業 総事業費 1,816,650 千円)  
(2023～2035年度債務負担行為事業 総事業費 6,221 千円)  
(2024～2035年度債務負担行為事業 総事業費 11,136 千円)
- ②鶴川エリア中学校給食センター運営等業務委託料 32,056 千円  
(2023～2026年度債務負担行為事業 総事業費 288,496 千円)
- ③④町田忠生小山エリア給食センター公有財産購入費 1,682,453 千円  
(2022～2039年度債務負担行為事業 総事業費 12,137,465 千円)※総事業費には南エリアの事業費を含む
- ⑤中学校配膳室等改修工事費 29,724 千円  
(町田第三中、南成瀬中、山崎中、小山田中、つくし野中、南中、堺中)

**【主な特定財源】**

- ③学校施設整備事業債 1,568,000 千円
- ③公共施設整備基金繰入金 100,000 千円
- ⑤学校施設整備事業債 22,000 千円

問合せ先	学校教育部 保健給食課長 押切	電話	724-2177
------	-----------------	----	----------

件名	新たな学校づくり推進事業（統合新設・建替え） ～ともに学び、ともに育つ学び舎づくり～					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
611,451		0	0	251,000	100,000	260,451

【事業の背景・目的】

少子化と学校施設の老朽化という問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境を整備するため、2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画（以下、推進計画）」に基づき、学校統合を契機に、新たな教育環境を整備するとともに、教員が教育活動に専念できる環境づくりを進めております。



【事業の内容】

本町田地区は、2025年4月に現・本町田小学校の位置で本町田ひなた小学校を開校します。2024年度は、現・本町田東小学校の児童を受け入れるため、既存校舎の教室転用工事や備品の移設など、開校に向けた準備を進めます。

南成瀬地区は、2025年4月に現・南成瀬小学校の位置で成瀬小学校を開校します。2024年度は、現・南第二小学校の児童を受け入れるため、リースによる教室増築工事や教室転用工事、備品の移設など、開校に向けた準備を進めます。

鶴川東地区は、2023年度に引き続き新校舎の設計を進めるとともに、既存擁壁の改修に向けた設計に着手します。

鶴川西地区は、2024年に新校舎の基本設計を行います。

合わせて、児童・生徒数の将来推計や施設整備費の高騰など、「新たな学校づくり推進計画」及び「学校施設個別施設計画（学校整備計画編）」策定以降に起きた環境変化を踏まえ、学校統合や通学区域変更の時期等について点検します。

No.	地区（統合校名称案）	対象校	統合年度	校舎建設地	整備方式	会議体(2024年度)
1	本町田 (本町田ひなた小)	本町田東小 本町田小 町田第三小	2025 2028	2025-2027 本町田小（仮校舎） 2028- 本町田東小（新校舎）	PFI方式	新たな学校づくり 基本計画 推進協議会
2	南成瀬 (成瀬小)	南第二小 南成瀬小	2025	2025-2027 南成瀬小（仮校舎） 2028- 南第二小（新校舎）	PFI方式	
3	鶴川東 (鶴川東小)	鶴川第二小 鶴川第三小（一部）	2029	2029-2032 鶴川第三小（仮校舎） 2033- 鶴川第二小（新校舎）	従来方式	
4	鶴川西 (鶴川中央小)	鶴川第四小 鶴川第三小（一部）	2026	2026-2028 鶴川第三小（仮校舎） 2029- 鶴川第四小（新校舎）	従来方式	
5	南第一小	南第一小	-	2027-2029 南中（仮校舎） 2030- 南第一小（新校舎）	PFI方式 (予定)	

＜新たな学校施設＞

学校の施設整備コンセプトに基づき、新校舎を整備していきます。オープンスペースやラーニングセンターを備えることにより協働的な学習や学年交流などを行いやすくするなど、より様々な活動がしやすくなるようにします。また、放課後や土日に、地域の方も学校施設を利用して活動できるよう、セキュリティの確保等を行います。

## ☆5地区の学校の施設整備コンセプト

教育環境・生活環境づくり	放課後活動の拠点づくり	市民生活の拠点づくり
安全安心な施設づくり	環境負荷低減に寄与する施設づくり	地域性を活かした学校づくり

### <イメージ1>教室からつながるオープンスペース

＼ゆとりがあるスペースで行うグループワーク／



＼大きな部屋を確保しなくても行える学年集会／

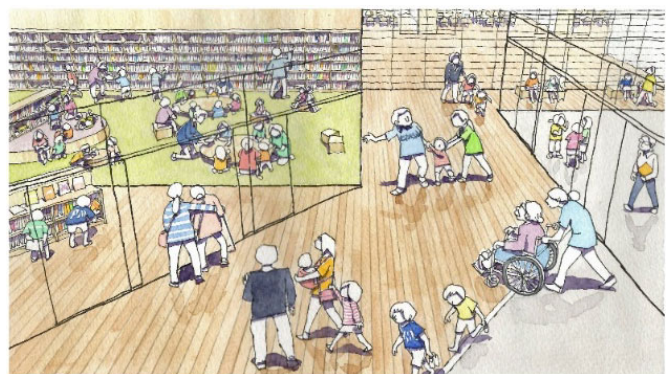


### <イメージ2>地域の方も使える開放スペース

＼地域の方が集まれるコミュニティスペース／



＼みんなで読書や勉強ができるラーニングセンター／



## ☆PFI方式で整備する本町田地区・南成瀬地区からみる新たな学校の概要

PFI方式とは公共施設の整備方法のひとつで、市が求める水準を示したうえで、設計、建設、維持管理、運営を一括で長期契約します。

新たな教育環境を整備するとともに、必ずしも教員が担う必要のない業務(建物の修繕や設備の点検などの維持管理や、地域の方が学校施設を利用する際の日程や場所の調整など)をPFI事業者に委託することで、教員が教育活動に専念できる環境づくりを行うなど、子どもの学校生活をより豊かなものにしていきます。

◇学校施設は大きくなります(目安)

本町田地区	建物の大きさ(延床)	本町田東小学校 約 7,000 m <sup>2</sup>	⇒	本町田ひなた小学校 約 11,800 m <sup>2</sup>
	普通教室	60 m <sup>2</sup>		110.5 m <sup>2</sup> (オープンスペース含む)
南成瀬地区	建物の大きさ(延床)	南第二小学校 約 7,300 m <sup>2</sup>	⇒	成瀬小学校 約 10,600 m <sup>2</sup>
	普通教室	64 m <sup>2</sup>		110.5 m <sup>2</sup> (オープンスペース含む)

①本町田地区・南成瀬地区の統合新設小学校の新校舎及び仮校舎整備

**新校舎** 2024年1月に新校舎のPFI事業者公募を開始しており、6月に優先交渉権者を決定し、9月に契約を締結します。契約後は、新校舎の設計を行います。

**仮校舎** 2025年4月の仮校舎での統合に向けて、既存校舎の教室転用工事(南成瀬地区は増築の仮校舎も整備)、物品の配置換えや廃棄、ネットワーク設備や給食調理機器等の移設を行います。

②鶴川東地区・鶴川西地区の統合新設小学校の新校舎及び仮校舎整備

**新校舎** 鶴川東地区・鶴川西地区の統合新設校の設計を行います。鶴川東地区では、既存擁壁の改修に向けた設計を行います。

**仮校舎** 鶴川西地区では、2026年4月の仮校舎での統合に向けて、既存校舎の教室転用工事の設計を行います。

③南第一小学校建替えに伴う仮校舎整備

南中学校の敷地内に小学校用の運動場等を整備するとともに、仮校舎の整備に着手します。

④本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一小地区の新たな学校づくりの推進

引き続き、それぞれの地区の新たな学校づくり基本計画推進協議会において、基本計画の各取り組みの進捗状況を確認するほか、歴史の継承や通学路の安全対策などを検討・実施します。

⑤「新たな学校づくり推進計画」及び「学校施設個別施設計画(学校整備計画編)」の点検

「新たな学校づくり推進計画」及び「学校施設個別施設計画(学校整備計画編)」策定以降の環境変化(児童・生徒数の将来推移、施設整備費の高騰、労働時間の規制強化による工期の延長、環境負荷軽減及び木材利用の促進等)を踏まえ、統合時期や通学区域変更時期を変更する必要があるか点検します。

⑥広報活動の実施

未就学児・在校生の保護者、町内会・自治会等に、新たな学校づくりの事業の周知や、学校統合や新校舎使用開始に向けた検討状況をお知らせするため、「まちだの教育 学校統合特別号」の作成やパンフレットの配布など広報活動を行います。

【スケジュール】

No.	事業内容/年月	2024.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025.1	2	3	
①②	本町田・南成瀬地区の新校舎及び仮校舎整備	PFI事業者選定		優先交渉権者決定	基本協定締結		PFI事業者契約締結	新校舎設計		仮校舎教室整備工事				引越し
③	鶴川東地区の新校舎整備	新校舎設計												
	鶴川西地区の新校舎整備	既存擁壁改修設計			新校舎設計									
③	南第一小学校建替えに伴う仮校舎整備	南中仮校舎設計												
		南中学校既存不適合対応工事設計												
④	①～③の新たな学校づくりの推進	推進協議会開催			推進協議会開催			推進協議会開催			推進協議会開催			
		南中敷地内小学校用運動場等整備工事												
⑤	推進計画及び個別施設計画の点検	推進計画の点検												
		建替えに必要な調査												
⑥	広報活動の実施										「まちだの教育 特別号」発行・配布			



【主な事業費】

①本町田小学校・南成瀬小学校仮校舎教室整備工事費	203,709 千円
①大型提示装置・ネットワーク・給備品移設委託料	33,110 千円
①PFI アドバイザリー業務委託料(事業者選定)	24,915 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 41,525 千円)	
①PFI アドバイザリー業務委託料(解体・設計・建設業務モニタリング等)	10,604 千円
①本町田小学校学童保育クラブ整備工事費	5,500 千円
①南成瀬小学校仮校舎賃貸借建物借上料	3,332 千円
(2024～2028 年度債務負担行為事業 総事業費 132,110 千円)	
①本町田地区・南成瀬地区統合新設小学校整備等 PFI 事業	0 千円
(2024～2042 年度債務負担行為事業 総事業費 24,831,284 千円)	
①学校物品移転・廃棄委託料	0 千円
(2024～2025 年度債務負担行為事業 総事業費 62,180 千円)	
②鶴川西地区統合新設小学校基本・実施設計業務委託料	107,322 千円
(2024～2025 年度債務負担行為事業 総事業費 357,742 千円)	
②鶴川東地区統合新設小学校擁壁改修工事実施設計業務委託料	3,300 千円
(2024～2025 年度債務負担行為事業 総事業費 11,000 千円)	
②鶴川東地区統合新設小学校基本・実施設計業務委託料	0 千円
(2023～2025 年度債務負担行為事業 総事業費 338,162 千円)	
③南第一小学校建替に伴う小学校用運動場等整備工事費	21,032 千円
(2024～2025 年度債務負担行為事業 総事業費 52,580 千円)	
③仮校舎賃貸借建物借上料	0 千円
(2024～2031 年度債務負担行為事業 総事業費 3,630,000 千円)	
④道路等修繕料・街路灯新設工事(通学路の安全対策)	5,000 千円
④新たな学校づくり基本計画推進協議会・検討会・意見交換会等 議事録作成委託料	3,485 千円
⑤「新たな学校づくり推進計画」及び「学校施設個別施設計画(学校整備計画編)」の 点検業務委託料	72,171 千円
⑥「まちだの教育 学校統合特別号」の作成・配布等に関する業務委託料	11,500 千円

【主な特定財源】

①②③学校施設整備事業債	251,000 千円
--------------	------------

問合せ先	学校教育部 新たな学校づくり推進課長 小宮	電話	785-5471
	学校教育部 教育総務課長 高田		724-2172
	学校教育部 施設課長 平川		724-2174
	学校教育部 学務課長 高野		724-2176
	学校教育部 保健給食課長 押切		724-2177
	学校教育部 指導課長 大山		724-2154
	子ども生活部 児童青少年課長 菊地		724-4097
	道路部 道路維持課長 林田		724-1121

件名	中学校エレベーター設置事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
612,201		97,222	47,457	348,000	100,000	19,522

【事業の背景・目的】

「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の一部改正に伴い、既存学校施設を含めたバリアフリー化の取り組みが求められており、円滑な移動等に配慮が必要な生徒等への対応として、中学校にエレベーターを整備します。設置するエレベーターについては、中学校全員給食の配膳にも利用します。

【事業の内容】

町田第二中学校ほか3校でエレベーター設置工事を完了します。南中学校では、契約不調により2023年度に工事に着手できなかったため、2024年度に事業を繰越して実施します。また、成瀬台中学校ほか2校でエレベーター設置工事に着手します。

【スケジュール】

対象校	2024年度											2025年度						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	～	3月	4月	～	11月	12月			
① 町田第二中学校 南大谷中学校 鶴川第二中学校 真光寺中学校																		
	工事																	
② 南中学校																		
	契約手続																	
③ 成瀬台中学校 木曾中学校 小山田中学校																		

【事業費】

- ①②③エレベーター設置工事費 593,104 千円
- ①工事監理委託料 19,097 千円
- ①(2023～2024年度債務負担行為事業 総事業費 610,172 千円)
- ②(2024～2025年度債務負担行為事業 総事業費 99,450 千円)
- ③(2024～2025年度債務負担行為事業 総事業費 616,638 千円)

【特定財源】

- ①②③学校施設環境改善交付金(国 1/2) 97,222 千円
- ①②③新しい時代の学校施設整備補助事業補助金(都 1/4) 47,457 千円
- ①②③学校施設整備事業債 348,000 千円
- ①②③公共施設整備基金繰入金 100,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 平川	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

件名		民間保育所保育体制強化事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
382,619			191,309	95,654	0	0
<p><b>【事業の背景・目的】</b>  国は、2023年12月に「こども未来戦略」において、保育の質を向上させるため、保育士1人が受け持つ子どもの数を定めた「配置基準」の見直しを、今後3年間の集中的な取組の一つとして決めました。これにより、4・5歳児の「配置基準」を30対1から25対1に改善を図った場合に、2024年度から施設への給付費に対する加算措置が設けられることになりました。</p> <p>市では、当該制度を活用し、配置基準を改善した民間保育所に対して、新たに給付費への加算を行うことで、更なる保育の質の向上を推進します。</p>						
<p><b>【事業の内容】</b>  4・5歳児を受け持つ保育士の配置を30対1から25対1に改善した民間保育所に対して、給付費の加算を行います。</p>						
<b>【事業費】</b>		<b>【特定財源】</b>				
児童保育委託料		382,619千円	子どものための教育・保育給付交付金(国1/2)		191,309千円	
			子どものための教育・保育給付費都費負担金(都1/4)		95,654千円	
問合せ先	子ども生活部 保育・幼稚園課長 三浦			電話	724-2138	

件名		未就園児預かり推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,586			0	12,586	0	0
<p><b>【事業の背景・目的】</b>  東京都は、2023年4月に、保護者の就労等の有無にかかわらず、幼稚園等を利用していない0歳児から2歳児の未就園児を定期的に預かり、多様な他者との関わりの中での様々な体験や経験を通じて、非認知能力の向上等、子どもの健やかな成長を図ることを目的として、多様な他者との関わりの機会の創出事業を実施することを決定しました。市では、東京都の事業を活用し、在宅子育て家庭の孤立防止や育児不安軽減等、子育て支援の充実を図ることを目的に、幼稚園等においてモデル事業を実施します。</p>						
<p><b>【事業の内容】</b>  事業を実施する幼稚園等に対して、運営費等の経費を補助します。</p>						
<p><b>【事業費】</b>  多様な他者との関わりの機会の創出事業補助金 12,586千円</p>						
<p><b>【特定財源】</b>  多様な他者との関わりの機会の創出事業費補助金(都10/10) 12,586千円</p>						
問合せ先	子ども生活部 保育・幼稚園課長 三浦			電話	724-2138	
	子育て推進課長 香月				724-4467	



件名	学校給食における物価高騰対策及び多子世帯給食費無償化事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,280,114		323,402	195,272	0	740,565	20,875

**【事業の背景・目的】**

学校給食で用いられる食材費については、保護者に負担をしていただいております。現下の物価高騰の影響によって、食材価格が上昇を続けている中であっても、児童・生徒に求められる栄養バランスや量を十分に満たし、食育の一環である給食を充実するために必要な食材費及び保護者負担の適正な金額に関して、町田市学校給食問題協議会に諮問し、2024年2月に答申を受けました。この答申に基づき2024年度に学校給食費を改定します。

この学校給食費の増額分に対して、2024年度においては、すべての保護者の追加負担とならないように負担軽減を図ります。併せて2024年4月から、多子世帯の経済的負担を軽減するため、町田市立小中学校に通う第2子以降の児童・生徒の学校給食費を無償化し、子育て環境の充実を図ります。

**【事業の内容】**

①学校給食における物価高騰対策事業

- ・実施期間：2024年4月1日から2025年3月31日まで
- ・対象者等：町田市立小中学校に通う児童・生徒（約3万人）のうち、給食の提供を受ける児童・生徒の保護者等
- ・実施内容：2024年度から、学校給食費を下表のとおり改定します。改定に伴う学校給食費の増額分に対して、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、保護者に負担を求めず、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を実施します。

1食当たりの給食単価	現行額 (2023年度)	改定額	差	地方創生 臨時交付金	保護者負担額 (2024年度)
小学校低学年	230円	245円	+15円	15円	230円
小学校中学年	245円	275円	+30円	30円	245円
小学校高学年	265円	300円	+35円	35円	265円
中学生	310円	330円	+20円	20円	310円

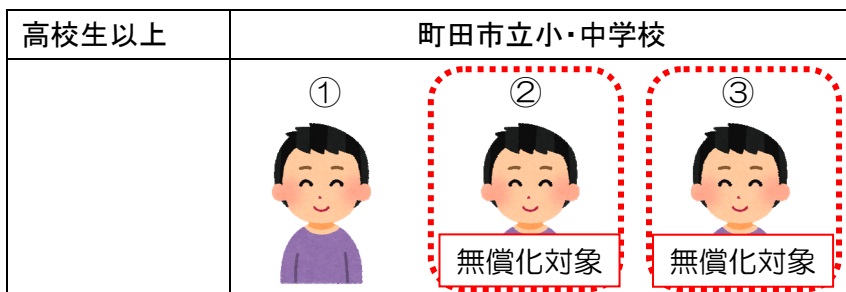
②多子世帯学校給食費無償化事業

- ・実施期間：2024年4月1日から2025年3月31日まで
- ・対象者等：町田市立小中学校に通う第2子以降の児童・生徒（約9千人）のうち、給食の提供を受ける児童・生徒の保護者等
- ・実施内容：子育て支援策の一環として多子世帯の保護者負担を軽減するため、町田市立小中学校に通う第2子以降の児童・生徒の学校給食費を、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び東京都の補助金を活用し、2024年度において無償化します。

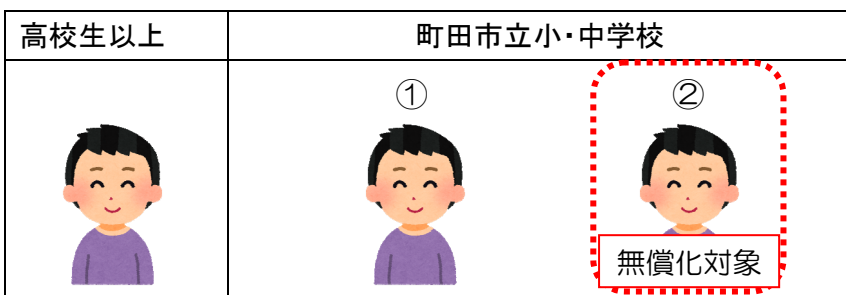
【多子世帯無償化イメージ】

同一世帯で町田市立小中学校に在籍する児童・生徒のうち、年長の児童・生徒から数えて 2 番目以降が無償化の対象です。

パターン1: 町田市立小・中学校に 3 人在籍している場合



パターン2: 町田市立小・中学校に 2 人在籍している場合



【事業費】

賄材料費(小・中学校全員給食実施校)	1,268,445 千円
うち ①物価高騰対策分	124,108 千円
②多子世帯学校給食費無償化	382,898 千円
調理・配送業務委託料(選択制ランチボックス給食実施校)	11,669 千円
うち ①物価高騰対策分	4,020 千円
②多子世帯学校給食費無償化	7,649 千円

【特定財源】

①②物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(国)	323,402 千円
②東京都学校給食費保護者負担軽減事業補助金(都 1/2)	195,272 千円
①学校給食費売払収入	740,565 千円

問合せ先	学校教育部 保健給食課長 押切	電話	724-2177
------	-----------------	----	----------

件名	児童手当支給事業・児童扶養手当支給事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,198,226		5,530,598	853,034	0	0	1,814,594

【事業の背景・目的】

国は「こども未来戦略(2023年12月22日閣議決定)」に基づき、次代を担う全ての子どもの育ちを支える基礎的な経済支援として児童手当制度の抜本的拡充(所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間の延長等)を決定しました。また、ひとり親の自立促進・経済支援として児童扶養手当制度の拡充(多子加算の見直し等)も決定しました。

これを受け、子育て世帯を経済的に支援するため、町田市においても「児童手当支給事業」及び「児童扶養手当支給事業」を拡充します。

【事業の内容】

①児童手当制度の拡充

2024年10月分からの児童手当において、所得制限を撤廃し、高校生年代まで支給期間を延長するほか、第3子以降の手当額を一律3万円とします。また、手当の支払月を年3回から年6回とし、2024年12月に拡充後の初回分の手当を支給します。

②児童扶養手当制度の拡充

2024年11月分(2025年1月支給)からの児童扶養手当において、所得限度額の引き上げ及び子どもが3人以上の多子世帯について加算額を増額します。

【スケジュール(見込)】

年度 月	2024											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①児童手当 支給事業				申請 勧奨 送付	申請 受付		資格 審査		初回 支給		支給	
②児童扶養手当 支給事業					申請 勧奨 送付	申請 受付		資格 審査		初回 支給		支給

【主な事業費】

①児童手当	6,754,460 千円
②児童扶養手当	1,441,408 千円

【特定財源】

①児童手当費(国 7/9 など)	5,048,392 千円
①子ども・子育て支援事業費(国 10/10)	1,738 千円
①児童手当費(都 1/9 など)	853,034 千円
②児童扶養手当費(国 1/3)	480,468 千円

問合せ先	子ども生活部 子ども総務課長 大坪	電話	724-2139
------	-------------------	----	----------

件名	多摩都市モノレールまちづくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
69,788		0	0	0	1,703	68,085

【事業の背景・目的】

多摩都市モノレール町田方面延伸の事業化に向けて、東京都や多摩都市モノレール株式会社との調整を進めるとともに、モノレール延伸の効果を最大限発揮するためのモノレール沿線まちづくりを進めていきます。また、「町田市都市づくりのマスタープラン」で掲げる暮らしとまちのビジョン実現に向けて、モノレール沿線の木曾山崎団地地区、忠生・北部エリアのまちづくりを具体化していきます。

【事業の内容】

- ①2024年3月に策定する「モノレール沿線まちづくり構想」に基づき、沿線地域のまちづくりの事業化に向けた検討を進めます。
- ②モノレール沿線の木曾山崎団地地区では、「住宅地を多機能化する」ことを目指して、2013年7月に策定した「町田市木曾山崎団地地区まちづくり構想」を、モノレール延伸を視野に入れたまちづくり構想に改定します。そのため、地区の住民や事業者から意見を聴くワークショップなどを開催します。
- ③モノレール沿線の忠生・北部エリアでは、「みどりと暮らしの関係をつくる」ことを目指して、公園、緑地、農地、里山などのみどり空間を活用するための官民連携組織の運営支援と持続化の検討を進めます。
- ④モノレール新駅周辺の基盤整備等に向けて、基金を計画的に積立てます。

【スケジュール】

2024年度	2025年度	2026年度
【モノレール沿線まちづくり】		
①モノレール沿線まちづくり構想に基づく事業化の検討		
【木曾山崎団地地区】		
②構想改定		事業化検討
【忠生・北部エリア】		
③官民連携組織の運営支援		事業化検討
【多摩都市モノレール基金】		
④基金積立		

【主な事業費】

- ①モノレール沿線まちづくり 9,000 千円  
事業化検討委託料
- ②木曾山崎団地地区まちづくり 4,000 千円  
構想案検討支援業務委託料
- ③みどり活用官民連携組織 5,055 千円  
運営支援等業務委託料
- ④多摩都市モノレール基金 51,703 千円  
積立金

【特定財源】

- ④多摩都市モノレール基金 1,703 千円  
積立金利子



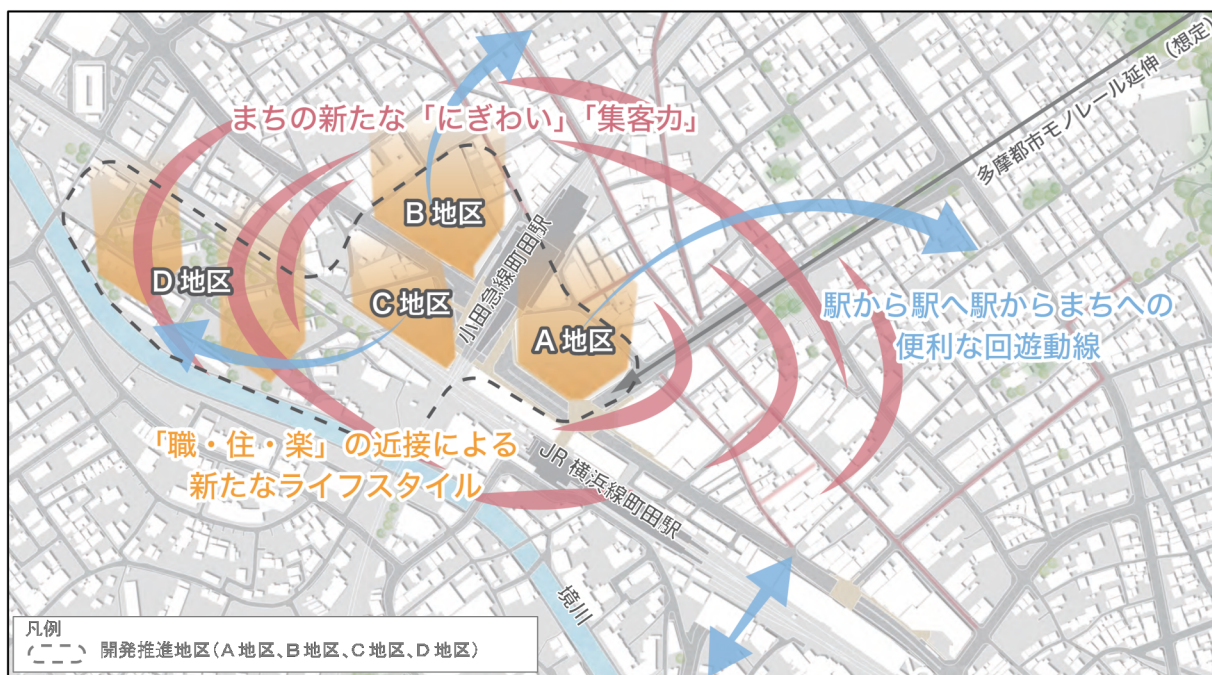
問合せ先	都市づくり部	都市政策課モノレールまちづくり推進室長	柘植野	電話	724-4077
	都市づくり部	公園緑地課長	新		724-4397

件名	中心市街地開発推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
103,827		0	0	0	440	103,387

【事業の背景・目的】

「商都まちだ」と呼ばれ、商業の賑わいで多くの人を惹きつけてきた町田駅周辺は、駅周辺施設の老朽化とそれに伴うまちづくりの機運の高まり、そして多摩都市モノレール町田方面延伸という大きな環境変化が目前に迫り、今、大規模なりニューアルの時期を迎えています。

これからも多くの人々に“町田に行こう、町田で集まろう”と思ってもらえるようなまちであり続けるために、これまで培ってきた町田らしい商業の賑わいに“誰かと一緒に楽しむ・体験する”といった新しい賑わいを加えることで、これからも賑わいと交流が生まれ続けるまちづくりを目指していきます。



開発によってまちにもたらす効果のイメージ図

<まちの新たな「にぎわい」「集客力」>

「商都まちだ」として栄えてきた町田駅周辺の中心には常に商業の「にぎわい」があります。町田駅周辺開発においては、観る、聴く、触れるといった五感を直接刺激する体験や、それを誰かと一緒に楽しみ共有する「エンターテインメント」による新たな賑わいを創出することで、まちの集客力を高め、まち全体に多くの人を呼び込みます。

<駅から駅へ 駅からまちへ の便利な回遊導線>

多摩都市モノレールという新たな都市骨格軸の整備により、町田駅周辺の人の流れが大きく変わります。これを契機と捉え、分散したバス乗降場の集約や駅を利用する人々の更なる利便性の向上を図るとともに、思わずまちなかに出歩きたくなる回遊導線を創出します。

<「職・住・楽」の近接による新たなライフスタイル>

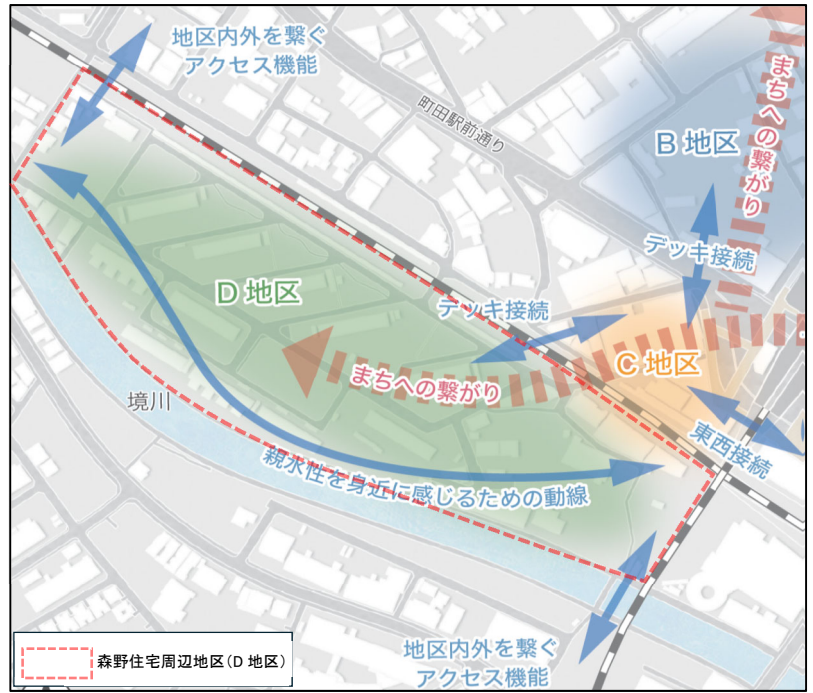
コロナ禍を経て変化が加速した新しい働き方や、多様なライフスタイルに対応しながらも、訪れた人の時間や体験が特別なものになるよう、暮らしやすさや町田ならではのエンターテインメント、まちなかを楽しむ要素が近接した「職・住・楽」が一体となったまちを目指します。



**【事業の内容】**

町田駅周辺再整備のリーディングエリアとなる森野住宅周辺地区(D地区)のまちづくり検討を進め、方向性を示し、そのほかの駅周辺エリア(A地区、B地区、C地区)の開発に向けた気運を高めていきます。

- ①森野住宅周辺地区において、町田駅周辺における集客装置として「誰かと一緒に楽しむ・体験する」といった新たなにぎわいの機能検討を行うとともに、必要な地区内の現況測量や交通基盤等の調査・検討を進めます。
- ②民間再開発の動きに合わせて、交通ターミナルの集約化に向けた地権者勉強会の開催や事業性の検証等を行います。



- ③駅前再開発に合わせたペDESTリアンデッキの全面的な再整備に向けて、ペDESTリアンデッキにおける人流の調査を行うとともに、駅前再開発を踏まえた快適な乗換動線の確保やまちなかとの回遊性の向上、居心地の良い駅前空間づくりなどの実現に向けたペDESTリアンデッキの概略設計を行います。

**【スケジュール】**

	2024 年度	2025 年度	2026 年度
森野住宅周辺地区 (D 地区)	①・森野住宅周辺地区まちづくり検討 ・現況測量 ・道路概略設計 ・横浜線アンダーパス検証	関係事業者等との協議・調整	
町田駅周辺地区再開発 (A、B、C 地区)	町田駅周辺整備計画策定 6月策定	関係事業者等との協議・調整	
	②町田駅周辺まちづくり検討		
ペDESTリアンデッキ再整備	③流動調査・概略設計	予備設計	

**【主な事業費】**

①森野住宅周辺地区まちづくり検討委託料	10,000 千円
①森野住宅周辺地区現況測量委託料	14,934 千円
①森野住宅周辺地区道路概略設計委託料	11,515 千円
①JR 横浜線アンダーパス検証委託料	15,372 千円
②町田駅周辺まちづくり検討委託料	10,000 千円
③ペDESTリアンデッキ流動調査及び概略設計委託料	38,786 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課中心市街地開発推進室長 戸田	電話	851-7576
------	------------------------------	----	----------

件名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
87,576		12,500	17,483	51,000	0	6,593

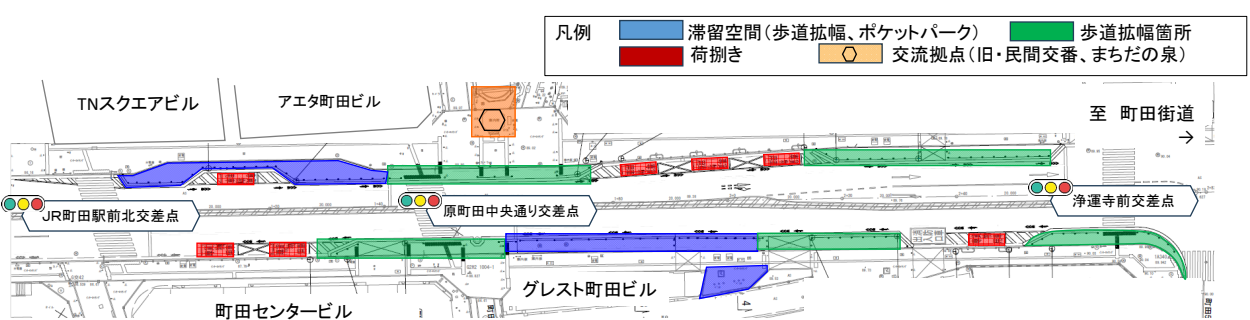
【事業の背景・目的】

市では、中心市街地が賑わいや交流にあふれ、何度でも訪れたい魅力的なエリアになることを目指し、2016年に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」を推進しています。このうち、「原町田大通り憩いと賑わいの空間を創造するプロジェクト」において、滞留空間と新たな交流拠点の整備により、都市再生推進法人と共に、憩いの空間、賑わいの空間として活用を行うことで、駅周辺や商店街の賑わい向上につなげます。

【事業の内容】

原町田大通り滞留空間等整備工事（JR 町田駅前北交差点から浄運寺交差点の区間）を進め、歩道の拡幅及び滞留空間、荷捌きスペースを2024年度中に整備します。

また、来街者の楽しみや滞在時間を延ばし、新たな交流を生み出す拠点を整備するため、市が旧民間交番及びまちだの泉を取り壊し、その跡地に、都市再生推進法人である（株）町田まちづくり公社が、案内機能、食事購買機能を備えた新たな交流拠点を建築します。まちだの泉跡地は、緑に囲まれた落ち着いた休憩スペースとして整備します。



【スケジュール】

実施主体	項目	2024年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	原町田大通り滞留空間等整備工事	歩道拡幅工事、滞留空間整備										●	滞留空間オープン
	旧民間交番、まちだの泉解体・撤去工事	契約準備等	解体・撤去										
都市再生推進法人	新たな交流拠点整備工事	各種申請手続き		建築工事						準備	●	新たな交流拠点オープン	

【主な事業費】

整備工事費（原町田大通り滞留空間等整備工事） 72,400 千円

（2023～2024年度債務負担行為事業 総事業費 120,700 千円）

解体工事費（旧民間交番・まちだの泉撤去工事） 8,589 千円

原町田大通り滞留空間利活用推進事業負担金 3,000 千円

【主な特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/2） 12,500 千円

原町田大通り滞留空間等整備事業債 51,000 千円

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 村上	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------

件名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,000		0	0	0	0	10,000

【事業の背景・目的】

小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸については、2016年4月に国土交通省の交通政策審議会の答申において、『東京圏の都市鉄道が目指すべき姿』を実現する上で意義のあるプロジェクト』とされました。本事業が実現すると、首都圏南西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

町田市及び相模原市をはじめとする関係者で構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」においては、現在、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向けた検討を行っています。

【事業の内容】

2023年度に引き続き、延伸の早期実現を目指して、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向け、関係機関との調整・協議を進めるとともに、相模原市と共同でハード面の調査検討や需要予測の試算等に必要の調査検討を実施します。

【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金 10,000千円



問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 北川	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件名	相原駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
774,326		0	323,008	360,000	16,220	75,098

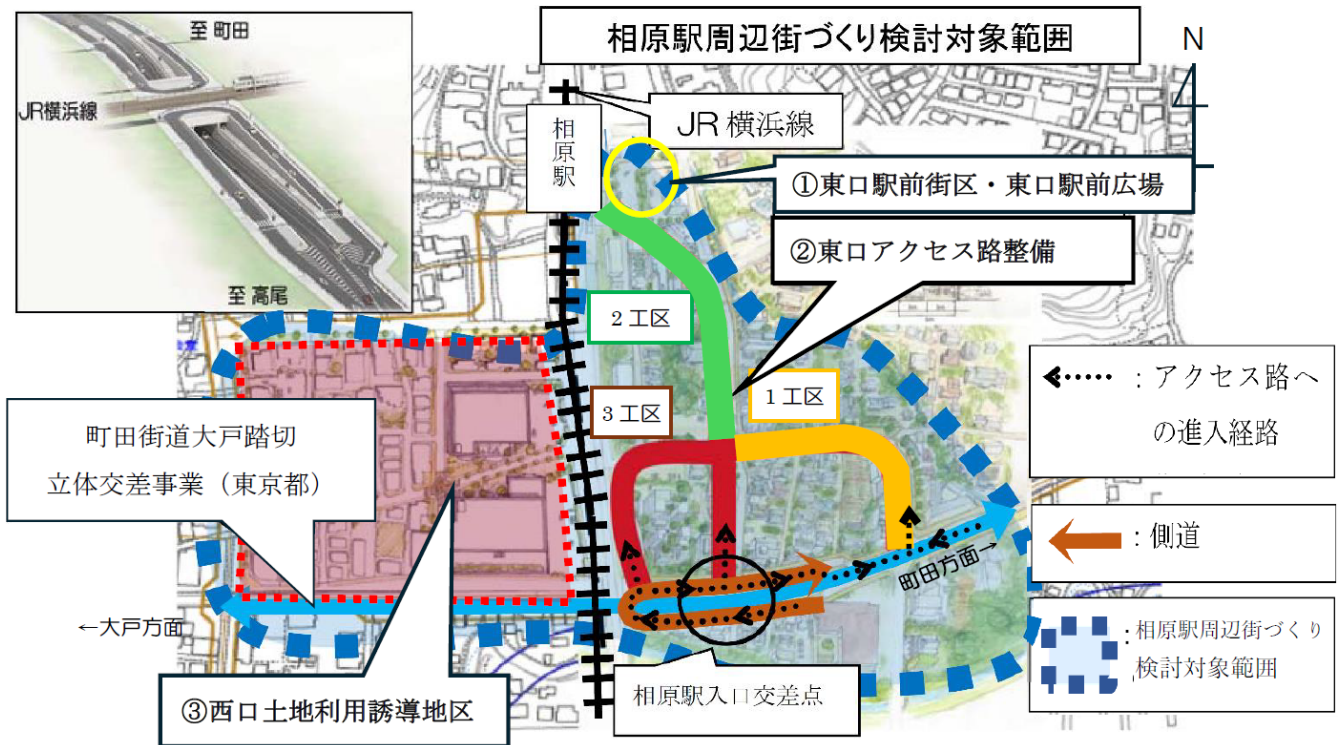
【事業の背景・目的】

相原駅周辺地区は、町田街道の大戸踏切の立体交差事業（東京都）が進められており、これと合わせて地域の日常生活を支える拠点を目指して、駅の東口地区と西口地区でまちづくりを進めています。

東口地区では、2020年に策定した「町田市相原駅東口まちづくり構想」に基づき、町田街道から東口の駅前交通広場へ至るアクセス路の整備に併せて、にぎわいあるまちづくりを推進します。

西口地区では、2014年に策定した「町田市相原駅西口まちづくり構想」に基づき、町田街道や駅前交通広場に至る都市計画道路に囲まれた地区（以下、「土地利用誘導地区」という。）において、相原らしい活気ある市街地づくりを推進します。

【周辺図】



【事業の内容】

- ①東口駅前街区の再編整備に向けて、検討を進めます。また、東口駅前交通広場の詳細設計を行います。
- ②町田街道から東口へ至る新たなアクセス路の整備（整備工事、用地取得等）を進めます。
- ③西口土地利用誘導地区の地権者や関係者に対し、土地利用に関する勉強会等を開催し、地区の将来イメージや土地利用の方向性等の検討を進めます。

【スケジュール】

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度以降
①東口駅前街区 駅前交通広場	整備検討	駅周辺街区再編整備(民間工事)			
	詳細設計	整備工事			
②東口アクセス路	整備工事(1工区)	整備工事(2工区)			整備工事(3工区)
	用地取得(2・3工区)				
③西口土地利用誘 導地区	勉強会等・土地利用検討	事業手法の検討	事業計画案の作成	都市計画変更・事業計画決定	事業計画決定・事業認可取得
※参考 大戸踏切立体交差 事業(東京都)	仮切り直し道路工事	本体整備工事			

【主な事業費】

①東口駅前交通広場詳細設計委託料	10,700 千円
①③街づくり支援委託料	4,500 千円
②アクセス路物件等補償費	481,698 千円
②電線共同溝及び道路改良工事費	126,500 千円
②アクセス路用地購入費	123,943 千円
②アクセス路管理工事費	11,800 千円
②アクセス路調査等委託料	11,000 千円
②不動産鑑定・評価委託料	2,000 千円
②アクセス路設計委託料	1,100 千円

【主な特定財源】

②道路橋梁費補助金(都 1/2)	323,008 千円
②道路整備事業債	360,000 千円
②公共施設整備基金繰入金	16,000 千円
②道路橋梁費負担金	220 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4214
	道路部 道路整備課長 市川		724-1122

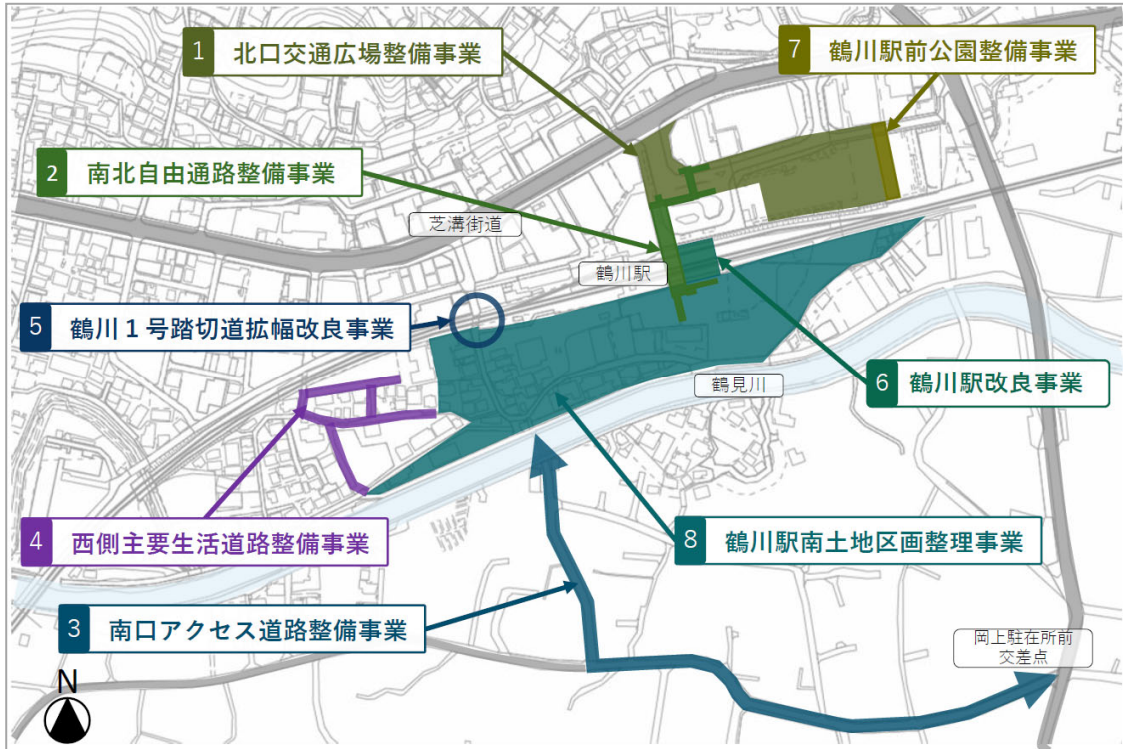
件名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
一般会計：2,321,812		331,331	407,165	956,000	130,000	497,316
特別会計：685,447		62,400	36,700	293,000	0	293,347

### 【事業の背景・目的】

鶴川駅周辺は、鶴見川、香山緑地等の水とみどりに囲まれ、川崎市、横浜市などの市外も含めた一帯の拠点として、町田市文化、交流の核となる「東の玄関口」です。駅北口は、1960年代から行われてきた土地区画整理事業により駅前交通広場や道路等が整備され、沿道に中高層建築物が建ち並ぶ市街地が形成されました。

しかし、現在の北口交通広場は、周辺の市街化や人口増加により、交通需要に対応できていません。また、南口は道路、下水道等が未整備であり、駅前としての適切な土地利用が図られておりません。

そのため、2016年度に「鶴川駅周辺再整備基本方針」を策定し、官民連携による駅周辺の再整備を進めています。人口減少期を見据えた既成市街地の更新の取り組みとして、民間活力の導入促進と都市基盤整備を計画的に行い、「にぎわいとみどりの都市拠点」にふさわしい活力と魅力にあふれた街づくりを行います。



2024年度各事業位置図

○一般会計

### 【事業の内容】

- ① 北口交通広場整備事業(2024年2月仮使用開始)は、新広場の植栽整備、現広場の撤去工事を行います。
- ② 南北自由通路整備事業は、駅北口のデッキ築造工事を行うほか、自由通路の整備工事を行います。
- ③ 南口アクセス道路整備事業は、用地取得を開始し、整備工事を行います。
- ④ 西側主要生活道路整備事業は、道路の予備設計等を行います。
- ⑤ 鶴川1号踏切道拡幅改良事業は、2023年度に引き続き小田急電鉄(株)に委託し整備工事を行います。
- ⑥ 鶴川駅改良事業は、整備主体である小田急電鉄(株)に対して、工事費を補助します。
- ⑦ 鶴川駅前公園整備事業は、用地取得(町田市土地開発公社からの買戻し)を行います。

【スケジュール】

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①北口交通広場整備事業	整備工事 仮使用開始	植栽整備 撤去工事	広場へのアクセス整備		路面復旧工事	★使用開始
②南北自由通路整備事業	支障物移設工事 用地取得	デッキ工事 (下部工・上部工)	デッキ工事 (上屋・EV)	デッキ工事 (本体接続)	本体整備工事(小田急施工)	架線復旧工事 (小田急施工) ★使用開始
③南口アクセス道路整備事業	詳細設計	用地取得			整備工事	★使用開始
④西側主要生活道路整備事業	用地測量	予備設計		詳細設計	用地取得	
⑤鶴川1号踏切道拡幅改良事業	拡幅工事	★使用開始				
⑥鶴川駅改良事業		整備工事(支障物移設・仮設工事含む)				既設撤去等 ★使用開始
⑦鶴川駅前公園整備事業		用地取得	北口交通広場工事等の作業場所として使用		設計	整備工事

【主な事業費】

①整備工事費	99,049 千円
②整備等負担金	424,538 千円
②整備工事費	400,261 千円
(2023～2028 年度債務負担行為事業 総事業費 3,336,012 千円)	
③物件移転補償費	330,958 千円
③用地購入費	152,702 千円
③整備工事費	126,500 千円
④物件調査委託料	9,800 千円
④予備設計委託料	3,509 千円
⑤整備等負担金(整備工事)	44,880 千円
(2022～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 395,373 千円)	
⑥鶴川駅改良補助金	294,055 千円
(2023～2028 年度債務負担行為事業 総事業費 2,298,868 千円)	
⑦用地購入費	336,769 千円

【主な特定財源】

①防災・安全交付金(国 1/2)	5,000 千円
①都市計画費補助金(都 1/4)	2,500 千円
②防災・安全交付金(国 1/2)	326,331 千円
②都市計画費補助金(都 1/4)	163,165 千円
②都市計画事業債	300,000 千円
②公共施設整備基金繰入金	40,000 千円
③道路橋梁費補助金(都 1/2)	195,100 千円
③道路橋梁費補助金(都 3/10)	5,400 千円
③道路整備事業債	322,000 千円
③公共施設整備基金繰入金	90,000 千円
⑤道路橋梁費補助金(都 1/2)	21,000 千円
⑤道路整備事業債	21,000 千円
⑦都市計画事業債	251,000 千円

○特別会計

【事業の内容】

⑧ 鶴川駅南土地区画整理事業は、建物等移転、整備工事を行います。

【スケジュール】

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	
⑧鶴川駅南土地区画整理事業	移転実施計画	建物等移転・整備工事(南口交通広場含む)				★南口交通広場 暫定使用開始	建物等移転・整備工事

【主な事業費】

⑧土地区画整理事業委託料 654,282 千円

(2020～2031 年度債務負担行為事業 総事業費 5,653,845 千円)

(2024～2031 年度債務負担行為事業 総事業費 1,078,789 千円)

【特定財源】

⑧社会資本整備総合交付金(国 1/2)62,400 千円

⑧都市再生土地区画整理補助金(都 1/4 など)36,700 千円

⑧都市計画事業債 293,000 千円



鶴川駅南土地区画整理事業イメージ図

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木 道路部 道路整備課長 市川	電話	724-4214 724-1122
------	-------------------------------------	----	----------------------



件名	(仮称) 町田木曾山崎パラアリーナ整備・運営事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
26,487		0	0	0	0	26,487

**【事業の背景・目的】**

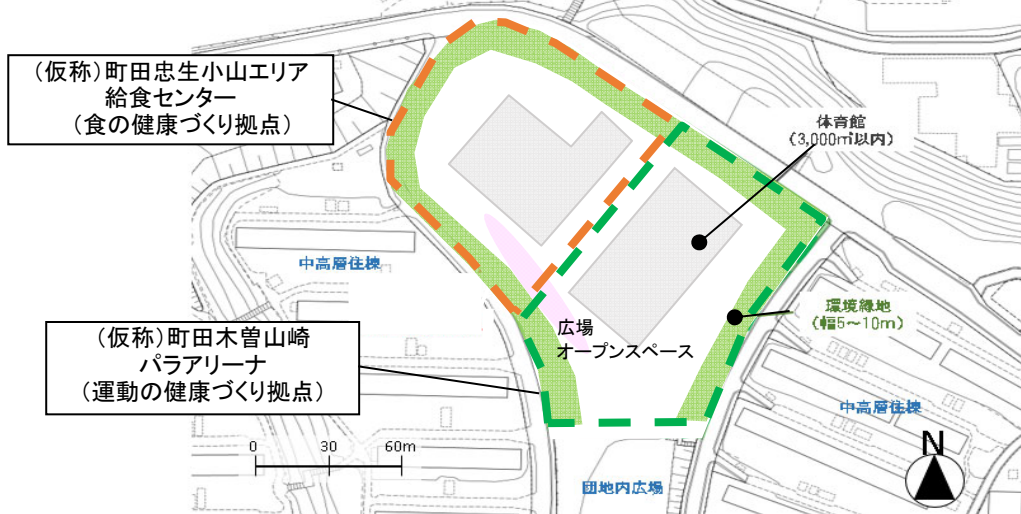
2013 年度に策定した「町田市木曾山崎団地地区まちづくり構想」において、「健康増進関連拠点」として位置づけている旧忠生第六小学校用地に、食の健康増進拠点となる「(仮称)町田忠生小山エリア給食センター(現在整備中)」の隣地に、運動の健康増進拠点となる「(仮称)町田木曾山崎パラアリーナ」を整備します。

本事業の実施にあたっては、2019 年度に策定した「町田市スポーツ推進計画 19-28」に基づき、市民がスポーツを「する」場としてだけでなく、スポーツによる高齢者の健康づくりの推進や、障がい者のスポーツ推進、パラスポーツの普及啓発及びパラリンピックのレガシー継承を目指します。

**【事業の内容】**

スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、「地域の健康づくりの拠点となる施設」、「パラスポーツの普及啓発の拠点となる施設」、「地域の多世代交流の核となる施設」の 3 つの役割を担う、ユニバーサルデザインを取り入れた、障がいの有無やその種別にかかわらず、誰もが利用しやすいインクルーシブな施設を整備します。2024 年度は、2025 年度の設計・整備工事着手に向けて PFI 事業者を公募・選定し、基本協定・本契約を締結します。

【健康増進関連拠点としての活用イメージ】



**【スケジュール】**

	2024年度				2025年度	2026年度	2027年度	2028年度以降
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
(仮称)町田木曾山崎パラアリーナ整備	公募に向けた資料作成	事業者の公募・選定	基本協定・契約締結に向けた準備・調整		設計・整備工事		運営・維持管理	●供用開始

**【事業費】**

事業者選定アドバイザー業務委託料	26,037 千円
専門委員報酬	450 千円
(仮称)町田木曾山崎パラアリーナ整備・運営事業委託料	0 千円
(2024~2042 年度債務負担行為事業 総事業費 4,160,340 千円)	

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 高梨	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件名	野津田公園スポーツの森整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
483,369			0	61,000	254,000	5,547

**【事業の背景・目的】**

「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指した「第二次野津田公園整備基本計画（2014年度策定）」に基づき、競技スポーツから健康スポーツまで幅広い活動やみどりを活かした自然のふれあい活動、さらには多様なレクリエーションが楽しめる公園整備を段階的に進めています。

今後はさらに、総合公園にふさわしい、子どもの遊び場を含むパークセンターゾーンの整備に着手し、着実に整備を進めることで、「多世代の交流が広がる公園づくり」や「自然とのふれあい活動が楽しめる公園づくり」を推進し、スポーツ利用だけでなく、市民の交流やふれあい活動の場となる公園を目指します。

**【事業の内容】**

**①町田 GION スタジアム改修（照明 LED 化）**

ふるさと納税でいただいた寄附を活用し、町田 GIONスタジアムの照明をLED化することで、アスリートや観戦・応援する人にとってより良い試合環境の確保と施設の省エネルギー化を図ります。

**②パークセンターゾーンスケートパーク整備**

市内最大の総合公園にふさわしい、より魅力的な空間にする検討を深めるため、基本設計（その2）を行います。

**③多目的広場（南側拡張区域）整備**

Jリーグホームゲームをはじめとする大型集客イベント開催時の混雑を緩和するため、野津田公園南側の拡張区域に臨時駐車場としても使用できる多目的広場を、2026年2月の利用開始に向け整備します。

**④南側入口転回広場**

野津田車庫バス停方面からのアクセス改善のため、南側入口区域にバスが乗り入れられる転回広場を、2026年度の利用開始に向け整備します。

**⑤野津田公園南側アクセス環境改善**

野津田公園へのアクセス性向上を目指し、野津田車庫バス停方面から南側入口転回広場までの既存道路（鶴川 379 号線）の狭あい区間を拡幅整備するため、調査測量、地質調査及び道路詳細設計を行います。



⑥最寄りバス停からの来場者動線の整備

野津田車庫バス停から野津田公園までの区間について、来場者の安全性確保及び周辺エリアへの迷い込みを防止することを目的として、フットライトの設置工事を行い、歩行者動線の環境改善を行います。

⑦町田駅—野津田公園間の借り上げバスによる来場者輸送の実施

中心市街地に来訪者を移動させることで、地域活性化を図ることを目的に、大型スポーツイベント開催時に町田駅から町田 GION スタジアム間を輸送するためのバスを運行します。

【スケジュール】

年度 月	2023 12-3	4-6	7-9	10-12	1-3	2025	2026	2027	2028
①町田GION スタジアム改修 (照明)	メイン 照明	カラー 照明工事							
②パークセンター ゾーンスケートパーク 整備		基本設計(その2)				実施設計	整備工事		●オープン (4月予定)
③多目的広場 (南側拡張区域) 整備		基本・実施設計				整備 工事	●オープン (2月中旬予定)		
④南側入口 転回広場	測量	基本・実施設計				整備 工事	●オープン (4月予定)		
⑤野津田公園南 側アクセス環境 改善		測量・調査・設計				整備 工事	台帳 測量		
⑥最寄りバス停 からの来場者動 線の整備	舗装 打ち替え サイン設置	フットライト整備							
⑦町田駅—野津 田公園間の来場 者輸送の実施		2024シーズン バス輸送実施				2025シーズン バス輸送実施	2026・2027・2028シーズン バス輸送実施		

【主な事業費】

①町田GIONスタジアム照明LED化改修工事費 (2023~2024 年度債務負担行為事業 総事業費 465,191 千円)	283,115 千円
②パークセンターゾーン(スケートパーク)基本設計委託料(その2)	9,589 千円
③多目的広場(南側拡張区域)実施設計委託料(基本・実施設計)	30,900 千円
④南側入口転回広場基本・実施設計委託料	16,500 千円
⑤野津田公園南側アクセス環境改善詳細設計委託料	5,936 千円
⑥来場者動線の整備設置工事費(フットライト)	38,421 千円
⑦借上げバスによる来場者輸送委託料	52,293 千円

【主な特定財源】

①都市計画事業債	254,000 千円
①⑥市町村総合交付金(都)	59,000 千円

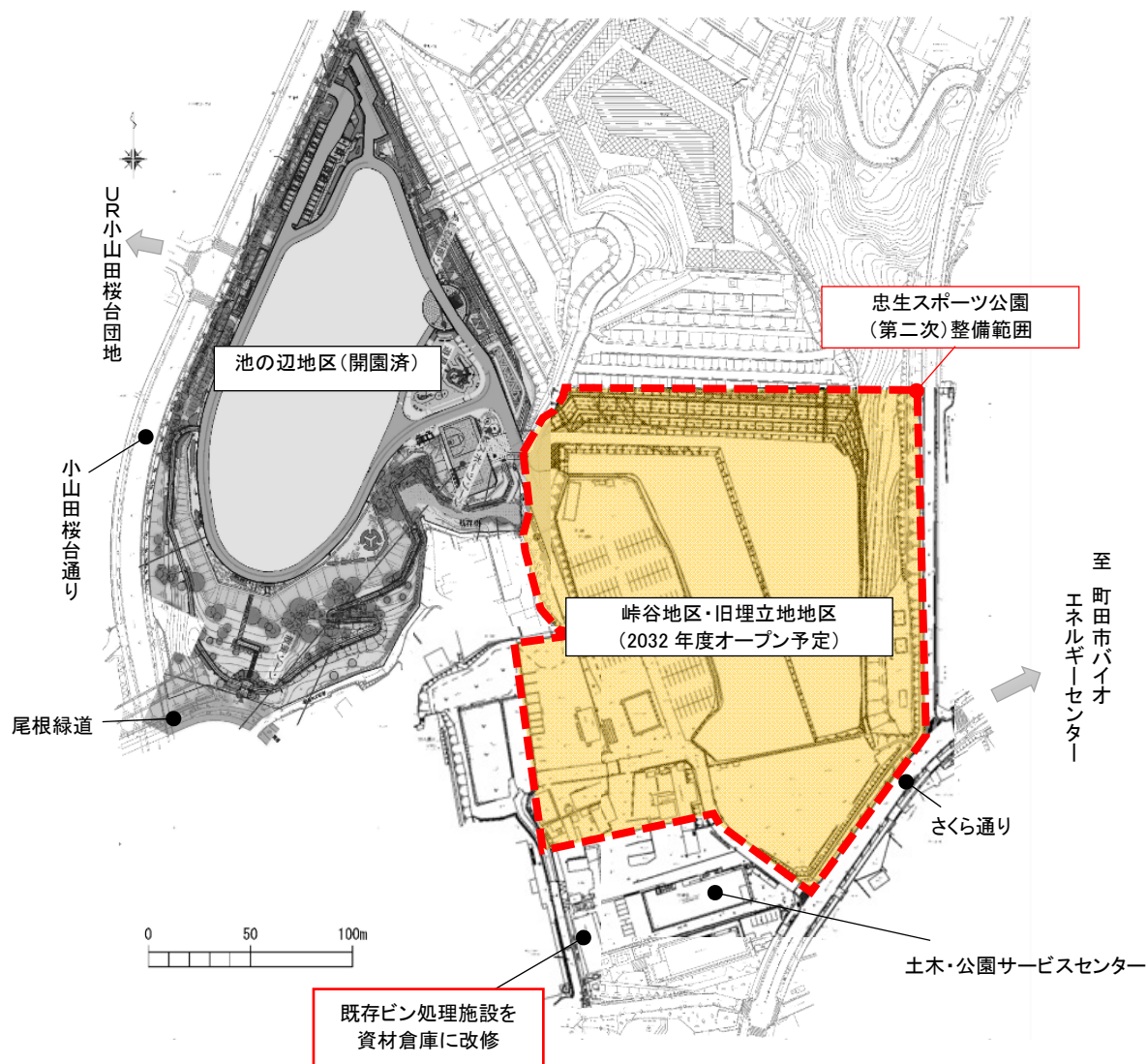
問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
	道路部 道路政策課長 深澤		724-1120
	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課 高梨		724-4036

件名	忠生スポーツ公園（第二次）整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
25,632		0	0	0	0	25,632

【事業の背景・目的】

「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想(2017年度策定)」において、「さまざまな世代が憩い、体力づくりもできる広場」をコンセプトとし、子どもから高齢者までスポーツを楽しみながら体力づくりができる空間として、最終処分場等上部を利用した公園整備を段階的に進めています。

2023年9月に池の辺地区がオープンしました。峠谷地区・旧埋立地地区の2032年度オープンを目指し、最終処分場の安全対策工事を実施するとともに、スポーツ施設やイベントスペースを整備します。



【事業の内容】

① 公園整備	池の辺地区	都市公園法に基づく、公園台帳の作成を行います。
② 処分場対策	峠谷地区・ 旧埋立地地区	上部利用できるよう、安全対策工事概略設計を実施します。
③ 土木・公園サービスセンターの資材置場、倉庫等の移転・改修	既存施設の 資材倉庫改修設計	旧埋立地地区整備に伴い、既存資材置場を移転する必要があるため、既存ビン処理施設を資材倉庫に再利用する改修設計を実施します。

【スケジュール】

年度 月	2024				2025	2026	2027	2028
	4-6	7-9	10-12	1-3				
①公園整備	公園台帳作成(池の辺地区)					忠生スポーツ公園(第二次)整備 基本設計・実施設計(峠谷地区・旧埋立地地区)		
②処分場対策	安全対策工事概略設計				安全対策 工事 詳細設計	安全対策工事(～2028)		
③土木・公園サービスセンターの資材置場・倉庫等の移転	既存施設の資材倉庫改修設計				資材置場 の移転	改修工事		

【主な事業費】

①公園台帳作成委託料	3,000 千円
②安全対策工事概略設計委託料	14,514 千円
③既存施設の資材倉庫改修設計委託料	5,280 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
	環境資源部 環境政策課長 池澤		785-5479
	環境資源部 循環型施設管理課長 林		724-4384
	道路部 道路維持課長 林田		724-1121

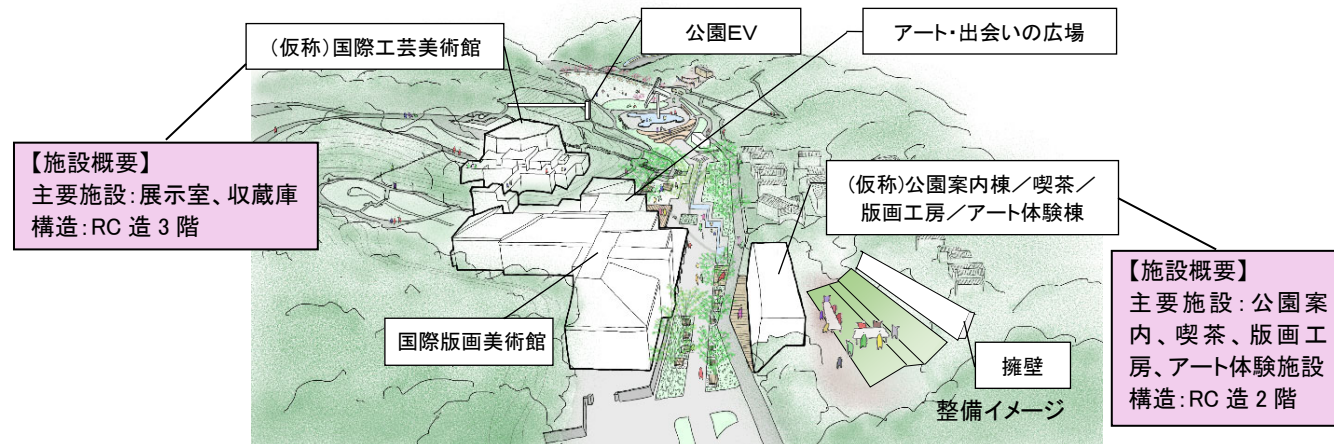
件名	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
889,813		0	33,384	609,000	118,753	128,676

【事業の背景・目的】

中心市街地に隣接する緑豊かな都市公園である芹ヶ谷公園に、(仮称)国際工芸美術館(※1)、国際版画美術館、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟(※2)を整備することで、美術館での鑑賞だけでなく、町田の多様な文化芸術の活動、公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」を整備します。公園の価値と資源を活かし、「子ども」と「体験」という新しい視点の取組みも含めて、魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園やまちなかと一体となって展開される状態を目指します。

※1: 市立博物館が所蔵する国内有数のガラス工芸品や陶磁器のコレクション(約 4,000 点)を収蔵する美術館

※2: パークミュージアムの総合案内や、版画や工芸品の本格的な創作から気軽な体験ができる工房などを備えた施設

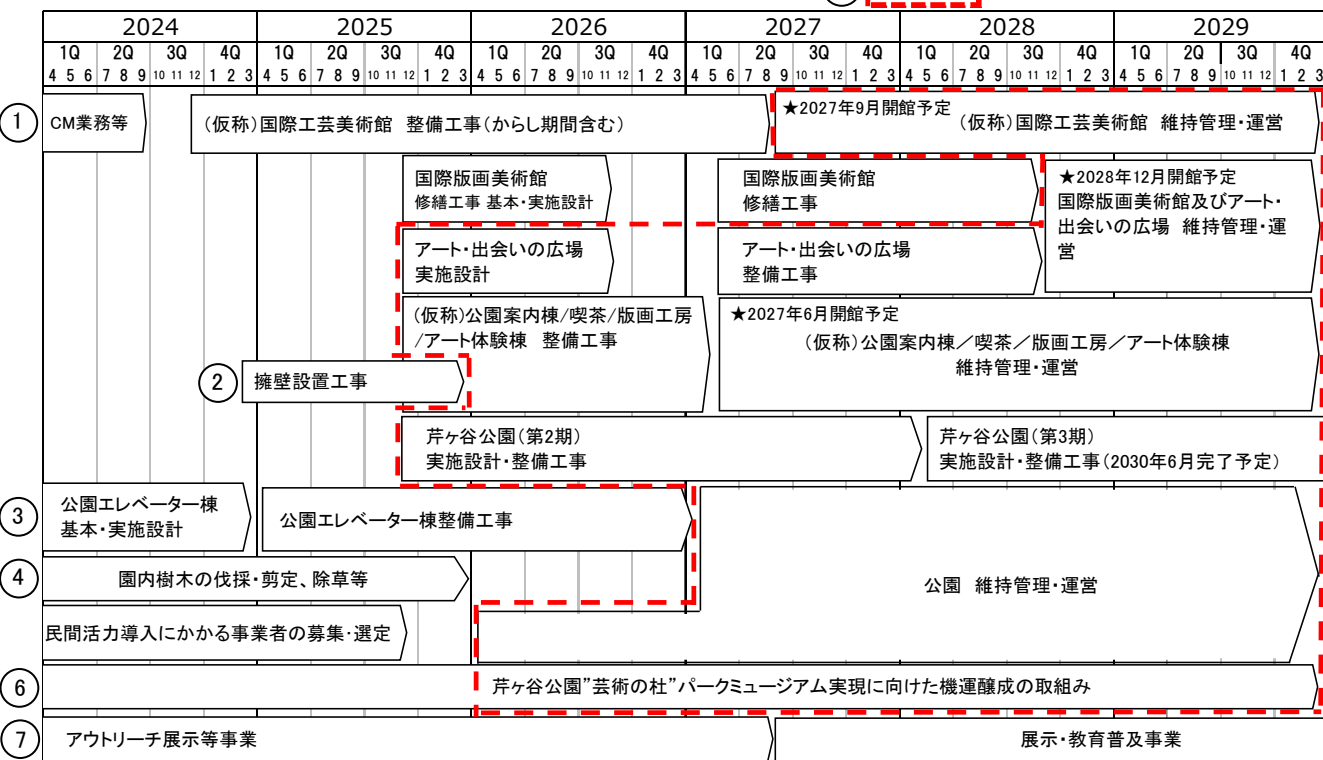


【事業の内容】

①(仮称)国際工芸美術館整備	工事価格の適正化等を図るためのコンストラクションマネジメント業務を実施したうえで、(仮称)国際工芸美術館の整備工事を行います。
②(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備	(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟を整備するための、擁壁設置工事を行います。
③公園エレベーター棟整備	公園内の高低差の解消を目指して、自転車も乗り入れることができる公園エレベーターの基本・実施設計を行います。デザインにおいては、2022 年度に地域の子供たちから募集したアイデアを反映いたします。
④樹木適正配置	公園内の安全性の確保や自然に親しめる空間を形成するために、樹木の適切な伐採・剪定及び除草等により林相を整え、芹ヶ谷公園のさらなる魅力向上を目指します。
⑤民間活力導入の検討・選定	(仮称)国際工芸美術館の維持管理・運営、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備工事、アート・出会いの広場設計・整備工事、芹ヶ谷公園設計・整備工事及び維持管理・運営について、民間活力を導入します。美術館と公園の密接に連携した運営など、民間事業者の経験・技術力・ノウハウを活用した整備・運営を行うための事業者選定を行います。
⑥パークミュージアム機運醸成事業	「町田の文化と自然に出会える パークミュージアム」を実現するため、市民や Made in Serigaya」でつながった方々と一緒に、芹ヶ谷公園がより愛される公園となるように育て、盛り上げていくための取組みを進めます。
⑦アウトリーチ事業	子どもも大人も楽しめる、ガラスや陶磁器の制作体験や、イベント会場での PR、作品の展示などを実施します。

【スケジュール】

⑤ ...PFI整備・運営の事業範囲



※アート・出会いの広場:これまで美術館に来る機会があまりなかった方にとっても気軽にアートに親しむことのできる空間として、学芸員のギャラリートークを聞くことのできるスタジオや、待ち合わせができるホワイエのほか、両美術館の導入展示などがあり、開かれた美術館としてアートの魅力を発信する場です。

【主な事業費】

①(仮称)国際工芸美術館整備工事費 (2024~2026 年度債務負担行為事業 総事業費 4,386,869 千円) (仮称)国際工芸美術館コンストラクションマネジメント業務等委託料	764,924 千円 14,960 千円
②(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟擁壁設置工事費 (2024~2025 年度債務負担行為事業 総事業費 123,000 千円)	49,200 千円
③公園エレベーター棟整備基本・実施設計業務委託料 (2023~2024 年度債務負担行為事業 総事業費 33,440 千円)	23,408 千円
④樹木適正配置委託料	21,000 千円
⑤芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアム整備・運営事業委託料 (2024~2039 年度債務負担行為事業 総事業費 11,089,561 千円)	0 千円
⑥パークミュージアム推進事業業務委託料	7,000 千円
⑦アウトリーチ関連事業費	5,117 千円

【主な特定財源】

③④市町村総合交付金	30,000 千円
①文化施設整備事業債	573,000 千円
②都市計画事業債	36,000 千円
①公共施設整備基金繰入金	112,000 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課パークミュージアム担当課長 原田 文化振興課長 老沼 都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-2184 724-4397
------	-----------------------------------------------------------------	----	----------------------

件名	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
108,121		22,000	26,000	40,000	13,538	6,583

【事業の背景・目的】

町田薬師池公園四季彩の杜は、市内外から多くの方々が訪れる豊かな自然環境や歴史的資源を有する魅力的なエリアです。2023 年度に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～」に基づき、このエリアに何度も訪れていただけるように各施設の整備・改修を進め、充実を図ります。

【事業の内容】

- ①リス園をさらに魅力的な施設にリニューアルするために、基本計画を策定します。
- ②西園は、計画区域内未供用地の取得を行います。
- ③ぼたん園は、庭園空間の維持のために、借地の用地取得及び排水施設の改修設計を行います。

【スケジュール】

年度	2024				2025	2026	2027	2028
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
全体計画	「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～」の推進							
①リス園	安全維持 一部改修(ダリア園を含む)							
	基本計画				用地測量	基本設計	実施設計	
					都市計画決定	用地取得		
②西園	用地取得				基本設計 実施設計 調査委託	整備工事	●拡張区域 供用開始	
③ぼたん園	排水設計・用地測量				排水工事			
	用地取得							

【主な事業費】

- ① リス園基本計画策定支援委託料 4,000 千円  
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 7,871 千円)
- ① リス園・ダリア園改修工事費 1,000 千円
- ②③用地購入費(西園・ぼたん園) 100,060 千円
- ③ ぼたん園排水設計業務委託料 1,331 千円

【特定財源】

- ② 社会資本整備総合交付金(国 1/3) 22,000 千円
- ② 生産緑地買取事業費補助金(都 1/3) 22,000 千円
- ③ 都市計画費補助金(都 1/2) 4,000 千円
- ③ 都市計画事業債 40,000 千円
- ②③緑地保全基金繰入金 13,538 千円

問合せ先	経済観光部 観光まちづくり課長 石崎	電話	724-2128
	地域福祉部 障がい福祉課長 金子		724-2147
	都市づくり部 公園緑地課長 新		724-4397



件名	香山緑地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
320,313		0	15,000	214,000	62,036	29,277

【事業の背景・目的】

香山緑地を、鶴川駅周辺の市街地に残された貴重な緑として保全し、都市景観の向上及び町田市の観光拠点の一つとするため、池泉回遊式庭園と存在感のある書院造の建物を活かした緑地として整備します。

周辺観光施設と連携を図り、施設の魅力的な運営を行うことで、鶴川地域への来訪者の増加と、地域住民の交流の場を提供することを目指します。



香山緑地

【事業の内容】

2025年1月の開園に向けて、引き続き既存建物の耐震・改修工事を行うとともに、庭園工事を行います。

【スケジュール】

年度	2023	2024			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
整備	①管理運営	指定管理者選定	運営準備	内装工事	●開園(1月予定)
	②建物	既存建物耐震・改修工事			
	③緑地		庭園工事		

(凡例： 枠は指定管理者実施)

【主な事業費】

①指定管理委託料	14,500 千円
②既存建物耐震・改修工事費	167,292 千円
(2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 360,007 千円)	
②既存建物耐震改修工事監理委託料	6,105 千円
(2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 12,209 千円)	
③庭園整備工事費	126,000 千円

【特定財源】

①公園使用料	2,036 千円
②都市計画事業債	129,000 千円
②③公共施設整備基金繰入金	60,000 千円
③都市計画費補助金(都 1/2)	15,000 千円
③都市計画事業債	85,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	小山田蓮田緑地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
137,823		40,250	5,625	68,000	7,950	15,998

【事業の背景・目的】

小山田蓮田緑地は、鶴見川流域の里山の風情が残る風光明媚な場所にあります。

小山田神社周辺に広がる大賀蓮の魅力を活かし、自然と水辺に親しめる憩いの場とすることで誰もが快適に過ごせる観光名所・地域資源となるように整備します。



【事業の内容】

2025年7月の開園に向けて、用地取得及び整備工事を行います。

【スケジュール】

	2024年度				2025年度～
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
緑地整備	用地取得				拡張区域整備
	整備工事				●開園 (2025年7月予定)

【主な事業費】

小山田蓮田緑地整備工事費	91,510千円
(2023～2025年度債務負担行為事業 総事業費 435,228千円)	
休憩棟他建築工事費(他3件)	41,357千円
(2024～2025年度債務負担行為事業 総事業費 103,394千円)	
工事監理委託料(休憩棟建築工事)	0千円
(2024～2025年度債務負担行為事業 総事業費 6,930千円)	
用地購入費	1,059千円

【特定財源】

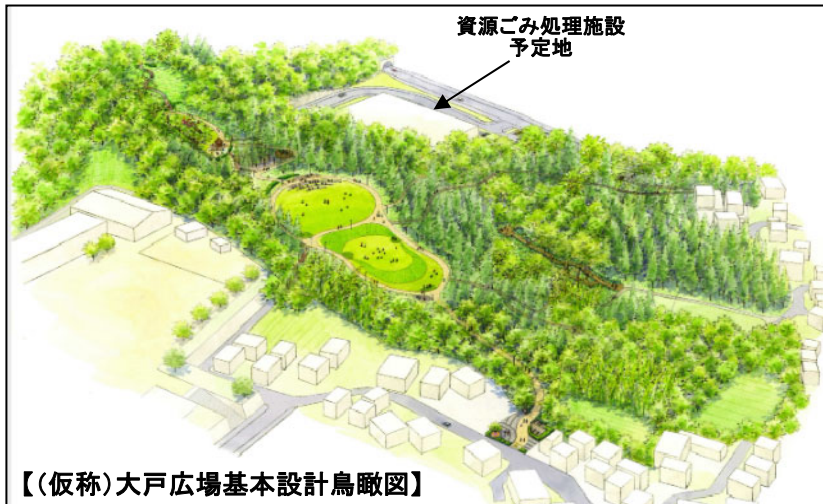
社会資本整備総合交付金(国1/2)	40,250千円
都市計画費補助金(都1/4)	5,625千円
都市計画事業債	68,000千円
公共施設整備基金繰入金	6,000千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	(仮称) 大戸広場整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
292,324		0	43,000	170,000	52,960	26,364

【事業の背景・目的】

相原地区の資源ごみ処理施設整備に伴う周辺の環境整備を促進するため、「(仮称)大戸広場基本計画(2021年度策定)」に基づき、既存の緑地を活かしながら、地域交流を深める憩いの場として(仮称)大戸広場を整備します。



【(仮称)大戸広場基本設計鳥瞰図】

【事業の内容】

2027年度末の開園を目指して、用地を取得するとともに、整備に係る実施設計及び地質調査等を行います。

【スケジュール】

	2024年度				2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
(仮称) 大戸広場 整備	入札手続	実施設計			整備工事			●開園 (年度末)
		測量・地質調査		建築施設設計業務	建築工事	工事監理		
	用地取得							
(参考) 資源ごみ処理施設	用地取得・業者選定・自然環境調査等				施設実施設計・施設建設工事			●稼働

【主な事業費】

用地購入費	222,636 千円
実施設計業務委託料	39,591 千円
物件等補償料	15,324 千円
地質調査業務委託料	8,793 千円

【特定財源】

都市計画費補助金(都 1/2)	43,000 千円
都市計画事業債	170,000 千円
緑地保全基金繰入金	52,960 千円



遊具広場イメージ



展望広場イメージ

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	忠生 630 号線・忠生 579 号線整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
313,895		0	30,300	204,000	50,000	29,595

【事業の背景・目的】

都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備し、交通の円滑化と安全性及び地域の生活環境の向上を図ります。

【事業の内容】

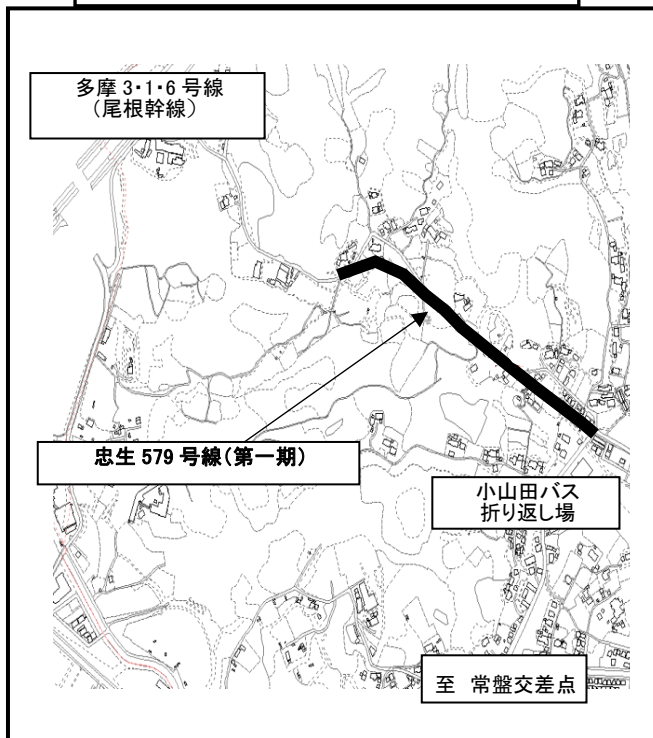
①忠生 579 号線(第一期)(整備延長 600m 計画幅員 12m)

沿道地区の街づくりや安全性の向上を図るとともに、「上小山田エリア資源ごみ処理施設」へのアクセス路として整備を行います。2024 年度は、調査測量及び道路予備設計を行います。

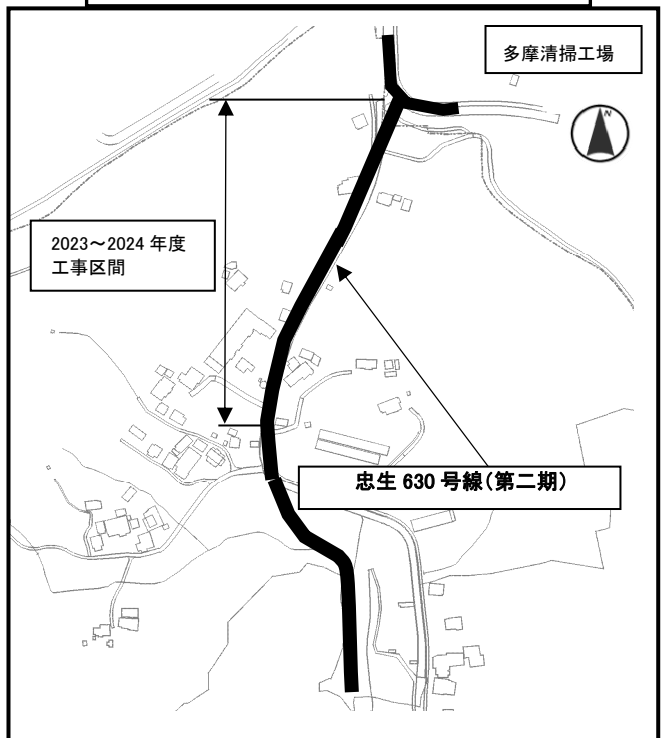
②忠生 630 号線(第二期)(整備延長 650m 計画幅員 13m)

公共交通機関の充実や増加する交通量への対応及び安全性の向上などを図るため整備を行います。2024 年度は、整備工事及び台帳測量を行います。

① 忠生 579 号線 計画図



② 忠生 630 号線 計画図



【主な事業費】

①測量委託料	10,000 千円
①予備設計委託料	9,720 千円
②整備工事費	242,462 千円

【主な特定財源】

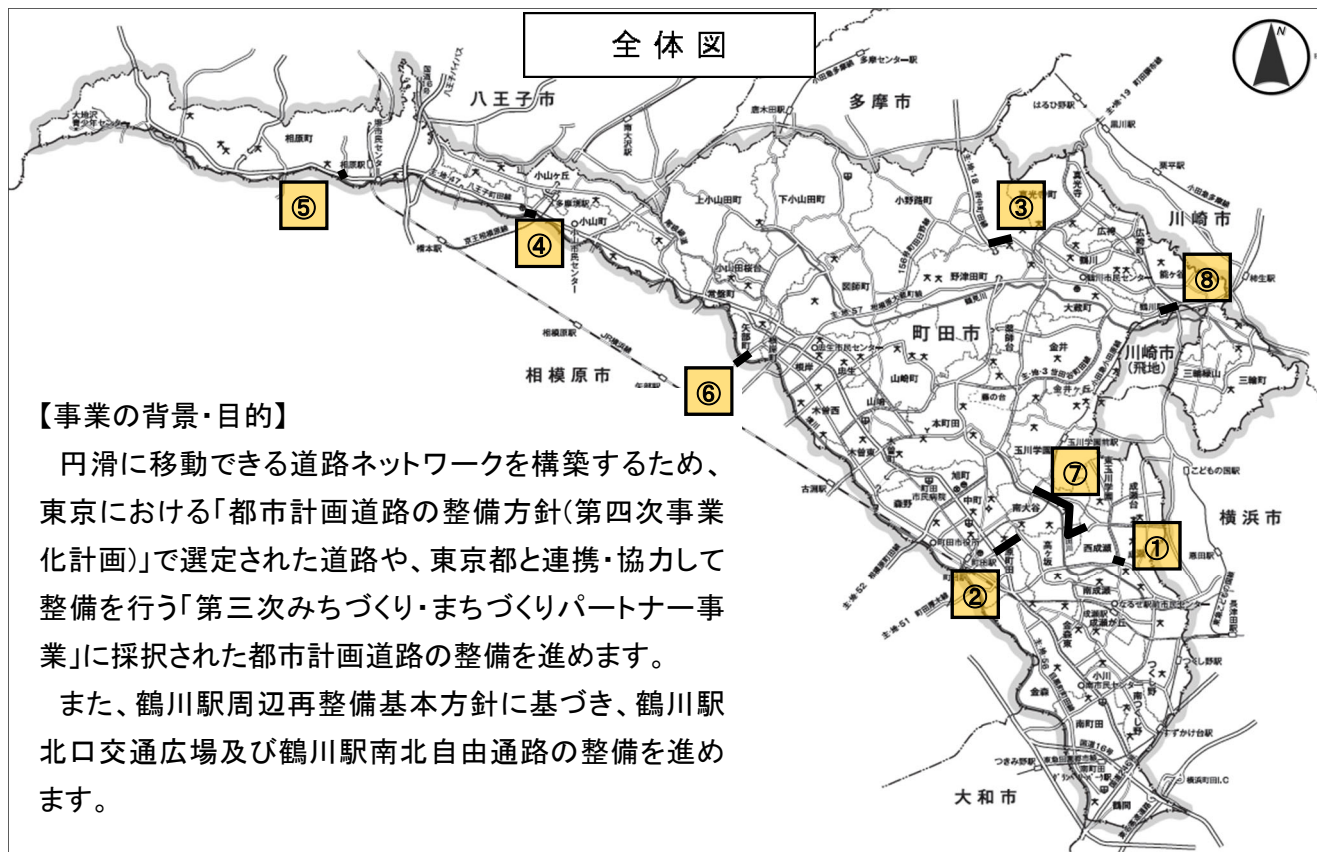
②道路橋梁費補助金(都 1/2)	30,300 千円
②道路整備事業債	204,000 千円

(2023~2024 年度債務負担行為事業

総事業費 242,462 千円)

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名	都市計画道路築造事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,988,142		331,331	306,665	540,000	1,666,568	143,578



**【事業の背景・目的】**

円滑に移動できる道路ネットワークを構築するため、東京における「都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」で選定された道路や、東京都と連携・協力して整備を行う「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」に採択された都市計画道路の整備を進めます。

また、鶴川駅周辺再整備基本方針に基づき、鶴川駅北口交通広場及び鶴川駅南北自由通路の整備を進めます。

単位:千円

箇所番号	事業箇所	事業費	事業内容
①	都計道3・3・7(成瀬) 【成瀬街道】	65,306	【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を行います。2024年度は用地取得等を行います。
②	都計道3・4・11(原町田) 【原町田大通り】	1,302,990	【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 町田街道の原町田五丁目交差点から都計道3・3・36までの整備を行います。2024年度は用地取得等を行います。
③	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	242,104	【第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 小野路交差点付近の整備を行います。2024年度は用地取得及び橋梁詳細設計等を行います。
④	都計道3・4・41(小山) 【多摩ニュータウン通り】	319,868	小山町と相模原市を繋ぐ橋梁(多摩ニュータウン通り延伸部)整備を行います。2024年度は橋梁・河川護岸工事(相模原市施行)及び交差点改良工事(町田市施行)を行います。
⑤	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北通り】	8,087	相原町と相模原市を繋ぐ南北道路の整備を行います。2024年度は橋梁・河川護岸の詳細設計(相模原市施行)等を行います。
⑥	都計道3・4・19(矢部) 【矢部函師線】	35,502	矢部町と相模原市を繋ぐ宮前橋の橋梁整備を行います。2024年度は橋梁・河川護岸の詳細設計及び支障移設工事等を行います。
⑦	都計道3・4・34(南大谷) 【本町田金森線】 都計道3・4・9(成瀬) 【成瀬けやき通り】	72,525	成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの整備を行います。2024年度は、都計道3・4・34(南大谷)は、路線・用地測量等を、都計道3・4・9(成瀬)は構造物予備設計等を行います。
⑧	鶴川駅北口交通広場 鶴川駅南北自由通路	941,760	鶴川駅北口において、安全で便利な交通結節点とするため、北口交通広場の再編・整備を行います。また、鶴川駅南北の連絡性向上のため鶴川駅南北自由通路の整備を行います。2024年度は北口交通広場の植栽整備及び現広場の撤去工事、駅北口のデッキ築造工事を行うほか、小田急電鉄(株)に委託し自由通路の整備工事を行います。

件名

都市計画道路築造事業

【事業の内容】

① 都計道 3・3・7(成瀬)【成瀬街道】

成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点の東西約 110mの区間を整備するものです。本事業によって現道の幅員 12～13mを 22～25mに拡幅整備し、交通の円滑化を図ります。

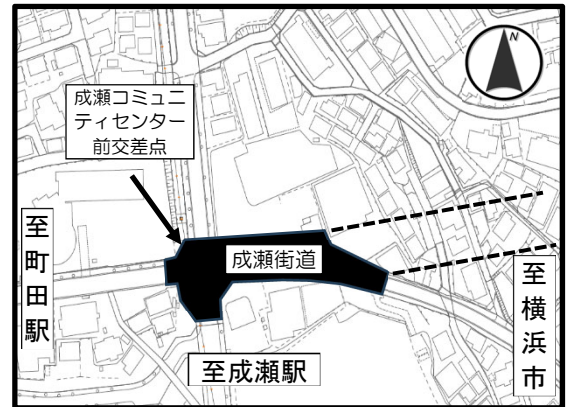
(事業規模:延長約 110m 幅員 22～25m)

2024 年度は用地取得等を行います。

【主な事業費】 用地購入費 45,164 千円

物件等補償料 11,000 千円

【主な特定財源】 東京都受託収入 56,164 千円



都計道3・3・7  
(都整備予定路線)

② 都計道 3・4・11(原町田)【原町田大通り】

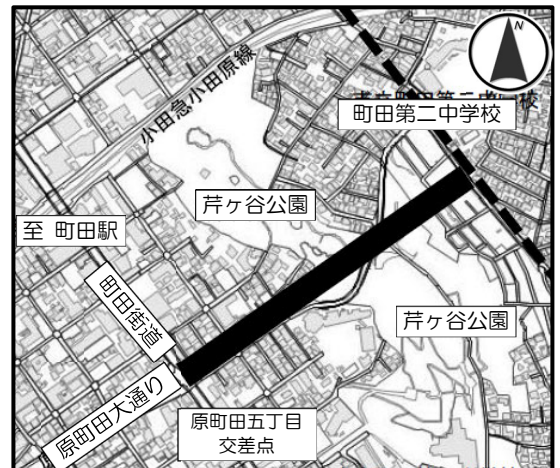
原町田大通りを北東に延伸し、町田街道の原町田五丁目交差点から東京都が施行する都市計画道路 3・3・36 号に接続する約 520mの区間を整備するものです。本事業によって道路ネットワークの構築・交通の円滑化及び中心市街地の回遊性を高め、町田駅周辺のまちづくりを推進します。(事業規模:延長約 520m 幅員 25～41m)

2024 年度は用地取得等を行います。

【主な事業費】 物件等補償料 659,900 千円

用地購入費 566,000 千円

【主な特定財源】 東京都受託収入 1,225,900 千円



都計道3・4・11(原町田)  
都計道3・3・36  
(都整備予定路線)

③ 都計道 3・4・22(小野路)【大蔵小野路線】

小野路交差点の東西約 300mの区間を整備するものです。本事業によって現道の幅員を 8mから 16mに拡幅整備し、交通の円滑化を図ります。(事業規模:延長約 300m 幅員 16m)

2024 年度は用地取得及び橋梁詳細設計等を行います。

【主な事業費】 物件等補償料 102,250 千円

用地購入費 58,605 千円

設計委託料 22,000 千円

【主な特定財源】 東京都受託収入 182,855 千円

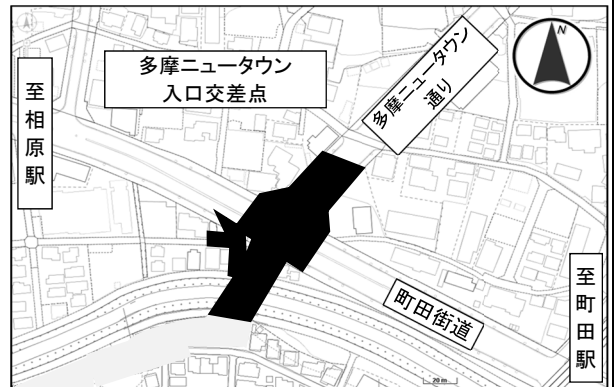


④ 都計道 3・4・41(小山)【多摩ニュータウン通り】

八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、本事業によって相模原市方面のアクセス性向上及び町田街道の慢性化した渋滞の緩和を図ります。(事業規模:延長約 50m 幅員 18m)

2024 年度は橋梁・河川護岸工事(相模原市施行)及び交差点改良工事(町田市施行)を行います。2025 年 3 月の開通を目指しています。

【主な事業費】	整備等負担金	240,868 千円
	(橋梁工事費(相模原市施行))	
	整備工事費	75,000 千円
【主な特定財源】	都市計画費補助金	105,000 千円
	(都 1/2)	
	都市計画事業債	158,000 千円

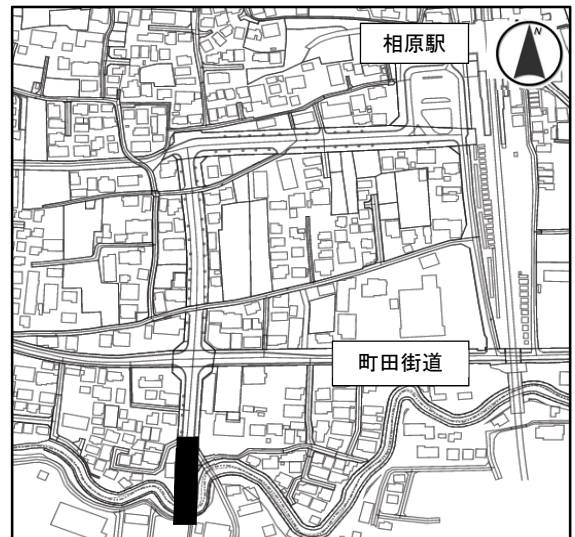


⑤ 都計道 3・4・49(相原町)【相原南北通り】

八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、相原駅西口広場と相模原市の都市計画道路とを接続することで、駅周辺のまちづくりの推進及び周辺道路の渋滞緩和を図ります。(事業規模:延長約 75m 幅員 16m)

2024 年度は橋梁・河川護岸の詳細設計(相模原市施行)等を行います。

【主な事業費】	整備等負担金	6,000 千円
	(橋梁・河川護岸詳細設計(相模原市施行))	



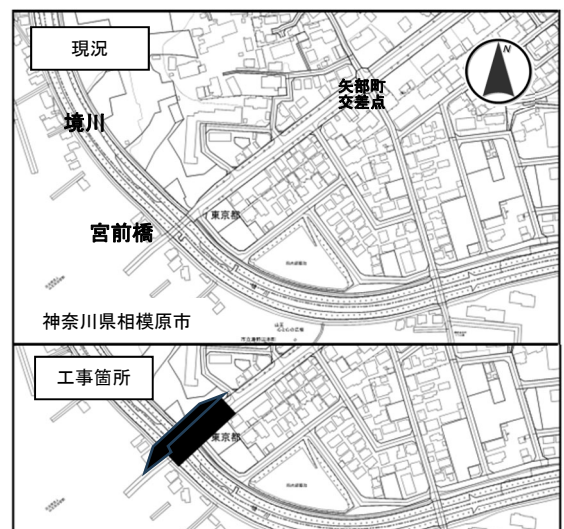
⑥ 都市計画道路 3・4・19(矢部)【矢部図師線】

町田市と相模原市を結ぶ道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、宮前橋を架け替えることで、交通の円滑化と歩行者通行の安全性向上を図ります。

(事業規模:延長約 60m 幅員 16m)

2024 年度は橋梁・河川護岸の詳細設計及び支障移設工事等を行います。

【主な事業費】	橋梁設計委託料	19,000 千円
	整備工事費	12,000 千円
【特定財源】	相模原市受託事業収入	17,751 千円



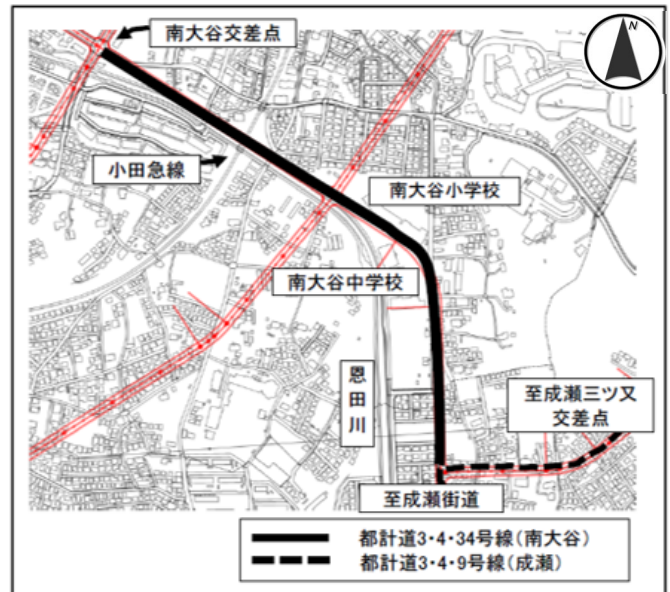
⑦ 都計道 3・4・34(南大谷)【本町田金森線】

都計道 3・4・9(成瀬)【成瀬けやき通り】

南大谷交差点から小田急線をアンダーパスし、南大谷小・中学校の間を抜け、市立成瀬うさぎ谷戸公園西側までを整備します。本事業によって成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの周辺道路の渋滞緩和を図ります。(事業規模:延長約 1,340m 幅員 16m)

2024 年度は都計道 3・4・34(南大谷)は路線・用地測量等を、都計道 3・4・9(成瀬)は構造物予備設計等を行います。

【主な事業費】	測量委託料	40,000 千円
	予備設計委託料	18,000 千円



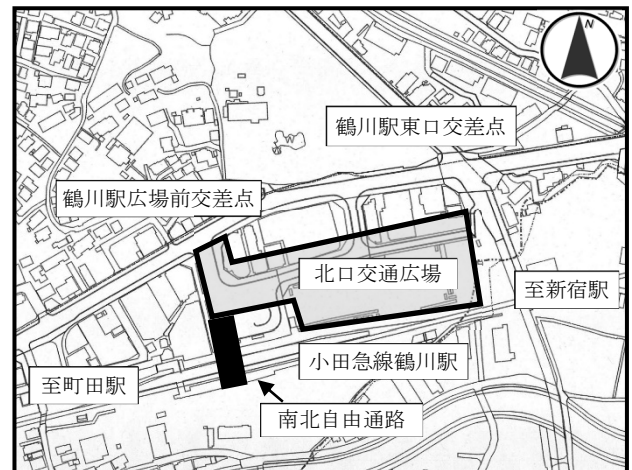
⑧ 鶴川駅北口交通広場・鶴川駅南北自由通路

(「鶴川駅周辺街づくり事業(54 ページ)」から再掲)

鶴川駅北口において安全で便利な交通結節点とするため、北口交通広場の再編・整備を行います。

また、鶴川駅南北の連絡性向上のため鶴川駅南北自由通路の整備を行います。(事業規模:北口広場約 8,200 m<sup>2</sup> 自由通路 延長約 120m 幅員 10.5m)

2024 年度は北口交通広場の植栽整備及び現広場の撤去工事、駅北口のデッキ築造工事を行うほか、小田急電鉄(株)に委託し自由通路の整備工事を行います。



【主な事業費】	北口交通広場整備工事費	99,049 千円
	南北自由通路整備工事費(デッキ)	400,261 千円
	南北自由通路整備等負担金	424,538 千円
	(整備工事(小田急電鉄(株)施行))	
	(2023~2028 年度債務負担行為事業 総事業費 3,336,012 千円)	
【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 1/2)	331,331 千円
	都市計画費補助金(都 1/4)	165,665 千円
	都市計画事業債	382,000 千円

問合せ先

道路部 道路整備課長 市川

電話

724-1122



件名	地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
89,740		32,475	0	0	0	57,265

**【事業の背景・目的】**

「8050問題」や「ダブルケア」、「ヤングケアラー」など、複雑化・複合化した福祉の困りごとを抱えている方が公的支援へつながることができず、社会的に孤立し、生活に困窮するということが問題になっています。また、こうした困りごとを抱えている方と支援機関をつなぐ役割は、これまでその一翼を民生委員・児童委員が担ってきましたが、成り手不足が顕在化しています。こうした課題に対応し、支援が必要な方を早期に適切な相談支援機関につなげ、必要な支援を迅速に行うことができるよう、市では、「地域福祉コーディネーター」を配置し、地域における包括的な相談支援を行っています。

2024年度は、配置する地域を拡大し、地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化を図ります。

**【事業の内容】**

引き続き堺地域及び鶴川地域で事業を実施するとともに、新たに2024年10月から忠生地域及び南地域に地域福祉コーディネーターを配置し、以下の支援事業を実施します。

①潜在的な相談者への継続したアウトリーチ支援

地域の様々な支援関係者との連携を通じて、支援が必要な方々の情報を把握し、適切な支援機関につながります。支援の必要性を認識されていない方などに対しては、定期的、継続的に関わり続け、本人や家族との間で関係性を構築したうえで、支援機関につなぐアウトリーチ支援を行います。

②支援機関の役割分担の調整

本人や家族が抱える課題を整理したうえで、関係する支援機関を集めてサポート会議を開催し、支援機関の役割分担を調整します。

③社会への参加支援及び地域づくり支援

NPO法人等の地域団体に働きかけ、協働して社会への参加支援を行います。また、新たな地域資源の開拓や既存の地域資源の拡充など、地域づくり支援を行います。

④福祉・保健の各分野を横断した困りごと相談

活動拠点に相談窓口を設置し、福祉・保健の各分野を横断した困りごと相談を行います。

**【スケジュール】**

年度	2024											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	堺地域及び鶴川地域の事業実施・評価・改善											
	忠生・南地域の関係機関との事業の運用調整			忠生・南地域への事業の広報・周知			忠生・南地域での事業実施					

**【主な事業費】**

地域福祉コーディネーター業務委託料 88,908 千円

**【特定財源】**

生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国 3/4 など) 32,475 千円

問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 深沢	電話	724-2133
------	-----------------	----	----------

件名	避難行動要支援者避難支援体制整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,037		0	4,500	0	253	7,284

**【事業の背景・目的】**

市では、高齢者や障がい者が犠牲となっている 2018 年西日本豪雨等、近年の災害状況を受け、発災時の対応を喫緊の課題と捉え、避難行動要支援者<sup>※1</sup>の避難支援体制の整備を進めています。

災害対策基本法の一部改正(2021年5月20日施行)において、「市町村長は避難行動要支援者の個別避難計画<sup>※2</sup>の作成に努める」ことが位置付けられました。また、国の取組指針では、改正法施行からおおむね5年程度(2026年度)で、優先度の高い方<sup>※3</sup>の個別避難計画を作成することが求められており、市としても、計画作成に向けた検討を行っています。

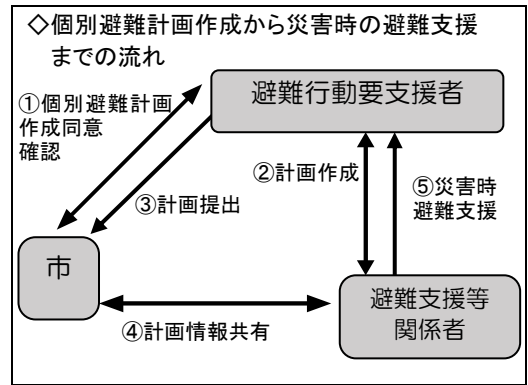
※1 高齢者や障がい者などのうち、災害時に自ら避難することが困難で避難行動に特に支援を要する方  
(2023年度町田市内対象者:約9,200人)

※2 避難行動要支援者を誰が支援して、どこに避難するかを定めた個別の計画

※3 ハザードの状況や対象者の心身の状況などにより、優先して個別避難計画の作成が必要とされる方

**【事業の内容】**

2024年度は、鶴川地区をモデル地区とし、避難行動要支援者の個別避難計画の作成を開始します。計画作成の中で得たノウハウや課題、関係者の意向等を整理し、2025年度以降、全市的に計画作成を展開するために、個別避難計画の作成方法や様式等の見直しを行います。また、専門職向けの説明会と地域向けの説明会を行います。さらに、計画作成方法がわからない要支援者や周囲に対し計画作成や避難支援を求められない人のため、相談窓口を設置します。



**【スケジュール】**

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
鶴川地区での優先度の高い方の個別避難計画作成	全市で優先度の高い方の個別避難計画作成		優先度の高い方以外の個別避難計画作成
避難支援等関係者との協議・説明会等の開催			
個別避難計画の作成方法や様式等の見直し			
個別避難計画作成相談窓口の設置			

**【主な事業費】**

避難行動要支援者避難支援体制整備支援業務委託料	5,555千円
個別避難計画作成支援委託料	4,000千円
避難行動要支援者名簿管理システム使用料	1,782千円

**【特定財源】**

地域福祉推進区市町村包括補助事業費補助金(都1/2)	4,500千円
まちだ未来づくり基金繰入金	253千円

問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 深沢	電話	724-2133
------	-----------------	----	----------

件名	地域介護予防活動支援事業（介護保険事業会計）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
117,506			28,166	14,688	0	58,495

【事業の背景・目的】

町田市の高齢化率は2023年12月現在で約27%（高齢者人口約117,000人）であり、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、約36%（高齢者人口約143,000人）に達する見込みです。高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活をするためには、健康であることや地域とのつながりが大切になります。このため、それぞれの身近な場所で介護予防への取組や社会参加することができる環境づくりを行います。

【主な事業の内容】

- ①各高齢者支援センターに地域介護予防推進員を配置し、地域の介護予防活動を推進します。
- ②「町トレ」を始めとした、介護予防活動を行うグループの立ち上げや活動継続の支援に取り組みます。
- ③市内の登録施設で行われるボランティア活動にポイントを付与し、商品券等で還元を行うことにより、ボランティア活動への参加を促す「いきいきポイント制度」を推進します。
- ④介護予防に関する普及啓発等の活動を行う「介護予防サポーター」の養成及び活動の支援を行います。
- ⑤外出が困難なために、介護予防活動を行うグループに参加できない方を対象に、自宅でできる簡単な体操「家トレ」の冊子を配布する等により普及啓発を進め、高齢者のフレイル予防を推進します。

年度	2024											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①地域介護予防推進員	各地域にて介護予防講座・イベント・教室等（各支援センターごとに通年で企画・実施）											
②「町トレ」支援	「町トレ」グループの立ち上げ及び活動継続の支援（通年）											
③いきいきポイント制度	登録研修会（毎月実施）											
	活動ポイントの還元（随時実施）											
④「介護予防サポーター」養成	養成講座の実施 第1期 → 第2期 → 第3期											
	介護予防サポーターの活動支援（通年）											
⑤「家トレ」普及啓発	冊子の配布及びホームページ等による普及啓発（通年）											

【主な事業費】

①地域介護予防推進員事業業務委託料	68,400 千円
②「町トレ」育成・支援業務委託料	2,484 千円
③いきいきポイント事業業務委託料	9,297 千円
④介護予防サポーター養成講座業務委託料	705 千円
⑤「家トレ」冊子印刷製本費	619 千円

【主な特定財源】

地域支援事業交付金（国 2/10）	23,501 千円
地域支援事業交付金（都 1.25/10）	14,688 千円

問合せ先	いきいき生活部 高齢者支援課長 早出	電話	724-2146
------	--------------------	----	----------

件名	無電柱化推進事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
323,273		48,015	96,871	134,000	2,485	41,902

**【事業の背景・目的】**

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、2020年3月に策定した町田市無電柱化推進計画に基づき、事業効果の高い既設道路及び事業効率の高い新規整備路線において無電柱化を行います。

**【事業の内容】**

①町田 623 号線(消防署前)

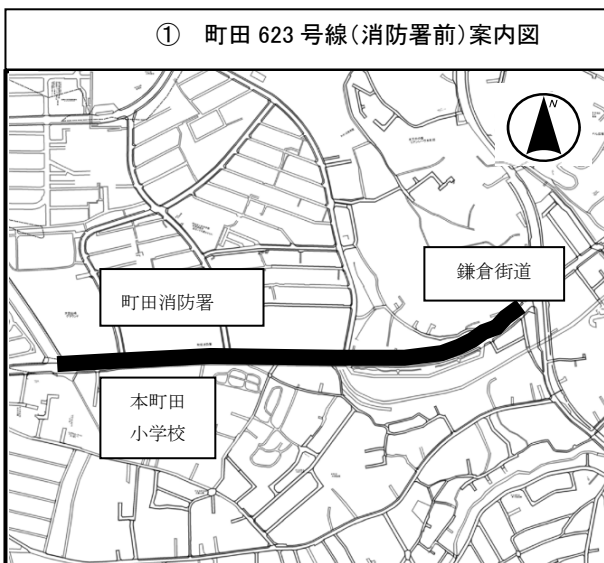
防災機能の更なる向上を図るため、2024年度は2023年度に引き続き電線共同溝及び道路改良工事を行い、2026年度の整備完了を目指します。

②町田 835 号線(原町田中央通り)

景観の向上及び商業の活性化のため、2024年度は2023年度に引き続き電線共同溝の整備工事を行い、2029年度の整備完了を予定しています。

③町田 37 号線(文学館通り)

中心市街地から芹ヶ谷公園へのアクセス路の1つであり、商業の活性化に寄与するため、無電柱化を行います。2024年度は電線共同溝及び道路詳細設計を行い、2029年度の整備完了を予定しています。



**【主な事業費】**

①整備工事費(街築・伐採、電線共同溝)	165,673 千円
②整備工事費(電線共同溝)	102,400 千円
③詳細設計委託料(電線共同溝)	27,000 千円

**【特定財源】**

①②無電柱化推進計画事業費補助金(国 5.5/10)	48,015 千円
①②③道路橋梁費補助金(都 4.5/10 など)	70,871 千円
②③道路整備事業債	134,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名	異業種・異分野連携による新たな価値創出事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
25,000		12,500	0	0	0	12,500

【事業の背景・目的】

市では、「町田市産業振興計画 19-28」に基づき、事業者の事業を“拡げる”チャレンジを促進するため、異業種・異分野による連携のきっかけづくりや、連携で生まれた新商品・新サービスの開発支援など、新たな価値の創出に取り組む事業者を支援しています。



現在、市内の複数の飲食事業者等(10社30店舗経営)が2023年6月に株式会社を立ち上げ、市内農業者との農商連携により、地域の人材・資源・資金を活用し、町田産のホップや大麦を一部使用したクラフトビールの醸造、販売卸及び醸造設備を併設した飲食店による、新たなビジネスを立ち上げる事業(※)を計画しています。

地域資源や人材等を活用し、新たなチャレンジに取り組む事業者を支援することで、新商品開発や販路拡大等をはじめ、雇用の創出や、中心市街地の賑わい、さらにはシティプロモーションなど、地域経済の活性化につなげます。

(※)この事業は、市制60周年に、市が実施した「まちだ〇ごと大作戦 18-20+1」の作戦会議で、人と人のつながりによるアイデアから生まれました。食と農の連携によるアイデアが、人と人をつなぎ、町田産の新商品を生み出すとともに、訪れる人に特別な時間や体験を提供し、町田ブランドを発信する、夢の実現に向けた事業です。

【事業の内容】

「町田市産業振興計画 19-28」に基づき、異業種・異分野の連携により、新たな価値の創出に取り組む事業者のチャレンジを支援し、町田市の地域経済循環を促進するため、国の交付金を活用し、初期投資費用(醸造設備等)の一部を補助します。

【スケジュール】

	2024年度						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～3月
民間事業者のクラフトビール事業	交付金申請 交付決定		店舗準備		ビアレストラン オープン		
			各種許可手続き		ビール販売 開始		
	販売促進PR活動(SNS等)、イベント						

【事業費】

地域経済循環創造事業補助金 25,000 千円

【特定財源】

地域経済循環創造事業交付金(国 1/2) 12,500 千円

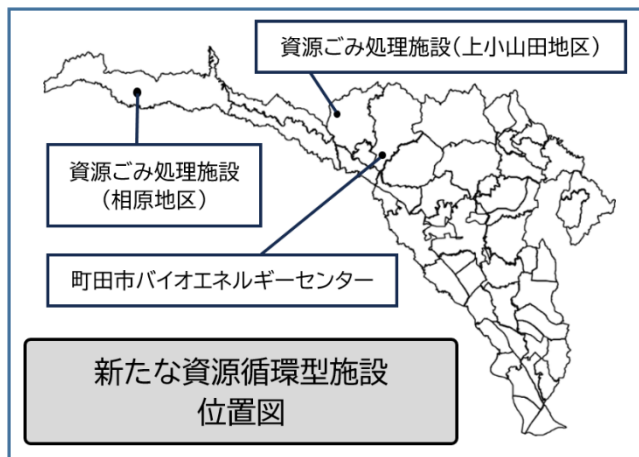
問合せ先	経済観光部 産業政策課長 村上	電話	724-2129
------	-----------------	----	----------

件名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,022,922		131,000	0	1,160,000	210,249	521,673

【事業の背景・目的】

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、資源循環型施設を分散して配置していきます。

2022年1月に町田市バイオエネルギーセンター（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）が稼働し、今後は資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内2箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。



【事業の内容】

1 町田市バイオエネルギーセンター

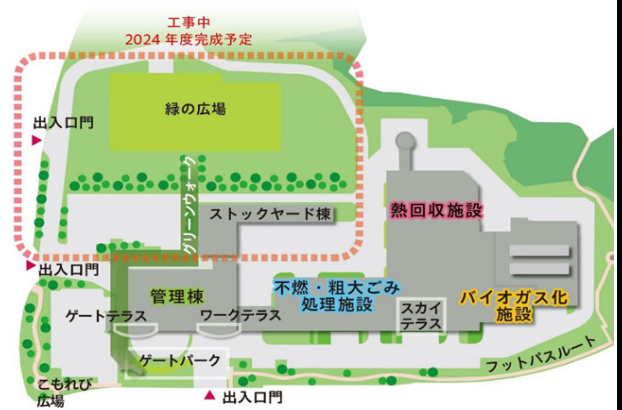
2017年度から工事に着手し、2022年1月に稼働しました。2024年度は旧清掃工場を解体し、ストックヤード棟の建築工事を進め、2024年9月に事業完了を予定しています。

<事業概要>

事業名	町田市熱回収施設等(仮称)整備運営事業
施設名称	町田市バイオエネルギーセンター
建設地	下小山田町 3160 番地(町田リサイクル文化センター敷地内)
面積	敷地面積：約 77,000 m <sup>2</sup> 延床面積：工場棟約 17,000 m <sup>2</sup> 、管理棟約 5,200 m <sup>2</sup>
事業方式	施設の設計・建設・解体及び約 20 年間の運営を包括的に委託する DBO 方式
業務概要	施設整備業務：設計・建設・解体(既存施設)(2016年12月～2024年9月) 施設運營業務：運営管理・維持管理(2022年1月～2041年3月)
施設概要	熱回収施設(焼却施設)：ストーカ方式 258t/日(129t/日×2炉) バイオガス化施設：乾式高温メタン発酵 50t/日 不燃・粗大ごみ処理施設：機械選別・手選別 47t/5h

【スケジュール】

年度	2016	2017	2018	2019~2020	2021	2022	2023	2024	~2040
町田市バイオエネルギーセンター	★契約	設計		施設整備工事		運営			
		造成工事				旧工場棟解体工事 ストックヤード棟整備等		●整備事業完了	
		旧管理棟等 解体工事							



## 2 資源ごみ処理施設(相原地区及び上小山田地区)

相原地区の資源ごみ処理施設は、2028年度中の稼働を目指し、用地取得、生活環境影響調査等を進めます。上小山田地区の資源ごみ処理施設は、2026年度からの用地取得に向け、地権者や関連事業者と調整のうえ、用地測量を進めます。

### 【主な事業費】

1 町田市バイオエネルギーセンター整備工事費	1,123,550 千円
(2016～2024年度債務負担行為事業 総事業費 31,431,164 千円)	
工事監理委託料	66,650 千円
(2016～2024年度債務負担行為事業 総事業費 292,780 千円)	
2 資源ごみ処理施設(相原地区及び上小山田地区)	
用地購入費(相原地区)	164,000 千円
物件補償料(相原地区)	341,064 千円
生活環境影響調査等委託料(相原地区)	38,093 千円
測量委託料(上小山田地区)	13,348 千円

### 【特定財源】

循環型社会形成推進交付金(国 1/3)	131,000 千円
廃棄物処理施設整備事業債	1,160,000 千円
廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金	210,249 千円

問合せ先

環境資源部 循環型施設整備課長 田中

電話

724-4384

件名	障がい者差別解消推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,787		0	440	0	0	1,347

【事業の背景・目的】

市では、障がいを理由とする差別がない共生社会の実現を目的に、広く市民や事業者に対し、障がい者差別の事例や合理的配慮の具体例、差別相談の窓口等について、周知啓発の取組みを進めています。

障がい者への差別をなくし、誰もがともに生きる社会をつくるためには、社会に存在する様々な障壁や、障がいに対する誤解や偏見をなくしていく必要があります。市や事業者だけでなく、市民一人ひとりまで、障がいについて理解し浸透していく取組みを行い、共生社会の実現を目指します。

【事業の内容】

2024年10月に「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」を施行(予定)し、この条例に基づく「町田市障がい者差別解消調整委員会」を設置するなど、さらに障がい者差別解消の取組みを進めます。

①条例内容や合理的配慮の周知啓発

条例内容や合理的配慮のリーフレットやガイドブックを作成するなど、広く周知啓発を行います。

②障がいや障害の社会モデルに関する理解促進

障がいや障害の社会モデルに関する理解を深めるために、市民・事業者向けの講座や勉強会を開催します。また、市の職員向けの研修を実施します。

③町田市障がい者差別解消調整委員会の設置

障がい者差別の紛争解決のため、市長の附属機関として設置します。市に差別相談に関する助言又はあつせんの申立てがあった際に、助言又はあつせんの内容を検討して市長に答申します。

④(仮称)町田市障がい者差別解消支援協議会の設置

障がい者差別解消の取組みを推進するため、障害者差別解消法に基づく会議体として設置します。関係機関相互の連携の下、障がい者差別解消の取組みを円滑に行うための協議を行います。

【スケジュール】

年度	2024												2025	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
条例	周知啓発・理解促進						●施行	周知啓発・理解促進						
								会議体設置						

【主な事業費】

①冊子等作成委託料	974千円
②講座等講師謝礼	108千円
③町田市障がい者差別解消調整委員会委員報酬	118千円
④(仮称)町田市障がい者差別解消支援協議会委員謝礼	425千円

【特定財源】

①障がい者施策推進包括補助事業費補助金(都 1/2)	440千円
----------------------------	-------

問合せ先	地域福祉部 障がい福祉課長 金子	電話	724-2147
------	------------------	----	----------



件名	共創プラットフォーム推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,564		0	0	0	0	12,564

【事業の背景・目的】

町内会・自治会をはじめとする地域の様々な団体がつながるネットワーク「地区協議会」や、地域団体の組織運営を支援する「町田市地域活動サポートオフィス」の設立により、市と地域との協働による地域社会づくりが着実に進んできました。複雑・多様化する市民ニーズや地域課題に答え続けるためには、これまで築いてきたつながりを更に広げ、様々な主体が地域に関わることが必要です。

さらに、コミュニケーションの多くにデジタル技術が活用され、特に若年層では SNS を通して人とつながり、生活の多くの場面で SNS を活用することが日常になっています。若年層の人々にも地域を知ってもらい地域のつながりを広げていくためには、デジタルを活用した取り組みが必要です。

「町田市地域ホットプラン」に基づき、地域のやりたいことの実現、地域課題の解決、地域活動の新規創出や既存活動の支援を行う、デジタルを活用した「共創プラットフォーム」の構築を推進します。

【事業の内容】

① 「寄り合い-The YORIAI-」の実施

地域の課題解決・魅力向上につなげるため、地区協議会と連携して「寄り合い-The YORIAI-」※を実施します。また、各寄り合いに参加された方や、地区協議会等地域で活動している方が対話をする事で新たなつながりのきっかけとなるよう全市的な寄り合いを実施します。

※寄り合い-The YORIAI-…地域、企業、行政等の多様な主体が地域課題解決に向けたアイデアを持ち寄り、その地域課題を自分ごととして共感したひとが話し合い、行動につなげる場

②地区協議会支援

市内全 10 地区に設立されている地区協議会に対して、活動拠点の確保、補助金の交付や運営の支援を継続して行います。

③地域のデジタル化プロジェクト支援

町内会・自治会の回覧や、町内会・自治会への加入・未加入にかかわらず地域情報をオンラインでやりとりできる、町内会・自治会システム「いちのいち」の活用を引き続き促進します。災害時にシステム登録者の安否確認情報や、地域に密着した避難情報等を速やかに共有できるようになります。

【スケジュール】

年度	2024											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①寄り合い -The YORIAI-	相談受付											
	第1回			第2回			第3回					
②地区協議会支援	各地区協議会の実施事業の決定					地域の課題解決・魅力向上に向けた取り組みの実施						
③デジタル化支援	町内会・自治会システム活用支援・利用登録促進											

【主な事業費】

①寄り合い実施業務委託料	500 千円
②地区協議会補助金	10,000 千円
③町内会・自治会システム使用料	2,003 千円

問合せ先	市民部市民協働推進課長 横山	電話	724-4358
------	----------------	----	----------

件名		男性HPVワクチン接種事業																								
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																				
10,195			0	4,018	0	0	6,177																			
<p><b>【事業の背景・目的】</b></p> <p>2020年に、4価HPVワクチンの効能・効果について、前がん病変（がんになる手前の状態）を含む肛門癌（男女）及び尖圭コンジローマ（男性）の予防に対する適応拡大が承認され、新たに男性も予防接種が可能となりました。</p> <p>この予防接種は公費対象外の任意接種であり、接種費用1.5～2万円/回程度です。</p> <p>市民の疾病予防と健康増進を目的として、男性のHPVワクチン予防接種に対する助成を7月から開始します。</p> <p><b>【事業の内容】</b></p> <p>男性へのHPVワクチン任意予防接種にかかる費用の全部を助成します。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>中学1年生～高校1年生（相当）の男性市民（約8千人）</td> </tr> <tr> <td>対象ワクチン</td> <td>4価HPVワクチン（ワクチン名：ガーダシル）</td> </tr> <tr> <td>接種回数</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>接種見込</td> <td>159人（477回接種）</td> </tr> <tr> <td>自己負担額</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>接種場所</td> <td>市内指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>周知方法</td> <td>広報まちだ、町田市ホームページ</td> </tr> </table> <p><b>【主な事業費】</b></p> <table> <tr> <td>男性HPVワクチン予防接種委託料</td> <td>7,995千円</td> </tr> <tr> <td>システム改修委託料</td> <td>2,178千円</td> </tr> </table> <p><b>【特定財源】</b></p> <table> <tr> <td>HPVワクチン男性任意接種補助（都1/2など）</td> <td>4,018千円</td> </tr> </table>							対象者	中学1年生～高校1年生（相当）の男性市民（約8千人）	対象ワクチン	4価HPVワクチン（ワクチン名：ガーダシル）	接種回数	3回	接種見込	159人（477回接種）	自己負担額	無料	接種場所	市内指定医療機関	周知方法	広報まちだ、町田市ホームページ	男性HPVワクチン予防接種委託料	7,995千円	システム改修委託料	2,178千円	HPVワクチン男性任意接種補助（都1/2など）	4,018千円
対象者	中学1年生～高校1年生（相当）の男性市民（約8千人）																									
対象ワクチン	4価HPVワクチン（ワクチン名：ガーダシル）																									
接種回数	3回																									
接種見込	159人（477回接種）																									
自己負担額	無料																									
接種場所	市内指定医療機関																									
周知方法	広報まちだ、町田市ホームページ																									
男性HPVワクチン予防接種委託料	7,995千円																									
システム改修委託料	2,178千円																									
HPVワクチン男性任意接種補助（都1/2など）	4,018千円																									
問合せ先	保健所 保健予防課長 福島			電話	725-5422																					

件名	地域コミュニティに関する共同研究事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,000		0	0	0	0	8,000

**【事業の背景・目的】**

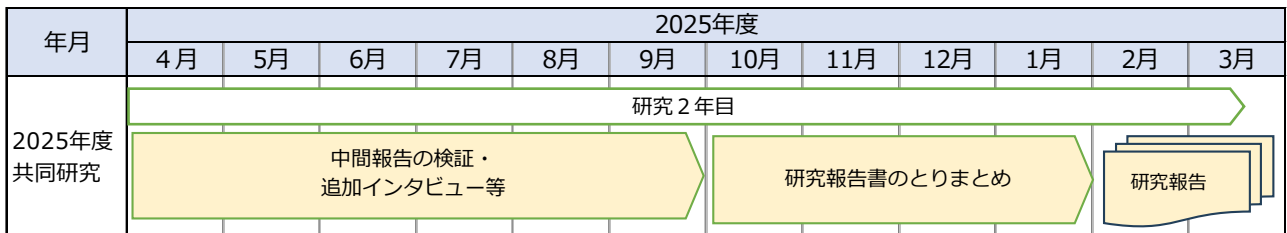
新型コロナウイルス感染症の影響による地域活動の縮小、民生委員や消防団員などの担い手の減少などにより、地域コミュニティが希薄化し、これまで地域の助け合いで解決してきた問題が、行政ニーズに変わる傾向が加速しています。

今後、持続可能な地域社会をつくり、市民や地域団体、企業がそれぞれの持ち場で活動し、地域ぐるみで見守り合い、助け合える場づくりを目指すため、教育・研究機関と共同し地域コミュニティに関する研究を行います。

**【事業の内容】**

地域コミュニティが希薄化している原因や具体的な課題、町田市が直面している地域福祉や地域防災等の諸問題に対し、今後の地域コミュニティが果たす役割などについて検証するとともに、エビデンスに基づき、町田市各部の事業戦略の検討に寄与することを目的として2024年度・2025年度の2か年で大学との共同研究を行います。

**【スケジュール】**



**【事業費】**

共同調査研究負担金 8,000 千円

問合せ先	市民部 市民協働推進課長 横山	電話	724-4358
------	-----------------	----	----------

件名	デジタル化推進事業					
予算額（単位：千円）		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
一般会計：614,429	財源内訳	0	0	0	275,000	339,429
特別会計：15,000		0	0	0	15,000	0

【事業の背景・目的】

国は、目指すべきデジタル社会の実現に向けて、迅速かつ重点的に実施すべき施策をまとめた「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を、2023年6月に改定しました。また、都は、2030年代を見据えたDXの将来像を提示する「東京デジタル2030ビジョン」を、2023年9月に策定しました。

市では、これらの計画や、外部有識者で構成する「町田市デジタル化推進委員会」の提言を踏まえ、デジタル技術を徹底活用した行政サービス改革を進めるために、3つの戦略からなる「町田市デジタル化総合戦略2023」を策定しました。

この戦略に基づき、行政サービスを「人手のかかるサービスデザイン」から「デジタルベースのサービスデザイン」へ変革し、市民の利便性向上と市役所の生産性向上を図ります。



「町田市デジタル化総合戦略2023」の表紙は画像生成AIを利用して作成しました

【事業の内容】

市民の利便性向上のための取組

<1-1 行政手続のオンライン化>

市民が、市役所窓口に出向くことなく、スマートフォン等でいつでもどこでも簡単に手続きを行えるよう、申請件数が多い手続を優先的に、年間75手続を目標にオンライン化します。

<1-2 「まちドア」の刷新>

目的のオンライン行政手続にスマートフォンから簡単にアクセスできるよう、市のオンライン行政手続ポータルサイトである「まちドア」を刷新します。加えて、利用者の意見のフィードバックを踏まえた改善や、ジェネレーティブAIを活用した機能拡充を行うことで、継続的に利便性向上を図ります。



まちドアの刷新イメージ

### <1-3 町田市ホームページの刷新>

町田市ホームページを、スマートフォンでの閲覧や操作がしやすいデザインに刷新します。加えて、AI が自動収集した市内イベント情報を、キーワードや日程で検索できるサービスや、「やさしい日本語」への文章変換などの機能搭載を検討します。

## 市役所の生産性向上のための取組

### <2-1 基幹業務システムの標準化>

市民生活と関連の強い、住民票や市税などの基幹業務で使用するシステムについて、国が定める標準仕様に準拠したシステムへ転換します。2024年度は、住民基本台帳業務、印鑑登録業務、健康管理業務の3システムについて標準化し、残りの17業務についても標準化の準備に着手します。

### <2-2 ジェネレーティブ AI 等の利活用による業務効率化>

ジェネレーティブ AI を活用した業務効率化を推進します。また、デジタル技術を活用した業務改善の支援を行います。

#### 【事業費】

1-1 オンライン行政手続申請様式作成支援委託料	1,128 千円
1-1 オンライン行政手続申請プラットフォーム使用料	9,401 千円
1-2 オンライン行政手続ポータルサイト運用保守業務委託料	15,000 千円
1-3 ホームページ管理システム改造委託料	30,000 千円
2-1 基幹業務システム標準化費用(一般会計分)	529,100 千円
2-1 基幹業務システム標準化費用(後期高齢者医療事業会計分)	15,000 千円
2-2 OAプラットフォーム利用料(ジェネレーティブAI)	10,000 千円
2-2 オンライン行政手続推進支援業務委託料	19,800 千円

#### 【特定財源】

1-2, 2-2 多摩・島しょ行政手続のオンライン化・事務処理効率化推進事業助成金	40,000 千円
2-1 デジタル基盤改革支援補助金	250,000 千円

問合せ先

政策経営部 デジタル戦略室課長 間宮  
いきいき生活部 保険年金課長 武藤

電話

724-4432  
724-4027

件名	公共施設等マネジメント事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
41,909			0	0	0	0

【事業の背景・目的】

市では、多くの公共施設が老朽化しており、更新の時期を迎えつつあります。さらに、人口や市税収入が減っていく中で、施設総量を圧縮しながらも社会状況の変化や市民ニーズを捉えた公共サービスの維持・向上を図ることが求められています。2018年6月には「町田市公共施設再編計画」（以下、「再編計画」と言う。）を策定し、2026年度までの取り組みを「短期再編プログラム」と位置づけました。単に施設を減らしコストダウンを図るのではなく、施設を多機能化・複合化するとともに、民間事業者とのコラボレーションによる新たな価値の創出を図りながら、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。

【事業の内容】

①第2期再編プログラム策定に伴う再編計画の見直し

再編計画の見直しに向けて、2027年度から2036年度までの公共施設の集約・複合化等の具体的な取り組み内容を示す「第2期再編プログラム」の検討に着手します。2024年度は、現状と課題を整理のうえ、庁内横断的な検討・調整を図りながら、施設機能別の方向性等を検討します。



②（仮称）新保健施設の整備等

「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」（2022年3月策定）に掲げる再編プロジェクト「2つの保健施設の集約」については、健康福祉会館で現在提供している母子保健機能等を（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設へ移転・複合化することを踏まえ、新型コロナウイルス感染症対応で明らかになった課題等から改めて保健所機能の最適な配置を検討・整理し、導入機能を見直します。

そのうえで、近接する2つの保健施設（健康福祉会館、保健所中町庁舎）の老朽化に伴う更新について、最適な設置場所、事業手法等を検討・整理し、新保健施設として整備します。

2030年度の供用開始に向けて、整備基本計画を策定します。

（仮称）新保健施設への集約を検討している機能

施設名	主な機能
健康福祉会館	歯科健診、歯科保健、休日応急歯科・障がい歯科診療、
保健所中町庁舎	精神保健、難病保健、食育、栄養表示、愛護動物、環境衛生、食品衛生等

※ 健康福祉会館で提供している母子保健機能及び休日・準夜間小児救急診療は、（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設へ移転・複合化することから、新保健施設への導入機能検討に向けた保健所機能の最適な配置等の検討対象からは除外しています。

### ③学校跡地の活用

学校跡地は、地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を有していることを踏まえ、その活用にあたっては、地域住民との対話を重ねながら丁寧に検討を進めていきます。

学校跡地の活用の方向性を示す基本計画の策定に向け、地域住民等を対象としたワークショップや、アンケート調査等を実施し、市民や民間事業者等との対話を重ねながら、活用に向けた検討・調整を進めます。

#### 【スケジュール】

##### 2024 年度のスケジュール(月次工程)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①再編計画見直し	現状と課題の整理							●整理完了	施設機能別の方向性(案)等検討				
②新保健施設の整備等	基本計画検討												策定●
③学校跡地の活用	学校跡地活用に関する基本計画検討												

##### 2024 年度以降のスケジュール(年次工程)

年度	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
①再編計画見直し	現状課題整理	方針・取組等検討		●改定			
②新保健施設の整備等 ※PFI手法の場合	基本計画策定	公募準備	公募・契約	設計・建設工事			●供用開始
③学校跡地の活用	基本計画検討		●基本計画策定		学校跡地の活用		

#### 【主な事業費】

①町田市公共施設再編計画改定検討支援業務委託料	17,017 千円
②(仮称)新保健施設整備基本計画策定支援業務委託料	15,829 千円
③学校跡地活用検討支援業務委託料	6,666 千円

問合せ先

政策経営部 企画政策課公共施設再編担当課長 田中

電話

724-2103

件名	公共施設等維持保全事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,880,900			251,976	106,290	1,517,000	845,296

**【事業の背景・目的】**

市の公共施設は、その半数以上が築30年以上で大規模改修が必要な時期を迎えており、老朽化した施設の安全性確保と、快適な使用のため維持保全が必要です。

また、2018年度に策定した町田市公共施設再編計画では、既存施設をすべて維持した場合に2018年度から2055年度までにかかる市有建築物の維持管理費用は1年間で約89億円と試算しており、財政負担の増加が予想されます。

このため、公共施設再編により施設総量を圧縮するとともに、維持する建物については建築年数や劣化状況をふまえ計画的に改修を行い、施設の安全性の確保や、財政負担の軽減・平準化を図ります。

**【主な事業の内容】**

1 市有建築物全般 事業費 990,944 千円

＜総合体育館(1990年築)＞

2027年度に実施予定の大規模改修に先立ち、構造躯体に関する劣化診断等の調査を行います。また、剥落の恐れがある外壁等については、実施設計を行い、早期に改修します。工事期間中、安全確保のため一部通行の制限などを行います。施設は通常どおり運営する予定です。

【工事等予定期間】	調査等委託(劣化診断)	2024年5月～2024年12月
	実施設計委託(外壁補修等)	2024年5月～2024年10月
	外壁等工事	2025年1月～2025年8月

【事業費】	調査等委託料(劣化診断)	39,930 千円
	実施設計委託料(外壁補修等)	7,348 千円
	改修工事費(外壁補修等)	45,522 千円

(2024～2025年度債務負担行為事業 総事業費 123,189 千円)

【特定財源】	公共施設整備基金繰入金	90,000 千円
--------	-------------	-----------



＜総合体育館＞

＜堺市民センター(1983年築)＞

屋上防水、外壁、電気設備、給排水衛生設備等を改修します。工事期間中、行政窓口は運営しますが、会議室等の施設貸出は休止します。また、堺図書館及びふれあいけやき館は規模を縮小して運営します。

【工事予定期間】 2024年10月～2025年12月

【施設貸出休止予定期間】 2024年11月～2025年12月  
(行政窓口は運営します)

【事業費】	改修工事費	215,428 千円
-------	-------	------------

(2024～2025年度債務負担行為事業 総事業費 571,692 千円)

【特定財源】	地域センター整備事業債	161,000 千円
--------	-------------	------------



＜堺市民センター＞

問合せ先

財務部 営繕課長 原田

電話

724-1293



2 学校施設 事業費 1,168,219 千円

〈校舎等の改修〉

建築後30年以上経過し、老朽化している校舎等を維持保全するため改修等を行います。2024年度は三輪小学校・相原小学校の外壁及び屋上防水等の改修工事、町田第一中学校(体育館・プール棟)・鶴川中学校の空調設備及びプール設備等の改修工事、高ヶ坂小学校の屋上防水工事、相原小学校・小山田中学校の受変電設備改修工事を行います。

【主な事業費】	整備工事費	1,111,448 千円
(2024～2025 年度債務負担行為事業	総事業費 259,386 千円	三輪小学校改修)
(2024～2025 年度債務負担行為事業	総事業費 222,354 千円	相原小学校改修)
(2024～2025 年度債務負担行為事業	総事業費 921,794 千円	町田第一中体育館プール棟改修)
(2024～2025 年度債務負担行為事業	総事業費 830,494 千円	鶴川中学校改修)
(2024～2025 年度債務負担行為事業	総事業費 150,821 千円	高ヶ坂小学校改修)
(2024～2025 年度債務負担行為事業	総事業費 66,550 千円	相原小学校受変電設備改修)
(2024～2025 年度債務負担行為事業	総事業費 31,350 千円	小山田中学校受変電設備改修)
【主な特定財源】	学校施設環境改善交付金(国 1/3)	65,524 千円
	学校施設整備事業債	808,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 平川	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

3 市営住宅 事業費 92,941 千円

忠生市営住宅(1・2号棟)の屋上防水工事等を行います。

【事業費】	施設等管理委託料	92,941 千円
【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 4.5/10)	33,952 千円

問合せ先	都市づくり部 住宅課長 村田	電話	724-4269
------	----------------	----	----------

4 公園施設 事業費 50,500 千円

公園施設の安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、2023年度に策定した公園施設長寿命化計画をもとに公園施設長寿命化対策工事を行います。

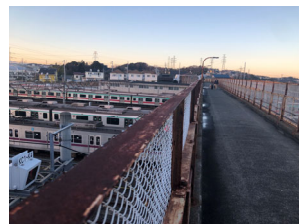
【主な事業費】	公園施設長寿命化対策工事	50,000 千円
【特定財源】	社会資本整備総合交付金(国 1/2)	15,000 千円
	都市計画事業債	28,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

5 道路・橋梁 事業費 578,296 千円

安全で快適に通行できるよう、道路の舗装補修工事等を行います。老朽化した橋梁やペDESTリアンデッキの点検や補修工事を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。

【主な事業費】	工事負担金(長津田車庫跨線人道橋)	342,672 千円
	機器等保守点検委託料	51,586 千円
	補修工事費(舗装補修工事費)	121,000 千円
【主な特定財源】	道路メンテナンス事業費補助金(国 5.5/10)	137,000 千円
	道路橋梁費補助金(都 3/10 など)	85,290 千円



〈長津田車庫跨線人道橋〉

問合せ先	道路部 道路維持課長 林田	電話	724-1121
------	---------------	----	----------

## ◇ 歳入

## 2024年度 一般会計歳入予算内訳表

(単位：千円・%)

款	2024年度		2023年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 市 税	69,089,198	38.5	70,711,640	42.3	△ 1,622,442	△ 2.3
2. 地 方 譲 与 税	741,000	0.4	746,001	0.4	△ 5,001	△ 0.7
3. 利 子 割 交 付 金	122,000	0.1	115,000	0.1	7,000	6.1
4. 配 当 割 交 付 金	722,000	0.4	594,000	0.4	128,000	21.5
5. 株式等譲渡所得割交付金	672,000	0.4	517,000	0.3	155,000	30.0
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	1,386,000	0.9	1,365,000	0.8	21,000	1.5
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	9,893,000	5.5	9,893,000	5.7	0	0.0
8. ゴルフ場利用税交付金	40,000	0.0	40,000	0.0	0	0.0
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	230,000	0.1	213,000	0.1	17,000	8.0
10. 地 方 特 例 交 付 金	2,402,274	1.3	487,000	0.3	1,915,274	393.3
11. 地 方 交 付 税	3,385,000	1.9	2,445,000	1.8	940,000	38.4
12. 交通安全対策特別交付金	47,000	0.0	48,000	0.0	△ 1,000	△ 2.1
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	530,696	0.3	703,741	0.4	△ 173,045	△ 24.6
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	3,609,911	2.0	3,645,409	2.2	△ 35,498	△ 1.0
15. 国 庫 支 出 金	35,040,988	19.5	32,870,185	19.6	2,170,803	6.6
16. 都 支 出 金	26,042,422	14.5	25,141,463	14.9	900,959	3.6
17. 財 産 収 入	1,470,188	0.8	1,765,002	1.1	△ 294,814	△ 16.7
18. 寄 附 金	228,426	0.1	227,226	0.1	1,200	0.5
19. 繰 入 金	9,219,864	5.2	5,664,594	3.4	3,555,270	62.8
20. 繰 越 金	1,000,000	0.6	1,000,000	0.6	0	0.0
21. 諸 収 入	4,191,459	2.3	3,060,220	1.2	1,131,239	37.0
22. 市 債	9,219,000	5.2	7,174,000	4.3	2,045,000	28.5
歳 入 合 計	179,282,426	100.0	168,426,481	100.0	10,855,945	6.4

## ◇ 歳出

## 2024年度 一般会計歳出予算目的別内訳表

(単位:千円・%)

款	2024年度 予算額 (構成比)	2023年度 予算額 (構成比)	増減額 (増減率)	2024年度予算額の財源内訳				
				特定財源				一般財源 (構成比)
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1. 議会費	651,715 (0.4%)	652,524 (0.4%)	△ 809 (△0.1%)	201	100	—	—	651,414 (0.7%)
2. 総務費	19,505,002 (10.9%)	17,871,095 (10.6%)	1,633,907 (9.1%)	622,502	1,371,919	667,000	1,386,195	15,457,386 (16.0%)
3. 民生費	92,880,475 (51.8%)	89,047,736 (52.9%)	3,832,739 (4.3%)	32,575,098	18,985,768	108,000	2,112,367	39,099,242 (40.5%)
4. 衛生費	15,260,300 (8.5%)	15,566,474 (9.3%)	△ 306,174 (△2.0%)	472,428	1,203,565	1,160,000	3,589,262	8,835,045 (9.2%)
5. 労働費	45,156 (0.0%)	37,810 (0.0%)	7,346 (19.4%)	—	—	—	—	45,156 (0.0%)
6. 農林費	296,287 (0.1%)	348,473 (0.2%)	△ 52,186 (△15.0%)	—	10,022	—	3,503	282,762 (0.3%)
7. 商工費	1,185,775 (0.7%)	1,179,730 (0.7%)	6,045 (0.5%)	25,000	68,085	51,000	162,247	879,443 (0.9%)
8. 土木費	17,425,845 (9.7%)	15,722,196 (9.3%)	1,703,649 (10.8%)	713,496	1,696,394	3,279,000	3,020,530	8,716,425 (9.1%)
9. 消防費	4,974,463 (2.8%)	4,909,618 (2.9%)	64,845 (1.3%)	—	1,617,856	195,000	80,151	3,081,456 (3.2%)
10 教育費	18,746,597 (10.4%)	15,223,936 (9.0%)	3,522,661 (23.1%)	632,263	1,088,713	3,575,000	2,370,561	11,080,060 (11.5%)
11 災害 復旧費	6 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)	—	—	—	—	6 (0.0%)
12 公債費	8,210,805 (4.6%)	7,766,883 (4.6%)	443,922 (5.7%)	—	—	—	—	8,210,805 (8.5%)
13 予備費	100,000 (0.1%)	100,000 (0.1%)	0 (0.0%)	—	—	—	—	100,000 (0.1%)
歳出合計	179,282,426 (100.0%)	168,426,481 (100.0%)	10,855,945 (6.4%)	35,040,988	26,042,422	9,035,000	12,724,816	96,439,200 (100.0%)